



愛媛県スポーツ協会

100年史

---

since 1924 (大正13年)

---

公益財団法人  
愛媛県スポーツ協会



愛媛県スポーツ協会

100年史

---

since 1924 (大正13年)

---





公益財団法人愛媛県スポーツ協会では、このたび創立 100 周年記念事業の一環として、「愛媛県スポーツ協会 100 年史」を発刊いたしました。

歴史を紐解きますと、明治から大正にかけて県下各地に体育振興のための組織が結成され、これらを統合するスポーツ団体設立の機運が高まる中、井上要伊予鉄道電気社長、岩崎一高松山市長、秋山好古北予中学校長、由比質松山高等学校長など、錚々たる発起人のもと、1924 年 10 月 17 日愛媛県スポーツ協会の前身である「愛媛体育協会」が設立され、初代会長には由比質松山高等学校長が就任されました。

現在の伊予鉄道の前身である伊予鉄道電気株式会社井上要社長は松山市祝谷に同社道後グラウンドを建設して「愛媛体育協会」に使用の便益を供するとともに管理運営を任せられました。このことにより道後グラウンドが本協会のスタートの地となりましたが、井上要社長は当時「道後グラウンドが少しでも体育界に貢献して、益々世の利用するところとなれば、誠に本懐の至り」とその志を述べておられます。

そのような熱い思いの後押しもあってスタートした協会ではありますが、設立以来、財政難、大日本体育協会からの除名、戦争など幾多の困難が立ちはだかりました。しかしながら、歴代の会長をはじめとする先人の知恵と情熱をもってそれを乗り越え、戦後は、「愛媛オリンピック大会」の開催などにより、本県スポーツの再建に取り組んだほか、1953 年には四国 4 県共同で四国国体を開催し、2017 年には 64 年ぶり 2 度目となる国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」を本県単独で開催するなど、スポーツの振興を通じて、地域の活力の向上に取り組んでまいりました。

この間全国に先駆けての公益財団法人化や、さらにはスポーツ振興事業において連携協力してきた(公財)大亀スポーツ振興財団との合併など、組織の充実強化を図るとともに、新たに「女性スポーツの推進」、「スポーツ医科学の導入」を図るなど、愛媛のスポーツの振興・普及に取り組み、2024 年 10 月に創立 100 周年を迎えることができました。

これもひとえに、長年にわたる(公財)日本スポーツ協会、行政、企業、加盟団体、そしてすべての県民の皆様のご支援の賜物であり、深く感謝申し上げますとともに、創立 100 周年を皆様とともに迎えることができたことを大いなる喜びとするところです。

2025 年には、35 歳以上のアスリートが参加するスポーツの祭典「日本スポーツマスターズ 2025 愛媛大会」を初開催、同時に、日韓両国の友好と親善を深めるため、「日韓スポーツ交流・成人交歓交流」を実施し、韓国全羅南道体育会とスポーツによる交流協定を結ぶなど、愛媛県スポーツ協会は、次の 100 年に向けて、「人生 100 年 スポーツ一生」をスローガンに、新たなスタートを切りました。

スポーツは、「する」「みる」「ささえる」という様々な立場で参加することができるとともに、心身の健康促進、青少年の健全育成、地域コミュニティの活性化、国際親善などにもつながる素晴らしい力を持っています。また、競技スポーツにおける選手のひたむきな姿は、人々に感動を与え、勇気と力をもたらします。愛媛県スポーツ協会は、今後ともこうしたスポーツが持つ力を最大限発揮できるよう努力を重ねてまいります。

結びに、歴代会長はじめ役員、会員の皆様方の長年にわたる御努力、御労苦に対しまして、深く敬意と感謝の意を表するとともに、先人の熱い思いを継承しつつ、競技力の向上はもちろん、生涯スポーツの普及発展、スポーツを通じた地域の振興、国際親善、ガバナンスコードの遵守に努めてまいりますので、皆様方には一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます、発刊に当たってのご挨拶といたします。



## 発刊のことば

公益財団法人愛媛県スポーツ協会会長

大塚 岩男

# 祝辞・お祝いの言葉

## 祝辞

公益財団法人日本スポーツ協会 会長  
遠藤 利明

このたび公益財団法人愛媛県スポーツ協会が創設100周年を迎えられ、その記念史を発行される運びとなり、心よりお慶び申し上げます。



顧みますと、愛媛県スポーツ協会は、大正13(1924)年に創立され、今日まで100年もの長きにわたり、市町村体育・スポーツ協会、県内の競技団体、並びに多くのスポーツ関係団体と連携・協働し、愛媛県のスポーツの普及・発展に多大な貢献をされてこられました。

本年9月に行われたシニア世代の総合スポーツ大会である日本スポーツマスターズ2025愛媛大会は、まさにその100年の歴史を象徴するような大会となりました。全国から集まった熟練の選手たちが、年齢を超えた情熱と技術を競い合い、スポーツの持つ力と魅力を改めて感じさせてくれる素晴らしい大会となりました。大会運営や県内の機運醸成にご尽力され、大会を成功裏に終了されたことにあらためて感謝申し上げます。また、平成29(2017)年の「愛顔(えがお)つなぐえひめ国体」、令和6(2024)年の「全国スポーツ少年団バレーボール交流大会」の開催をはじめ、選手の育成や競技力の向上に加え、スポーツ少年団の育成にもご尽力いただいております。競技スポーツの振興にとどまらず、地域に根ざしたスポーツ活動の推進を通じて、社会貢献にも積極的に取り組まれており、愛媛県スポーツ界の発展に向けた関係各位の取組に深甚なる敬意を表する次第です。

ここに記念すべき100周年を迎え、愛媛県スポーツ界が築き上げてきた歴史と成果が、次代を担う若人の手によってさらに磨かれ、新たな時代の礎として受け継がれていくことは、誠に意義深く未来への大いなる希望であると確信しております。

結びに、愛媛県スポーツ協会が次の100年に向けて今後、益々充実・発展されますことと、関係各位のご活躍を祈念いたしまして発刊に寄せる言葉といたします。

## お祝いの言葉

愛媛県知事  
中村 時広

公益財団法人愛媛県スポーツ協会が創立100周年という大きな節目を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴協会におかれましては、大正13年の創立以来、本県のスポーツ振興に尽力され、県民の健康増進や健全な青少年の育成などに多大な御貢献を賜っております。

特に、本県では64年ぶり、初の単独開催として行った平成29年の「愛顔つなぐえひめ国体」では、過去最高となる天皇杯総合順位2位を獲得するなど、貴協会の競技力向上の取り組みが実を結びますとともに、県内外からの参加者との交流や絆が数多く生まれ、県民の皆さんに「する」「見る」「応援する」「支援する」といったさまざまな形でスポーツに参画することの楽しさ、すばらしさを体感いただく機会となりました。

ここに改めて、「えひめ国体」の開催にひとかたならぬ御尽力を賜りました大亀元会長をはじめ、歴代役員や関係者の皆様の御熱意とたゆまぬ御努力に対し、深く敬意と感謝の意を表します。

県におきましては、「スポーツ立県えひめ」の実現を目指し、県民誰もがスポーツに親しめる環境づくりをはじめ、世界で活躍できるトップアスリートの輩出に向けた競技力の向上やジュニアアスリートの発掘・育成・強化、指導者の養成など、各種スポーツ施策を積極的に展開しているところです。また、えひめ国体のレガシーを活用し、本県初開催となりました「日本スポーツマスターズ大会2025愛媛大会」や、令和11年の実施が決定した「日・韓・中ジュニア交流競技会」など、大規模スポーツ大会の誘致を通じた交流人口の拡大にも力を注いでおります。

貴協会におかれましては、次の100年に向けた新たな飛躍への出発点に当たり、スポーツが持つ力を更に広げ、愛媛の未来をともに築いていけることを期待しております。

終わりに、公益財団法人愛媛県スポーツ協会の限りない御発展と、皆様方の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げます。



## お祝いの言葉

愛媛県議会議長  
福羅 浩一

公益財団法人愛媛県スポーツ協会創立100周年記念史の発刊にあたり、愛媛県議会を代表して、お慶びを申し上げます。

貴協会は、大正13年の創設以来、今日まで県民スポーツの統括団体として、国内はもとより、世界の舞台で活躍される多くの優れた人材を育成されるとともに、平成29年の愛顔つなぐえひめ国体、令和5年のねりんピック、そして、令和7年の日本スポーツマスターズ2025愛媛大会など、数々の大会を成功に導かれ、本県スポーツの振興・発展に多大な貢献をされました。ここに、歴代会長をはじめ、会員の皆様の長年にわたる御尽力に対し、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

御案内のとおり、少子高齢化・人口減少の急速な進行で社会構造が大きく変化し、人々の価値観や生活様式が多様化する中、人間関係の希薄化や世代間交流の減少などが指摘されております。

こうした中、地域の活性化を図り、県民が健康で明るく活力ある生活を送るために、諦めない力や他者を思いやる心を育み、仲間と豊かな関係性を築くことができるスポーツの重要性がますます高まっており、今回、本県スポーツ界のこれまでの発展の軌跡として100年史が発刊され、次の世代に引き継がれますことは、誠に意義深いことであり、かけがえのない財産になるものと確信しております。

県議会といたしましては、議員発議により制定した愛媛県スポーツ推進条例に基づき、様々なスポーツを通じて県民が生きがいや感動を体感することができる「スポーツ立県えひめ」の実現に、これからも全力で取り組んでまいりますので、皆様方におかれましても、引き続き、本県のスポーツ振興と地域活力の創出に、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、このたびの創立100周年を契機として、「人生百年 スポーツ一生」のスローガンのもと、貴協会がますます発展されますことを心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



# 愛媛県スポーツ協会 歴代会長



初代

由比 質

大正 13 年 10 月～大正 14 年 4 月



第 2 代

加藤 彰廉

昭和 2 年 3 月～昭和 7 年 5 月



第 3 代

一戸 二郎

昭和 8 年 6 月～昭和 10 年 1 月



第 4 代

大場 鑑次郎

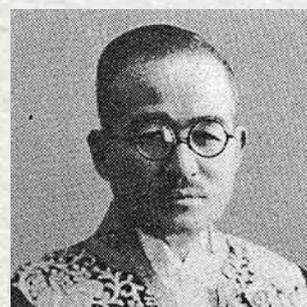
昭和 10 年 1 月～昭和 12 年 7 月



第 5 代

古川 静夫

昭和 12 年 7 月～昭和 14 年 7 月



第 6 代

持永 義夫

昭和 14 年 7 月～昭和 15 年 7 月



第 7 代

中村 敬之進

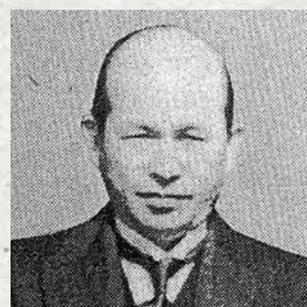
昭和 15 年 7 月～昭和 16 年 11 月



第 8 代

畠田 昌福

昭和 16 年 11 月～昭和 17 年 7 月



第 9 代

福本 柳一

昭和 17 年 7 月～昭和 18 年 7 月



第 10 代

相川 勝六

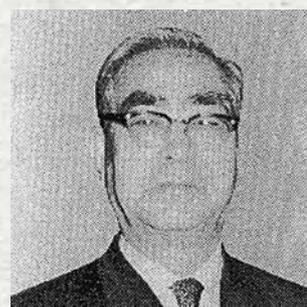
昭和 18 年 7 月～昭和 19 年 4 月



第 11 代

雪沢 千代治

昭和 19 年 4 月～昭和 20 年 4 月



第 12 代

土肥 米之

昭和 20 年 4 月～昭和 20 年 10 月

創 立 大正 13 (1924) 年 10 月 17 日  
財団法人認可 昭和 45 (1970) 年 9 月 14 日  
公益財団法人認可 平成 23 (2011) 年 4 月 1 日



第 13 代  
豊島 章太郎

昭和 20 年 10 月~昭和 21 年 10 月



第 14 代  
青木 重臣

昭和 22 年 10 月~昭和 26 年 4 月



第 15 代  
久松 定武

昭和 26 年 5 月~昭和 35 年 3 月



第 16 代  
井部 栄治

昭和 35 年 4 月~昭和 36 年 8 月



第 17 代  
山中 義貞

昭和 36 年 12 月~昭和 46 年 3 月



第 18 代  
高橋 士

昭和 46 年 4 月~昭和 52 年 5 月



第 19 代  
関 宏成

昭和 52 年 6 月~昭和 62 年 6 月



第 20 代  
伊賀 貞雪

昭和 62 年 6 月~平成 3 年 8 月



第 21 代  
奥島 団四郎

平成 3 年 8 月~平成 11 年 2 月



第 22 代  
大亀 孝裕

平成 11 年 2 月~平成 30 年 6 月



第 23 代  
中村 時広

平成 30 年 6 月~令和 3 年 6 月



第 24 代  
大塚 岩男

令和 3 年 6 月~現在

# CONTENTS

発刊のことば	公益財団法人愛媛県スポーツ協会会長 大塚岩男	3
祝辞・お祝いの言葉	公益財団法人日本スポーツ協会会長 遠藤利明	4
	愛媛県知事 中村時広	5
	愛媛県議会議長 福羅浩一	5
愛媛県スポーツ協会 歴代会長		6

## [グラビア] 愛媛のスポーツ Sports in Ehime

黎明期 ～1925	10
1946(昭和21)年	11
第8回四国国体	12
東京オリンピック聖火リレー／55総体	13
第72回国民体育大会「愛媛(えがお)つなぐえひめ国体」	14
創立100周年記念式典	16
愛媛県スポーツ協会創立100周年記念宣言／創立100周年記念表彰	18
愛媛県スポーツ協会のあゆみ	20
大亀孝裕 元愛媛県スポーツ協会会長にささぐ	23

## [愛媛のスポーツ100年] 100 Years History of Ehime Sports

黎明期 ～1925(～大正14年) 愛媛体育協会創立	24
戦前・戦中 1926-1944(大正15年・昭和元年-昭和19年) 忍び寄る戦争の足音	26
戦後 1945-1952(昭和20年-昭和27年) 復興とスポーツ	28
1953(昭和28年) 第8回四国国体	30
1954(昭和29年)	34
1955(昭和30年)	35
1956(昭和31年)	36
1957(昭和32年)	37
1958(昭和33年)	38
1959(昭和34年)	39
1960(昭和35年)	40
1961(昭和36年)	41
1962(昭和37年)	42
1963(昭和38年)	43
1964(昭和39年) 東京オリンピック	44
1965(昭和40年)	46
1966(昭和41年)	47
1967(昭和42年)	48
1968(昭和43年) 第1回愛媛県民体育祭	49
1969(昭和44年)	50
1970(昭和45年) 財団法人化	51
1971(昭和46年)	52
1972(昭和47年)	54
1973(昭和48年) 北条青少年スポーツセンター完成	55
1974(昭和49年)	56
1975(昭和50年)	57
1976(昭和51年)	58
1977(昭和52年)	59
1978(昭和53年)	60
1979(昭和54年)	61
1980(昭和55年) 55総体	62

1981(昭和 56 年).....64	2004(平成 16 年) 愛媛県体協 80 周年.....88
1982(昭和 57 年).....65	2005(平成 17 年) 第 72 回国体準備委発足.....89
1983(昭和 58 年).....66	2006(平成 18 年).....90
1984(昭和 59 年).....67	2007(平成 19 年).....91
1985(昭和 60 年).....68	2008(平成 20 年).....92
1986(昭和 61 年).....69	2009(平成 21 年).....93
1987(昭和 62 年).....70	2010(平成 22 年).....94
1988(昭和 63 年).....71	2011(平成 23 年) 公益財団法人に.....95
1989(昭和 64 年・平成元年) 全国スポレク祭.....72	2012(平成 24 年) 愛媛国体内定.....96
1990(平成 2 年).....74	2013(平成 25 年).....97
1991(平成 3 年).....75	2014(平成 26 年) 愛媛国体開催決定.....98
1992(平成 4 年).....76	2015(平成 27 年).....99
1993(平成 5 年).....77	2016(平成 28 年) 愛媛国体リハーサル.....100
1994(平成 6 年) 愛媛県体協 70 周年.....78	2017(平成 29 年) えひめ国体.....102
1995(平成 7 年).....79	2018(平成 30 年) 「体協」から「スポ協」へ.....110
1996(平成 8 年).....80	2019(平成 31 年・令和元年).....111
1997(平成 9 年).....81	2020(令和 2 年).....112
1998(平成 10 年).....82	2021(令和 3 年) 2 回目の東京オリンピック.....113
1999(平成 11 年) 「スポーツ立県」.....83	2022(令和 4 年).....114
2000(平成 12 年).....84	2023(令和 5 年) ねんりんピック.....116
2001(平成 13 年).....85	2024(令和 6 年) 愛媛県スポーツ協会 100 周年.....118
2002(平成 14 年).....86	2025(令和 7 年).....119
2003(平成 15 年) 愛媛県武道館落成.....87	

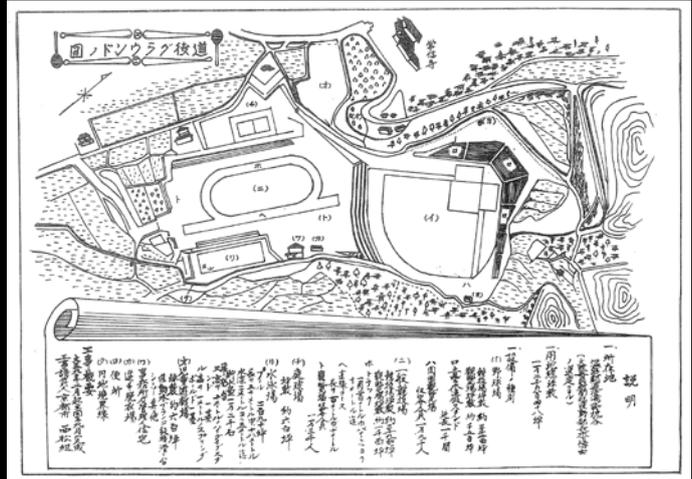
## [資料編]

愛媛県スポーツ協会 定款.....120
組織図／シンボルマーク.....124
役員一覧.....125
加盟団体.....127
令和 6 年度事業報告 決算報告.....128
令和 7 年度事業計画 収支予算.....129
愛顔つなぐえひめ国体・愛顔つなぐえひめ大会 両大会競技開催地マップ.....130
愛顔つなぐえひめ国体 競技日程と会場一覧.....132
国民体育(スポーツ) 大会開催状況一覧表.....134
スポーツ功労賞受賞者名簿一覧.....135
愛媛県スポーツ協会 年表 1924-2025.....138
あとがき.....143

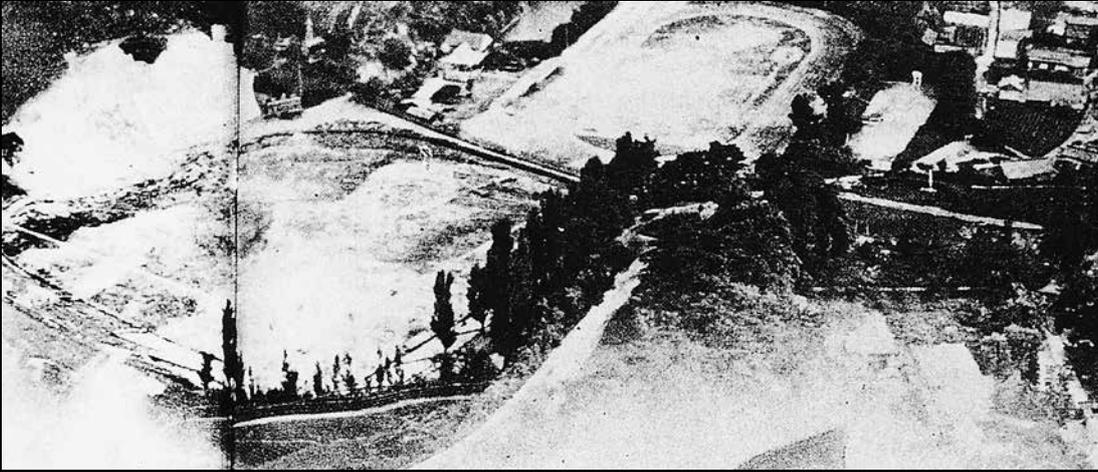
### 黎明期 ~ 1925

体育は明治時代に学校や地域社会で行われる運動会へと発展した。明治末期から大正期には各種競技会が行われるようになる。1924（大正13）年に道後総合グラウンドが完成。同時に秋山好古らが発起人となり「愛媛体育協会」が創立された

道後総合グラウンド完成。伊予鉄道電気は温泉郡道後湯之町祝谷（現松山市祝谷町1丁目）に総合グラウンド建設を計画し、大正13年9月に完成した。同時に愛媛体育協会も創立した



道後総合グラウンドの配置図（愛媛県体育史より）



道後グラウンドの水泳場。長さ50m、幅18m、水深2～5m。貯水量は2200石。高さ10mの飛び込み台も設置されていた

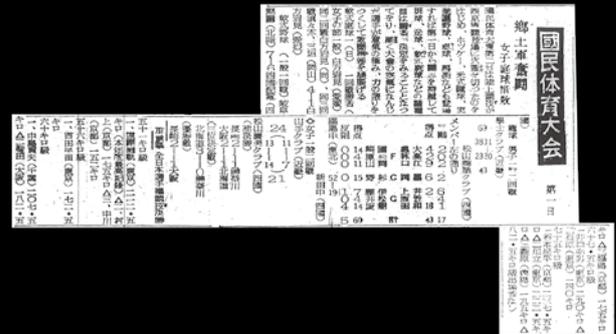
野球姿の正岡子規。明治22年、子規は休暇で帰省したとき、ボールとバットを持ち帰って河東碧梧桐らに野球の手ほどきをした。その後、野球同好会が松山中学に生まれ、校内にクラブチームを編成して互いに競い合い、わらじがけで西条、今治、内子、大洲へ野球啓発に出かけた

### 1946 (昭和 21) 年

11月に京都を中心に行われた第1回近畿国体には愛媛県から陸上、卓球など6競技代表が出場した。戦争で途絶えていたスポーツの復活のため、10月20日には「第1回愛媛オリンピック大会」が開催された



第1回愛媛オリンピック大会の開催を伝える愛媛新聞紙面(1946年10月21日付)



11月1日から京都を中心で開催された第1回近畿国体の県勢の記録を伝える愛媛新聞(1946年11月4日付)



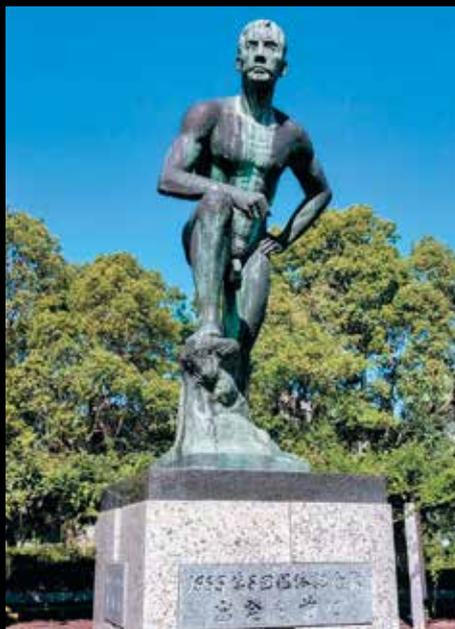
第1回国体県予選を開催(5競技)。焼野原の県庁前でのサッカー県予選(昭和21年)

### 第8回国体

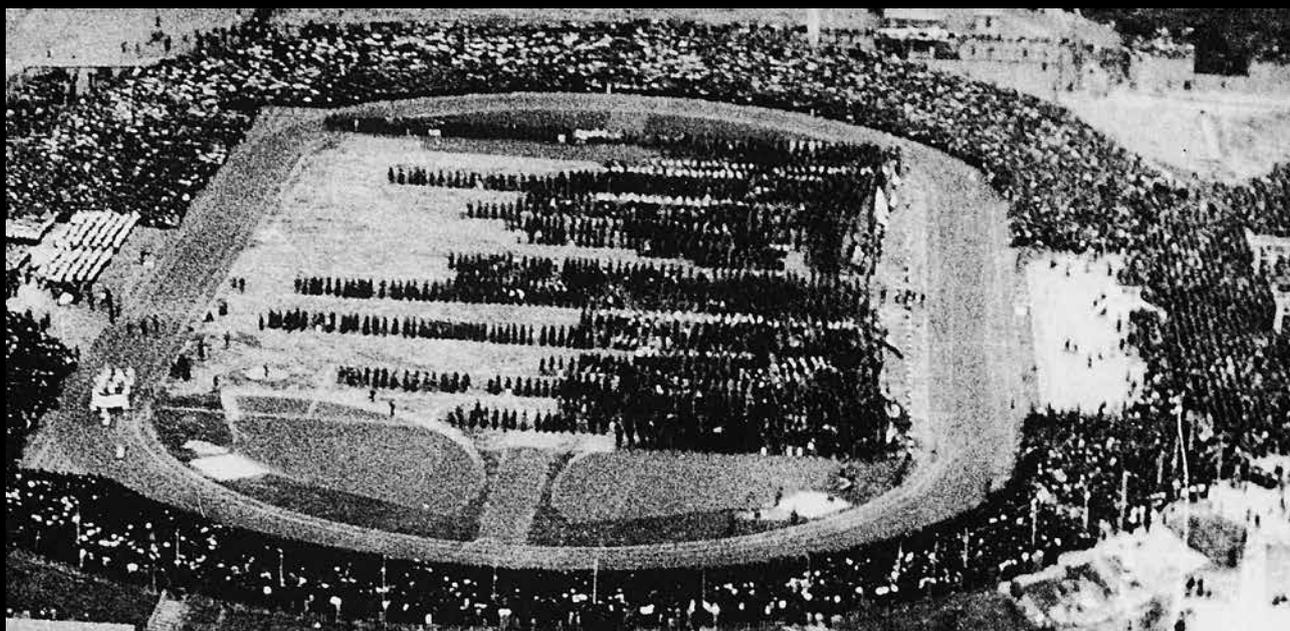
1953（昭和28）年10月に四国4県を舞台に第8回国体が開催された。愛媛では6市で18の競技を実施した



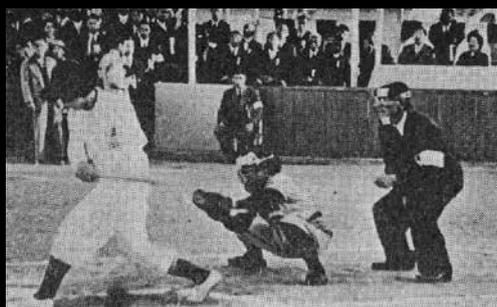
開会式で前年開催地からリレーされてきた国体旗がトラックを一周する



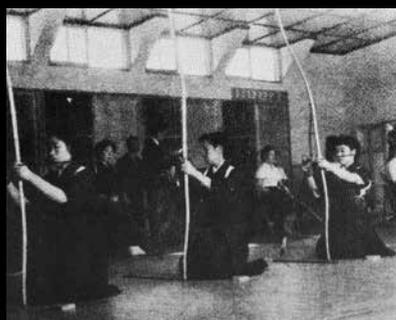
第8回国体記念像「出発の前に」（1953年制作・塩崎宇宙）。松山市堀之内（開会式会場）から第72回えひめ国体開催を機に、愛媛県総合運動公園に移設された



松山市堀之内競技場での開会式



【ソフトボール】一般女子の部での天覧試合（松山会場）



【弓道】一般女子 大的に出場した愛媛チーム



屋外での体操（堀之内）



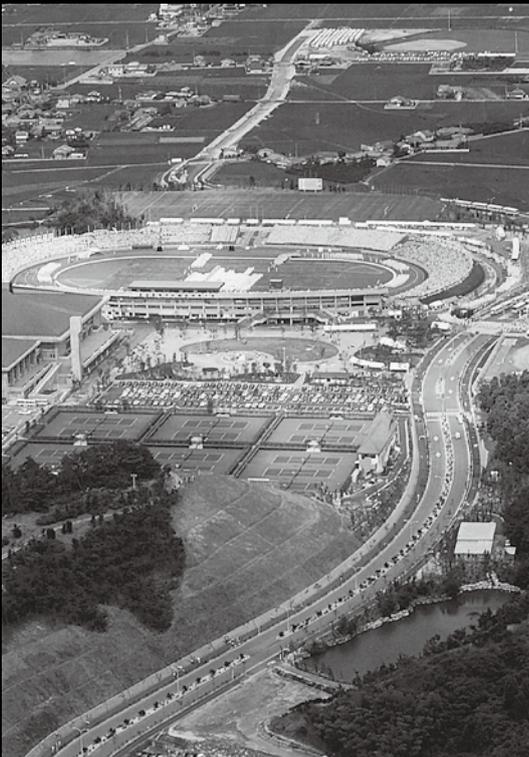
聖火は2日目県庁知事室に安置後、3日目早朝に県庁を出発

### 東京オリンピック聖火リレー

1964（昭和39）年9月12日に愛媛でも聖火リレーが行われた



「1964東京オリンピック聖火」が、白バイ先導で三坂峠を走る（昭和39年、ガードレールもなく未舗装の国道33号）



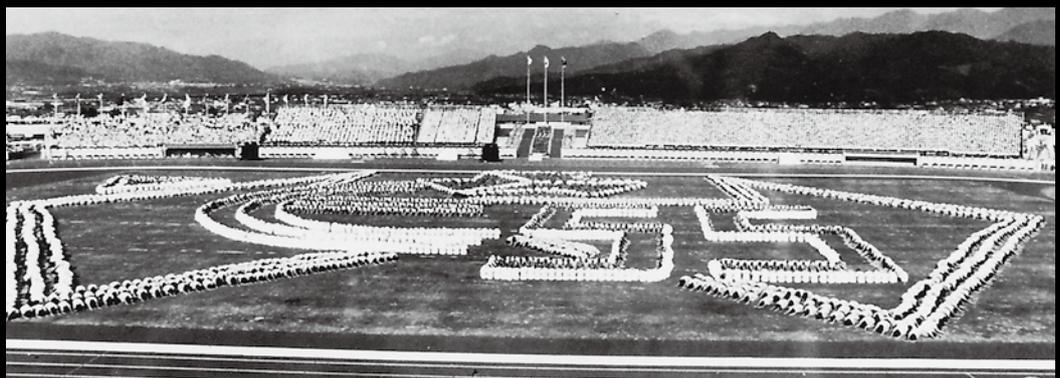
昭和55年にオープンした愛媛県総合運動公園（松山市上野町）

### 55 総体

1980（昭和55）年、全国高校総合体育大会の開会式が同年に完成した愛媛県総合運動公園で開催された



〔陸上〕男子400mリレーで新田高が5位入賞（左から3人目）



開会式の人文字

# 第72回国民体育大会 「愛顔(えがお) つなぐえひめ国体」

2017（平成 29）年に国民体育大会が開催された。県内での開催は 64 年ぶり、愛媛単独では初の開催となった。全国の選手団約2万8千人が県内各地の会場で熱戦を繰り広げた



総合開会式で大歓声の中、力強く入場行進をする愛媛県選手団



拍手を送られる天皇、皇后両陛下



えひめ国体の開幕を伝える愛媛新聞号外  
(2017年9月30日付)



最終奏者として、灯台に点火した安田夏子選手（左）と阿部聖斗選手



開式通告直後に編隊飛行を披露した  
航空自衛隊ブルーインパルス



県民参加プログラム  
フィールドに島をつなぐ橋が架かった



閉会式でえひめ国体を終え、笑顔をはじけさせる愛媛県選手団ら



# 公益財団法人 愛媛県スポーツ協会 創立100周年記念式典

愛媛県スポーツ協会の創立100周年を祝う記念式典が、2025（令和7）年2月26日松山市内のホテルで開催された。

式典には協会の役員や各競技団体の関係者ら約380人が参加。まず愛媛県スポーツ協会の大塚岩男会長が、これまでの歩みを振り返った上で「1953年には四国4県共同開催の四国国体開催を実現。2017年には64年ぶり2度目となる国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」を本県単独で開催。さらにこの間全国に先駆けて公益財団法人化するなど組織の強化を図るとともに、愛媛のスポーツの振興・普及に全力で取り組んでまいりました。愛媛県スポーツ協会は、新たな次の100年に向けて、スポーツの活性化を通じた地域の振興に努めてまいりますので、皆様方には一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます」と挨拶。続いて中村時広知事が「これからも愛媛県スポーツ協会が本当にアスリートのサポートもさることながら、健康のための皆さんへのスポーツの普及、そして見

る楽しさの提供。応援する支援する喜びの提供。そんな風なことで愛媛県を大いに盛り上げていただく存在として、成長を続けていただきたいと思います」と祝辞を述べた。

愛媛県スポーツ協会創立100周年記念事業実行委員会の豊島吉博委員長から「人生100年 スポーツ一生」のスローガンと3つの誓い「行動宣言」、「行動規範」、「ミッション」の“創立100周年記念宣言”が発表された。

100周年記念表彰では、1924年（大正13年）に県内初の本格的運動施設「道後グラウンド」を整備し、愛媛のスポーツの礎を築いた伊予鉄グループに特別感謝状が贈られ、合わせて178の個人に功労者表彰が、423団体に感謝状が授与された。

来賓として出席した日本スポーツ協会副会長で、元バレーボール日本代表の益子直美さんによる記念講演も行われた。

この後、祝賀会が行われ、愛媛県スポーツ協会の100周年を祝うと共に、さらなる発展を誓った。



大塚岩男 愛媛県スポーツ協会会長



中村時広 愛媛県知事



豊島吉博 愛媛県スポーツ協会常務理事・  
100周年記念事業実行委員長



三宅浩正 愛媛県議会議長(2025年2月当時)



益子直美 日本スポーツ協会副会長



清水一郎 伊予鉄グループ社長に特別感謝状贈呈



鏡割りをして100周年を祝った



祝賀会

# 愛媛県スポーツ協会 創立100周年記念宣言

## スローガン「人生100年 スポーツ一生」

### 3つの誓い “行動宣言”、“行動規範”、“ミッション”

愛媛県スポーツ協会は、大正13年創立以来、先人たちの活躍や、スポーツを愛する多くの方々に支えられ、お陰さまで、「100周年」を迎えることができました。長年に渡る皆様のご労苦に、厚くお礼申し上げます。

そして、「次の100年」へ。

私たちは、『人生100年 スポーツ一生』をスローガンに、スポーツ文化王国愛媛を目指し、“行動宣言”、“行動規範”、“ミッション”の「3つの誓い」をたて、夢の実現に向けて歩み出します。

## 次の100年へ さらなる夢を追いかけて 3つの誓い

### ◆行動宣言◆

○私たちは、スポーツを愛する人々とともに、『人生100年 スポーツ一生』をスローガンに、愛媛県民に愛され、親しまれる組織として、スポーツの普及振興を通し、いつの時代も、明るく希望のある愛媛をつくります。

○今も、将来も、スポーツが、人と人の温かく強い絆を、生み出す力を信じています。“する”、“観る”、“支える”、喜びと楽しさを伝え、「いつでもどこでもだれでも」スポーツができ、健康で、幸せに暮らせるよう、未来につないでいきます。

### ◆行動規範◆

- ☆私たちは、愛媛県人としてのプライドを持って、行動します。
- ☆私たちは、常に感謝と喜びの気持ちを忘れず、最後まで全力を尽くします。
- ☆私たちは、フェアプレーの精神で、全ての人々を尊重します。
- ☆私たちは、勝敗を真摯に受け止め、人々に夢と感動を与えます。
- ☆私たちは、ファミリーとして、スポーツを愛する仲間を増やし、絆を大切にします。
- ☆私たちは、社会の一員として、責任ある態度で行動し、スポーツ環境を充実します。
- ☆私たちは、組織としてのガバナンスを強化し、コンプライアンスを遵守します。
- ☆私たちは、すべての差別やハラスメントを根絶します。
- ☆私たちは、多様性の認識と理解に向けて前向きに取り組みます。
- ☆私たちは、信頼と安定感のある組織を目指します。

### ◆ミッション◆

- ・日本に冠たる「スポーツ文化王国愛媛」となる
- ・四国スポーツ界をリードし、「日本の地方スポーツ組織の模範」となる
- ・愛媛県民に、「愛され親しまれる組織」となる
- ・安定した財政を確保し、健全で活力のある組織運営をする
- ・スポーツを通じて「健康で明るい幸せな社会」をつくる
- ・スポーツを愛する人々を結集し、スポーツファミリーの「絆」を深める
- ・愛媛県民が、毎日元気でスポーツを楽しむことを提唱する
- ・愛媛県民が、「いつでもどこでもだれでもスポーツできる環境」をつくる
- ・愛媛のスポーツレベルの向上と発展に傾注する
- ・「全国的スポーツ大会やイベントを誘致」開催し、愛媛の振興に努める
- ・“国民スポーツ大会”を「誘致開催し、初の天皇杯」を獲得する
- ・“国民スポーツ大会”で、「常に10位台」をキープする
- ・加盟競技団体の全国大会で、「常にベスト8以上」をキープする
- ・加盟競技団体の「日本代表や各年代日本代表等の優秀選手」を育てる
- ・愛媛県下の市町に、「スポーツクラブ」を普及する
- ・トップアスリートの「トレーニングセンター」や常設の「愛媛医科学センター」など、愛媛スポーツの拠点となる「愛媛総合スポーツセンター」をつくる

## 創立100周年記念表彰 特別感謝状贈呈

団体名	所在地	功績概要
かぶしきがいしゃ 株式会社 伊予鉄グループ	松山市	1924年、県内で初めての万人のための本格的な運動施設である「道後グラウンド」を伊予鉄道電気（現・伊予鉄道）が建設。その運営の委託を受け、「愛媛体育協会」（現・愛媛県スポーツ協会）が創設された。同グラウンドが愛媛県のスポーツの普及振興発展に果たした功績は大である。

記念表彰実施要項(抜粋) 特別感謝状贈呈  
公益財団法人愛媛県スポーツ協会の発展のために特別に支援・協力するなど尽力されたものに感謝状を贈呈する。

## 創立100周年記念表彰 功労者表彰一覧表(愛媛県スポーツ協会)

氏名	現在の役職名	所属	推薦団体
新井 英夫	顧問	松山大学理事長	(公財) 愛媛県スポーツ協会
井川 俊高	顧問	大王製紙株式会社特別顧問	
清水 一郎	顧問	株式会社伊予鉄グループ 代表取締役社長	
篠原 実	顧問	四国中央市長 元愛媛県議会スポーツ振興議員連盟理事	
島原 傳喜	顧問	株式会社島原本舗 代表取締役会長	
高原 豪久	顧問	ユニ・チャーム株式会社 代表取締役社長執行役員	
八石 玉秀	顧問	愛媛信用金庫理事長	
檜垣 幸人	顧問	今治造船株式会社代表取締役社長	
本田 元広	顧問	株式会社愛媛銀行相談役	

※所属は受賞時点

# 愛媛県スポーツ協会のあゆみ

1924(大正13)年10月17日、愛媛県スポーツ協会の前身「愛媛体育協会」が発足した。初代会長に由比質(旧制松山高等学校校長)が就任、事務所を松山市道後湯之町の「道後グラウンド」におき、愛媛スポーツが本格的に始まった。以来100年、現在は法人格を持った「公益財団法人 愛媛県スポーツ協会」とし、加盟79団体(競技56、地域20、学校体育3)を擁する、愛媛を代表し、愛媛のスポーツ団体を統括する組織となった。

2025(令和7)年2月26日、松山で「創立100周年記念式典」を行い、次の100年へさらなる発展を願って「人生100年 スポーツー生」をスローガンに、「三つの誓い」を記念宣言し、新しいスタートを切った。

## ◆創立へ

明治時代、愛媛では旧制中学・旧制高等学校・師範学校で、近代スポーツ(野球、マラソン、庭球、排球、競泳など)が始まった。中でも、野球は俳人正岡子規が伝えたと言われている。(子規は野球殿堂入り)

大正初期までには、松山、西条、宇和島など8市町村で「体育会」が、誕生した。

全県を束ねる必要から、由比質、服部寛一(松山商業校長)、秋山好古(旧制北予中学校校長)、井上要(伊予鉄道電気社長)等の有志が発起人となり、愛媛体育協会設立準備が進み、1924年の創立につながった。

事務局のあった道後グラウンドは、伊予鉄道電気が、スポーツ振興のために、巨費をとうじて、松山の道後地区に建設した。野球場、一般競技場(250<sup>坪</sup>)、庭球場、プール(飛び込み台:10<sup>坪</sup>と1<sup>坪</sup>)等で、当時としては日本有数の複合スポーツ施設として、画期的だった。

## ◆戦前

昭和に入ると会長職の空席が続く一方、道後グラウンド管理に伴う多額の経営赤字や、加盟金未納による大日本体育会(現日本スポーツ協会)からの除名騒ぎ等の混乱が続き、組織的に厳しい状態だった。

1933(昭和8)年、組織立て直しのため、会長に一戸二郎・愛媛県知事が就任、名称も「愛媛県体育協会」に改称したが、戦時体制に入りその後も低迷が続いた。

## ◆戦後

1945(昭和20)年10月、「大日本体育会愛媛支部」を新組織名として、愛媛スポーツ再建の第一歩を踏み出した。

1946(昭和21)年5月、松山では、戦争による焦土化した土地をグラウンドにならし、愛媛新聞社主唱の第1回「愛媛オリンピック大会」がスタート、スポーツにおける愛媛の戦後復興が始まった。同大会は、1949(昭和24)年から、愛媛県教育委員会と愛媛県体協が加わって、三者共催の愛媛スポーツ大会、愛媛県民スポーツ大会と、名称を変えながら、1987(昭和62)年まで続き、愛媛スポーツの普及振興に貢献した。

## ◆第1回近畿国体(現国民スポーツ大会)

戦禍残る時代にもめげず、「スポーツで復興を」と、1946

年(昭和21)年11月、京都を中心に京阪神で第1回近畿国民体育大会が、開催された。愛媛からも、米・みそに飯食持参で、陸上、卓球など6競技に出場した。卓球女子ダブルスで準優勝、同混合ダブルス3位、陸上走り幅跳び5位入賞するなど健闘した。

これを契機に、1947(昭和22)年10月、青木重臣・愛媛県知事を新会長に、10競技団体と松山市など7地域の体育協会が加わり、「愛媛県体育協会」が、再発足した。

## ◆第8回四国国体誘致

愛媛県体協は愛媛県スポーツ振興会議(1950年発足)と、協調して、同年「国体誘致委員会」を立ち上げ、第8回国体開催に立候補した。1951(昭和26)年5月、会長の久松定武・愛媛県知事の下で単独開催を計画したが、残念ながら同年6月、四国4県県議会議長会は、四国4県共同開催を決議した。これを受けて日本体育協会は10月、第8回国体は四国4県共同開催とし、開・閉会式を松山市に内定した。

## ◆第8回四国国体準備

資金調達のため、1952(昭和27)年4月「第1回愛媛県体育宝くじ」を発売した。メイン会場の松山市堀之内の陸上競技場、体育館、野球場などの建設、県内6市で施設整備が本格化した。1953(昭和28)年10月9日には、国体旗が、大阪から松山の高浜港に上陸、松山から時計回りに四国4県を一巡して、各地で国体ムードを盛り上げた。

## ◆第8回四国国体開催(天皇杯9位)

秋季大会は、1953(昭和28)年10月22日、松山市堀之内競技場に、天皇皇后両陛下のご臨席をあおぎ総合開会式を挙行。各県1万9千人の選手団が6日間、四国4県17市町村64会場で男子28、女子12競技(愛媛17競技)に熱戦を展開した。

愛媛勢は、夏季68名、秋季602名が25競技に出場。重量挙げの総合優勝、漕艇、馬術、軟式庭球、ソフトボールなどで好成績を挙げ、天皇杯9位、皇后杯8位と健闘した。

## ◆昭和30年代

四国国体は、施設整備や指導者の充実で、学校や実業団など愛媛スポーツの競技力向上となり、昭和30年代に入り成果がでた。1956(昭和31)年メルボルンオリンピックで、水泳・吉村昌弘(200<sup>坪</sup>平泳ぎ)、体操・河野昭(団体)が愛媛県人初の銀メダルを獲得した。

競技では、陸上、水泳、体操、漕艇、重量挙げ、ボクシング、相撲、弓道、卓球、軟式庭球、野球、ソフトボールなどの活躍が目立った。

国体では1958(昭和33:富山)年天皇杯7位、皇后杯5位を最高に、常に天皇杯20位以内(1963除)を確保した。

## ◆愛媛県スポーツ振興会

1964東京オリンピック控え、1962(昭和37)年「オリンピック愛媛スポーツ振興会」が発足、行政補助、民間募金で競技団体や地域のスポーツ振興活動を支援した。東京オリンピック後解散したが、1965(昭和40)年7月、「愛媛県スポーツ振興会」に改組、公費補助と一般募金を元に各種

スポーツ支援事業を行い、今日に至っている。

#### ◆東京オリンピック(1964)

1964(昭和39)年9月12日、オリンピック聖火が、別府から松山に入り、堀之内競技場で歓迎式典が行われ2万人の観衆が熱狂した。聖火は、この後、聖火リレー隊が県内各所をリレーされ、高知へ引き継がれた。

競技では、陸上、体操、ボート、カヌー、馬術、ボクシングに男女8名の県人が出場。体操男子・山下治広(宇和島出身。現松田)が、跳馬(新山下跳び)で県人初の金メダルを獲得した。ボクシング(ウエルター級)・吉田が5位入賞した。

#### ◆スポーツ少年団誕生

東京オリンピック開催を契機に、スポーツを通じて、青少年の健全育成を目指す「日本スポーツ少年団」が創設された。これを受けて、愛媛でも1964(昭和39)年9月、愛媛県体協の下部組織として「愛媛県スポーツ少年団」が発足した。所属少年団は、松山、双海(現伊予市)、津島(現宇和島市)の1市2町だった。その後愛媛県下各市町村で組織化が進んだ。2025(令和7)年10月現在、327団、指導者851名、団員6,322名と盛んな活動をしている。

#### ◆北条青少年スポーツセンター

日本体育協会は、スポーツ少年団など総合トレーニング施設として、全国で青少年スポーツセンター建設を推進し、全国4番目の施設として、愛媛の北条市(現松山市)が選ばれた。1968(昭和43)年プール、1973(昭和48)年7月、体育館、サッカー場、宿泊棟(250人収容)が完成オープンした。

1983(昭和58)年には、同所で第21回全国スポーツ少年大会を開催した。2000(平成12)年、運営が日本体協から地元松山市に移管された。その後、宿泊・研修棟、プール等は閉鎖されたが、他のグラウンド・体育館などの施設は、国体はじめ各全国大会会場になったほか、多くの人々に利用され、スポーツの振興普及に大きな貢献をしている。

#### ◆低迷

昭和40年代以降、実業団チームの撤退や人口減などが続き成績が低迷した。競技力の低下は、国体成績不振となった。

1970(昭和45)年9月、愛媛県体協は財団法人化、組織の立て直しを図った。一方、1971(昭和46)年、1980(昭和55)年と、2巡目国体の愛媛誘致を図ったが実現できなかった。愛媛スポーツ界の開そく感が増した。

#### ◆「愛媛県総合運動公園」と「55総体」

1980(昭和55)年、愛媛県は、松山市上野の丘陵地帯に、陸上競技場、テニスコート、球技場、体育館など、全国大会など開催可能な総合スポーツ施設「愛媛県総合運動公園」を建設した。お披露目を兼ね、「昭和55年度全国高等学校総合体育大会」(略称55総体：愛媛中心に四国開催)を開催した。同大会は、愛媛中心に四国4県で24競技(愛媛10)に2万1千人の高校生アスリートが参加、熱戦を展開した。

総合開会式には、皇太子ご夫妻をお迎えし、大会テーマ「四国路を駆けろ若人 意気と熱」のもと、愛媛の高校生が、全国的にも珍しい見事な人文字パフォーマンスを披露して

歓迎、大きな拍手を浴びた。

#### ◆「スポーツ立県」と「国体誘致」

1999(平成11)年、愛媛県知事に加戸守行氏が就任、政策の柱の一つに「スポーツ立県」をたて、「みんなでスポーツ、ひろがる笑顔」をスローガンに、スポーツ振興普及推進を県民にアピールした。

これを受けて、同年愛媛県体協会長に就任した大亀孝裕会長は、2巡目国体誘致活動を再開した。該当する西地区関係県を回り、2001(平成13)年5月に、2017(平成29)年第72回国体の愛媛県開催の同意を取り付けた。2004(平成16)年7月には、日本体育協会から内々定を得た。1953(昭和28)年第8回四国国体以来、64年ぶり、初の単独開催が事実上決定した。

#### ◆第72回国体、初の単独開催へ

内々定を受けた愛媛県体協では2002(平成14)年、愛媛出身選手・指導者の県内就職受け皿の開拓や協力会員の検証などを目的にした「愛媛県社会人スポーツ推進協議会」を立ち上げた。愛媛県教育委員会は、2003(平成15)年、「手づくり」「実になる」「身の丈」などの開催理念を発表。

一方、大亀愛媛県体協会長のリードで「えひめ国体競技力強化支援募金」(通称・ひめっこ募金)活動を展開、3年間で約12億円を集め、大きな原資になった。

2005(平成17)年、「第72回国体愛媛県準備委員会」が発足。夏・秋季国体37競技中34競技会場を愛媛県内19市町とし、開催準備が本格化した。

また、競技開催地域と競技振興を兼ねた「ふるさとスポーツ一町1技・一校1技」を事業化し、9市町9競技を指定し、盛り上げた。

#### ◆「公益財団法人」化、「第72回愛媛国体」決定

2011(平成23)年4月1日、より機能的、効率的に諸活動に取り組むため、全国に先駆け、画期的な「公益財団法人」化に取り組み「公益財団法人 愛媛県体育協会」として認可を受けた。

また、第72回国体の愛媛開催は、日本体育協会から2012(平成24)年内定、2014(平成26)年には正式決定を受けた。これにより、愛媛県は既に設置していた「第72回国体愛媛県準備委員会」を「実行委員会」に格上げし、名実ともに、初の国体単独開催へ向けて歩み出した。

#### ◆愛媛県武道館落成

2003(平成15)年、愛媛県は松山中央公園内に、全国屈指の規模を誇る「愛媛県武道館」を完成させた。記念として愛媛初の「国際親善女子柔道大会」(フランス、キューバなど海外6か国と全日本、愛媛選抜の8チーム)を開催、愛媛選抜は3位に入る健闘だった。また、名誉館長には、山下泰裕氏(ロスオリンピック柔道無差別級金メダル)が就任し、華をそえた。

#### ◆国体リハーサルと盛り上げ

2016(平成28)年、翌年に控えた愛媛国体に向けて、各開催地で37競技のリハーサル大会が行われ、行政、競技団体、民間、地元住民らが一体となって、大会(試合、準備など)を円滑に運営する方法や、おもてなしなど受け入れ態勢を懸命に学び、本番に備えた。

同年の岩手国体は、本番前年とあってラグビー成年男子、サッカー成年女子、テニス成年女子、ゴルフ成年男子個人が初優勝。ボート、弓道、陸上・ボクシング個人で優勝など、各競技で活躍が目立った。好成績となり、過去最高の天皇杯7位を獲得、来年の本番へ向けてムードを盛り上げた。

#### ◆「第72回国体 愛顔(えがお)つなぐ えひめ国体」成功

大会名を、「第72回国民体育大会 愛顔つなぐ えひめ国体」(2017=平成29・9・30～10・10)とし、目標を、「初の単独開催成功」、「天皇杯獲得」として、選手団、関係者始め、愛媛県民を挙げて懸命に取り組んだ。

9月30日、総合開会式が愛媛県総合運動公園陸上競技場であり、天皇皇后両陛下にご臨席を賜り、役員選手団はじめ観客や集団演技等の出演者ら約2万8千人が参加して、華やかな集団演技などで歓迎、式典を盛り上げた。

期間中、各競技開催市町では適切な競技運営はじめ、各競技ではその熱いサポートを受けて好試合が展開された。また、開催地では、地元市町民が、各県選手役員始め応援にきた県外客に、地元名物料理や産品をふるまうなど温かなおもてなしがされ、国体ならではの和やかな交流がみられた。

愛媛県選手団は全競技に962人が参加し、愛媛県民ははじめ多くの人々の期待に応えて健闘した。しかしながら、天皇杯(男女総合)、皇后杯(女子総合)ともに東京が優勝、目標の優勝にはわずかに届かず2位となった。とはいえ、過去最高(2016岩手7位)を上回る成績を獲得した。優勝数は41で、前年岩手国体の4倍以上と躍進、長年にわたる関係者の努力が実った。

同年10月28日から3日間、愛媛初の全国障害者スポーツ大会「愛顔(えがお)つなぐ えひめ大会」を開催した。

総合開会式には、皇太子殿下をお迎えし、愛媛県選手団約450人を含む47都道府県と20政令指定都市選手団や観客ら約2万1千人が参加して盛大に行われた。続いて、県内9市町で13競技と3オープン競技を実施した。愛媛県勢は、個人競技で過去最多メダル121(金54、銀30、銅37)個、団体でもグラウンドソフトボールが優勝するなど活躍した。

#### ◆えひめ国体開催のレガシー生かす

国体使用施設利用始め、大会レガシーを受け継ぎ、今後どうするか?愛媛の選手や競技団体、行政には課題が残った。

愛媛県は、県庁内組織にしていた「愛媛県競技力向上対策本部」を、国体終了後も「愛媛スポーツの強化普及に努める」と解散せず、維持していく方針を固めた。これにより、競技団体や選手を、雇用はじめ物心両面でサポートし続けた。

この効果は、大きく、現在でも、日本代表選手を輩出したり、全国優勝や上位成績、国スポ10位台キープなど、県勢規模からすると大きな成果を上げている。

また、施設では、新設した西条市のスポーツクライミング、松前町のホッケーなど、地元行政、住民、競技団体がマッチ、地域振興に大きな貢献となっている。

2019年愛媛県スポーツ協会は、大亀スポーツ振興財団と合併(名称は愛媛県スポーツ協会)し、より安定した財政体制となった。

#### ◆2度目の東京オリンピック コロナで無観客開催

2度目開催の東京オリンピックは、当初2020(令和2)

年開催だったが、世界的な新型コロナ感染症によるパンデミックの中で、開催不可能との判断で初の延期となった。翌2021(令和3)年に開催となったが、新型コロナ感染症対策として、無観客開催という異例の状況下での実施となった。国内各地を巡る聖火リレーも従来の形をとれず、大幅に縮小された。

#### ◆国体や愛媛県内大会なども、新型コロナで中止

新型コロナパンデミックの影響は大きく、日本中で種々行事中止や縮小が相次いだ。スポーツ界も例外でなく、プロスポーツはじめ、国体や全国大会、愛媛でも、多くの大会や行事が、やむなく中止となった。このため、小、中学、高校、大学など、多くの生徒・学生らが出場の機会を失う悲しい状況が続いた。

#### ◆「体育」→「スポーツ」、「国体」→「国スポ」へ

長年、「体育」の名称を各界で使っていたが、国際化・時代の流れもあり「スポーツ」に名称を変えるのがトレンドになってきた。「日本体育協会」が2018(平成30)年に「日本スポーツ協会」に、同年に「愛媛県体育協会」も「愛媛県スポーツ協会」に変更、時代に合わせた。

「国民体育大会」(国体)も、「国民スポーツ大会」(国スポ)となり、2024(令和6)年第78回開催の佐賀から名称変更が実施となった。

#### ◆創立100周年記念式典・記念宣言

2025(令和7)年2月26日、「創立100周年記念式典」を、松山市内のホテルで開催。日本スポーツ協会・益子直美副会長、愛媛県・中村時広知事はじめ来賓、スポーツ関係者ら約380人が参加して祝った。

最初に、愛媛県スポーツ協会・大塚岩男会長が「先人の労苦に感謝。次の100年に向けて、スポーツの活性化を通じた地域の振興に努めていく」と挨拶。中村知事は「これからも、愛媛を盛り上げてくれる存在として成長を続けていきたい」と祝辞。愛媛県議会・三宅浩正議長、日本スポーツ協会・益子副会長の祝辞が続いた。

式典では、愛媛県スポーツ協会100周年記念事業実行委員会・豊島吉博委員長(常務理事)から、「創立100周年記念宣言」として、「人生100年 スポーツ生」のスローガンと3つの誓い「行動宣言」「行動規範」「ミッション」が発表され、次の100年へ力強く歩みだした。

また、日本スポーツ協会・益子副会長の記念講演、関係者による祝賀会が和やかに行われ、100周年を祝い合うと共に、さらなる発展を誓った。

このほか、2024(令和6)年から2025(令和7)年にかけて、諸事業を開催した。2024年は、100周年記念事業として、「生涯スポーツ体力づくり全国会議」(2月:室伏広治スポーツ庁長官臨席)、「キッズかけっこ塾」(11月:講師・陸上オリンピック為末大)、「全国バレーボール交流大会」(12月)。2025年は、高円宮久子妃殿下をお迎えして「日本マスタートーズ2025愛媛大会」(9月)、「日韓スポーツ交流、成人交歓交流」(9月)を行って、100周年を盛り上げた。

最後に、「公益財団法人 愛媛県スポーツ協会100年史」を2026年2月に発刊して、一連の100周年事業の締めくくりとした。

# 大亀孝裕 元愛媛県スポーツ協会会長にささぐ

愛媛県スポーツ協会 大亀孝裕元会長（第 22 代会長 1999 ～ 2018 年、初代名誉会長 2018 ～ 2021 年）は、愛媛初の単独開催である「第 72 回国民体育大会（2017）」を誘致、成功させ、安定した財政化（大亀スポーツ振興財団合併、強化資金づくり）、競技力向上など、愛媛スポーツ界振興に特筆すべき尽力をされました。また、日本体育協会常務理事を務めるなど、中央組織との厚いつながりも大きなものがありました。

2021 年 89 歳で、惜しまれつつ逝去されましたが、生涯にわたりスポーツを愛した人柄をしのぶとともに、輝かしい業績を掲出し、その偉業をたたえます。

## 【特筆すべき事項】

### 公益財団法人愛媛県スポーツ協会

1973 年（昭 48）本会理事に就任後、2018 年（平 30）会長を退任されるまで 45 年の長きにわたり、本会の役員を歴任し、愛媛県のスポーツの普及振興、競技力の向上に貢献した。この間、本会個人登録制度の導入、市町の体育協会の本会加盟への働きかけなど本会の組織拡充、財政基盤強化に努めたほか、愛媛県社会人スポーツ推進協議会を設立し、優秀なスポーツ選手の雇用促進に尽力した。

### 2017 えひめ国体

国民体育大会（現国民スポーツ大会）の愛媛県単独開催に向け、自ら先頭に立って誘致活動に取り組み、2004 年（平 16）開催内々定、2012 年（平 24）開催内定、2014 年（平 26）開催決定に至った。特に、2005 年（平 17）には、強力なリーダーシップで「2017・えひめ国体競技力強化支援募金（ひめっこ募金）」活動を展開。国民体育大会成功のための募金活動を展開し、約 12 億円を集め、国体の成功につなげた。

### 公益財団法人大亀スポーツ振興財団との合併

2000 年（平 12）自ら私財 5 億円を投じて「財団法人大亀スポーツ振興財団」を設立し、地域スポーツの普及及び競技力の向上に向けて、各種スポーツ大会への助成や選手・指導者への育成支援を行った。また、優秀な成績を収めた選手や指導者を毎年表彰した。

えひめ国体後、2019 年（平 31）本会と（公財）大亀スポーツ振興財団が合併し、当該財団が有する多大な財産を資金にさらなるスポーツの振興に努めるとともに、「大亀スポーツ賞」として顕彰事業を引き継ぎ、副賞に「福々亀」を贈呈している。



日本体育協会特別表彰授賞式  
大亀氏（右）、伊藤日体協会長（左）



日本体育協会  
特別表彰  
表彰状



大亀スポーツ賞  
副賞「福々亀」

### 大亀孝裕氏 ご経歴

- 1958 年（昭 33）大亀商事（後のダイキ株式会社）を創業
- 1963 年（昭 38）ダイキ株式会社代表取締役社長
- 1971 年（昭 46）愛媛県ソフトボール協会会長
- 1973 年（昭 48）財団法人愛媛県体育協会理事
- 1999 年（平 11）財団法人愛媛県体育協会会長  
ダイキ株式会社代表取締役会長
- 2000 年（平 12）財団法人大亀スポーツ振興財団理事長
- 2001 年（平 13）財団法人日本体育協会常務理事
- 2003 年（平 15）財団法人日本体育協会参与
- 2004 年（平 16）松山商工会議所会頭  
愛媛県商工会議所連合会会頭
- 2007 年（平 19）旭日小綬章（スポーツ功労）
- 2009 年（平 21）愛媛県功労賞
- 2011 年（平 23）日本体育協会創立 100 周年表彰（特別功労者）
- 2017 年（平 29）日本体育協会特別表彰
- 2018 年（平 30）公益財団法人愛媛県スポーツ協会名誉会長

# 愛媛のスポーツ100年

100 Years History of Ehime Sports

## 黎明期

～1925

(～大正14年)

### 愛媛体育協会創立

明治の幕開けと共に、欧米から日本に数多くのスポーツが伝わってきた。

愛媛においても、中等教育や社会教育を発展させる機関である愛媛県教育協会に体育部門を設けるべきだという機運が高まる。当時の教育界では体育の位置づけは極めて低く、設置にかかる経費集めも困難を極めたが、大正11(1922)年4月22日の第34回愛媛教育協会総会で、体育部門の設立が決定。大正13(1924)年に愛媛体育協会が創立され、松山高等学校長の由比質が初代会長に就任。伊予鉄道電気が松山市祝谷に整備した道後総合グラウンドに事務所を構えた。

愛媛の地では明治25(1892)年に帰省中の正岡子規が松山に野球を伝え、松山中学野球同好会が誕生する。さらに明治30(1897)年には後に愛媛のお家芸となるボート競技の前身・端艇部が松山中学、宇和島中学、西条中学に相次いで設立される。

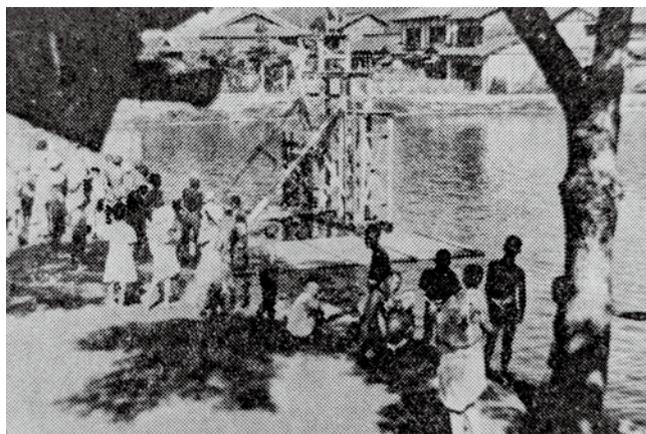
大正14(1925)年には第2回中等学校選抜野球大会で松山商が初優勝。同年はサッカーの全国高校ア式蹴球大会で松山高校、ボートの明治神宮大会で宇和島新田青年団が初優勝など徐々に各スポーツが全国の舞台で活躍するようになっていった。



松山中学校グラウンド(現NTT西日本四国支店)での野球試合。当時、主審はピッチャーの後ろ、キャッチャーは中腰で構えていた(明治33年)



道後公園東トラックでは、競馬・自転車競走が行われた



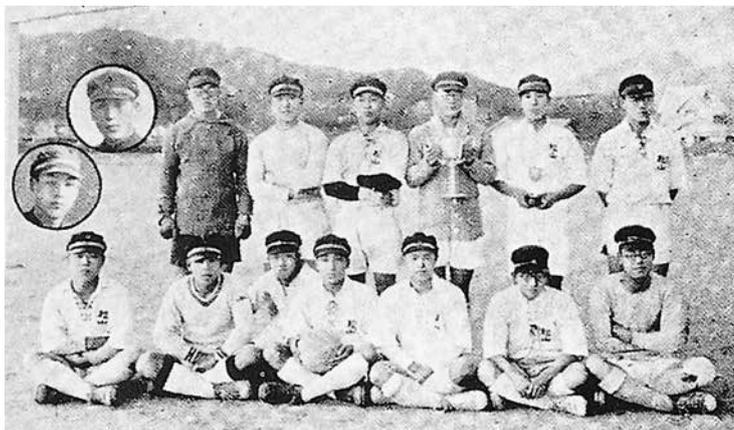
松山市築山町にあった「御田池」。松山藩士の水練場として使われた。明治期になっても市街地の手近の水泳場として利用されていた



明治30年に松山中学に端艇部が生まれ、宇和島・西条中学も相次いで創設。明治34年9月22日に本県最初の漕艇大会、松山・宇和島・西条中学の3校対抗レースが松山市高浜沖で開催された。その時の記念写真



松山中学と西条中学初の野球対抗試合 (明治 35 年)



〔サッカー〕全国高校ア式蹴球大会で松山高校が初優勝 (大正 14 年)



〔庭球〕日本女子オリンピック優勝の済美高女 (大正 13 年)



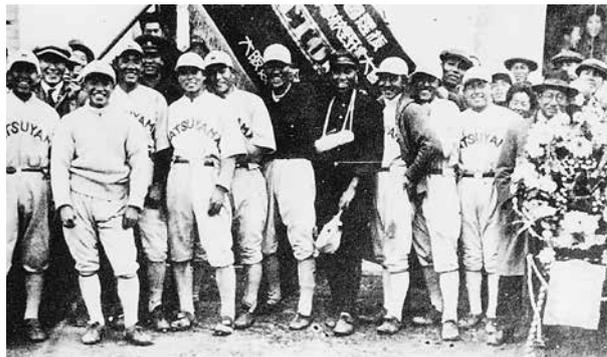
〔ポート〕大正 14 年、第 23 回大会で宇和島中学が参加 5 年目で初優勝



済美高女の陸上練習



〔野球〕大正 12 年、全国少年大会で松山第四尋常小 (現東雲) 優勝



〔野球〕大正 14 年、第 2 回選抜中学校大会に松山商業が 2 年連続出場し初優勝

# 戦前・戦中

## 1926-1944

(大正15年・昭和元年-昭和19年)

### 忍び寄る戦争の足音

野球をはじめ、明治から昭和初期にかけては、漕艇（ボート）、陸上、サッカー、ラグビーなど、愛媛でも数多くの競技が産声を上げた。

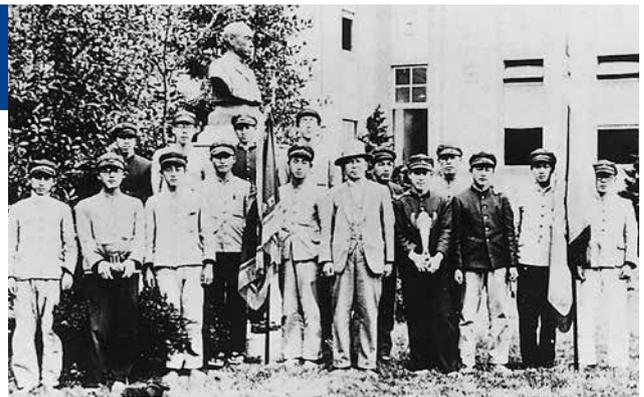
各競技とも大舞台でも活躍するようになり、アムステルダムオリンピック（1928年）では、200m平泳で鶴田義行（松山市在住）が優勝。ロサンゼルス（1932年）でも連覇を果たした。

国内に目を向けると昭和6（1931年）には全国中学校柔道大会で松山中学が津山中学と引き分け両校優勝。翌年には選抜高校野球で松山商が2度目の全国制覇を果たしている。お家芸の漕艇（ボート）が目まぐるしい活躍を始めるのもこの頃からだ。こうした中、愛媛体育協会は昭和8（1933年）に愛媛県体育協会に名称を変更し、活動を更に活発化させていたが、満州事変以降、スポーツの世界にも次第に軍事色が広がりはじめ、大会等も縮小されていくこととなった。



昭和7年、松山商業は第9回選抜中学校大会に3年連続8度目出場し、7年ぶり2度目の優勝。松山市駅前の祝勝会=左。この年、夏の全国大会でも準優勝

〔野球〕昭和9年、全国高専大会高校の部で松山高校が初優勝



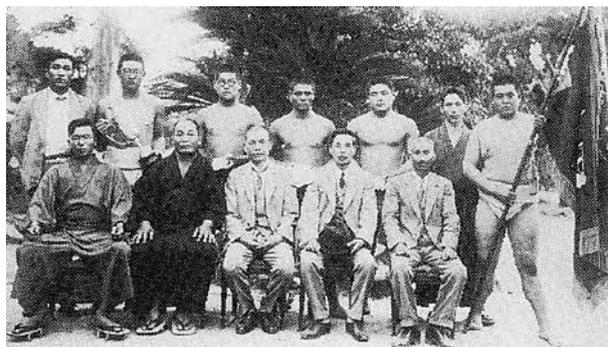
〔ボート〕昭和9年、第32回全国中学校優勝大会（柳ヶ崎）で今治中学が参加10年目で初優勝



〔ラグビー〕愛媛リーグ始まる（昭和8年）



〔ボート〕昭和13年、松高主催近県中学校大会で優勝の松山中学



〔相撲〕関西中学校大会で北予中学が団体個人戦ともに優勝（昭和8年）



[バスケットボール] 世界フリースロー大会で服部孝子(松山高女)世界一。左は当時の松山高女(昭和4年)



鶴田義行(戦後松山市に永住)  
アムステルダム、ロサンゼルス大会200m  
平泳で連続金メダル(昭和3・7年)



[野球] 昭和13年、全国実業専門学校大会で松山高高が準優勝



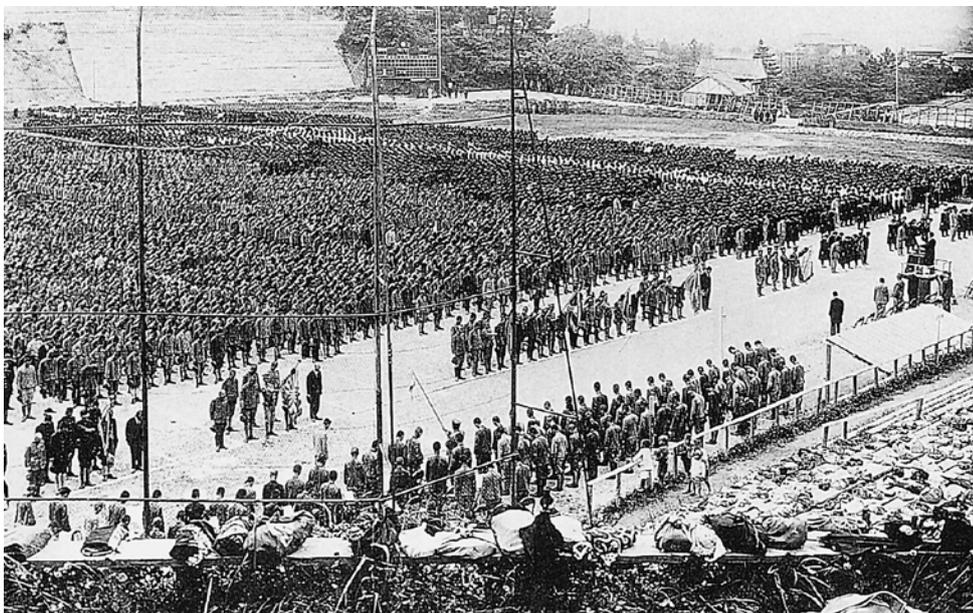
武田義孝(松山商業卒)  
ロサンゼルス、ベルリンオリンピック体操競技に出場(昭和7・11年)



[ラグビー] 明治神宮大会東西決勝、愛媛師範(太織)対秋田工業(細織)の一戦(昭和16年)



[サッカー] 全国高校大会で松山高校が15年ぶり2度目の優勝(昭和15年)



戦時下の県中等学校体育大会開会式(昭和16年) = 道後グラウンド

# 戦後

## 1945-1952

(昭和20年-昭和27年)

### 復興とスポーツ

終戦から2カ月後の昭和20(1945)年10月、大日本体育会愛媛支部が発足。焼野原の中からスポーツの復興が始まった。翌年の昭和21(1946)年には、現在の愛媛スポーツ・レクリエーション祭の前身である第1回愛媛オリンピックがスタート。卓球、バスケット、ラグビーなど多くの協会が再び設立され、第1回近畿国民体育大会に6競技が出場。ただ国体予選は県庁前の焼野原で行われるなど、戦争の爪痕を引きずったままの船出となった。昭和22(1947)年には10競技団体、7地域団体及び県学徒体育会による愛媛県体育協会が設立。青木重臣知事が会長に就任した。

昭和23(1948)年には松山市堀之内を総合グラウンドにすることが決まり、市内の中高生による奉仕作業の突貫工事で松山球場を建設。翌年には本県のスポーツ振興のため県議会が第8回国体誘致を全会一致で決議。様々な形で戦後の愛媛スポーツが本格的に新たな一歩を踏み出した。



〔陸上〕第1回オール松山・住友クラブ対抗陸上競技大会=新居浜市星越グラウンド(昭和22年)



第3回国体(秋季10.29~福岡県)に168人参加。天皇杯39位、皇后杯40位(昭和23年)



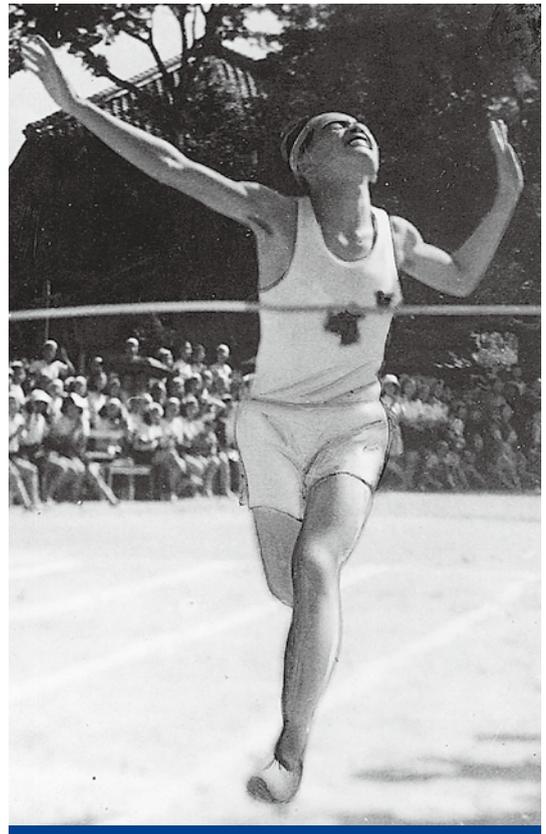
戦後のバスケットボール高校大会。当時は屋外コートで行われていた



〔バスケットボール〕第1回全国高校選手権大会でベスト8入りした松山城西高チーム(昭和23年)



〔ラグビー〕全国師範大会で愛媛師範が初優勝（昭和23年）



〔陸上〕戦後、本県が生んだ最初の全国級選手は5000mの井上治（大洲高）だった。昭和25年の全国高校県予選で2連勝＝写真＝し、全国大会では予選で15分56秒00の日本高校新をマーク（昭和25年）



〔大学野球〕第1回全国新制大学大会で松山商大が優勝（昭和24年）



〔高校野球〕第32回全国選手権大会で松山東（松山商統合時）が初優勝。戦後初めて四国路に大優勝旗を持ち帰った（昭和25年）



坊っちゃん祭実用自転車競争＝松山市役所前（昭和25年）



〔軟式野球〕第5回愛知国体の一般軟式で伊予鉄道が初優勝（昭和25年）

# 1953

昭和  
28年

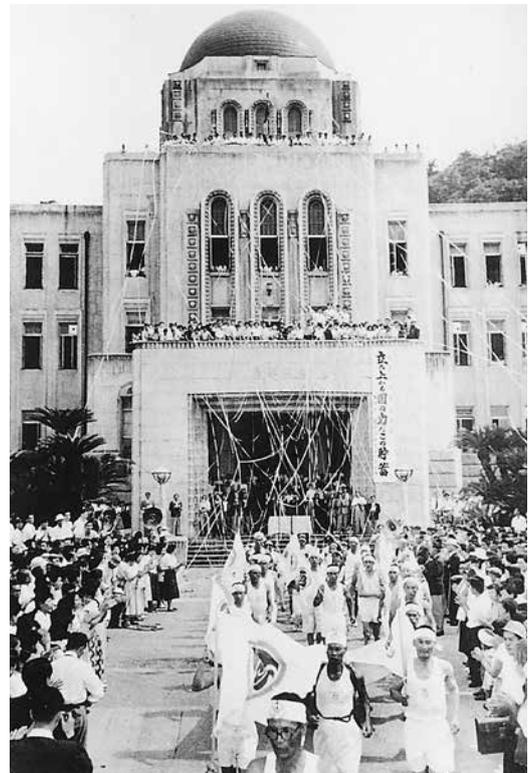
## 第8回四国国体

昭和28(1953)年10月22日から5日間、四国4県の18市町村64会場を舞台に、第8回国民体育大会秋季大会が開かれた。参加人数は過去最多の1万8千人。開会式は松山市堀之内で行われ、昭和天皇、皇后両陛下もご臨席された。式では本県スポーツ界の元老・相原正一郎氏(愛媛大学教授)が炬火を灯し、久松定武知事が高らかに開会を宣言。柔道代表の片山源吾選手(愛媛県警)が堂々の選手宣誓を行った。全28競技のうち、愛媛では松山や今治など6市22会場で18の競技が行われ、120万県民はスポーツの感動に酔いしれた。結果は天皇杯が9位、皇后杯が8位で初めての入賞。特に重量挙げが総合優勝の好成績を取めた。

第35回全国高校野球選手権では松山商高が全国制覇を達成した。



炬火を掲げて場内を一周する相原正一郎翁



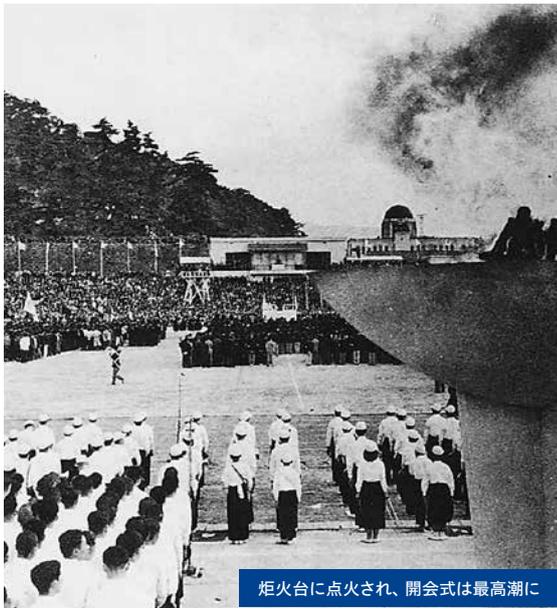
県庁を出発する国体旗リレー



松山市堀之内スポーツセンターでの開会式



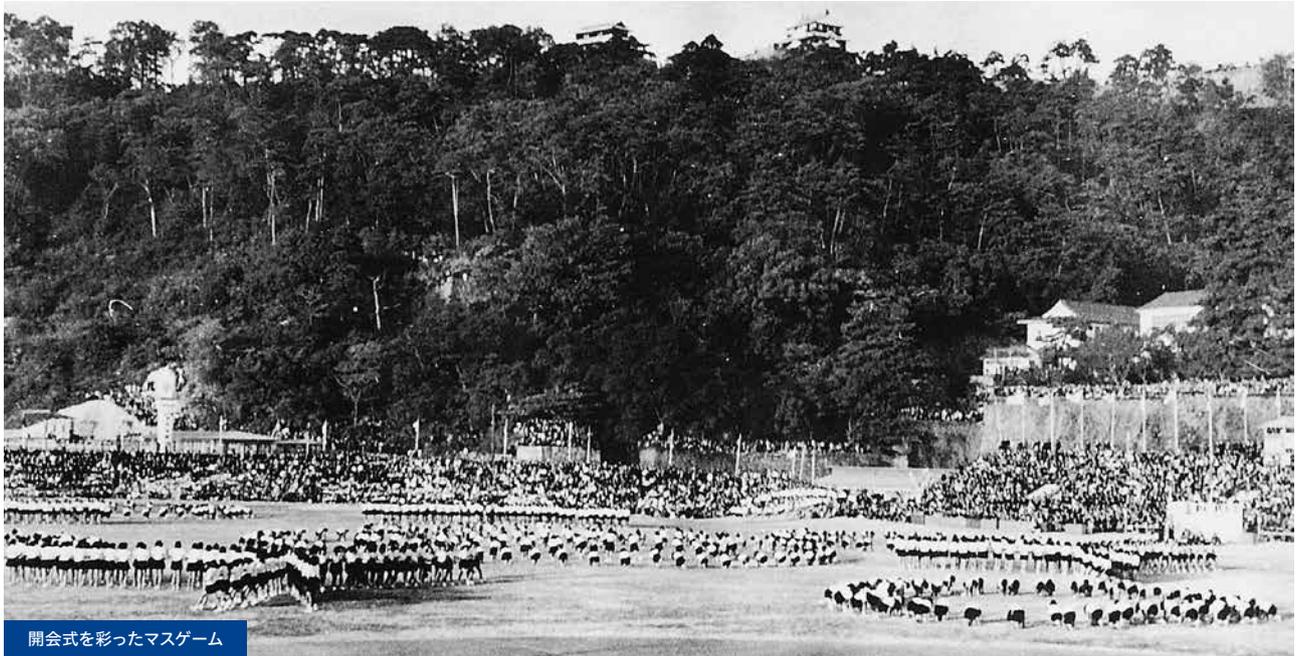
愛媛県選手団の入場行進



炬火台に点火され、開会式は最高潮に



ご臨席の昭和天皇・皇后両陛下



開会式を彩ったマスゲーム



〔馬術〕一般貸与馬中障害飛越で一色都義(松山=写真左)・白石英男(今治)が優勝



[ホッケー] 一般女子・松山南高が初参加し準優勝



[陸上] 学生OB 対抗 (堀之内) 5000m で力走する井上治 (中大)



[体操] 高校女子団体徒手で6位入賞の松山東高



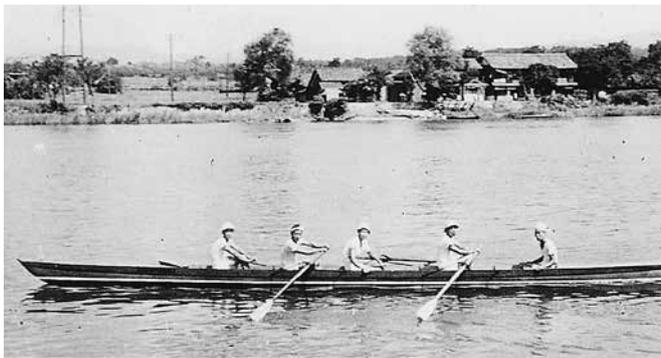
[ソフトボール] 松山東高での一般女子・東レ愛媛戦



第1回全日本社会人選手権大会  
ナックルフォアで来島会が初優勝  
(瀬田川コース)



琵琶湖全国高校大会フィックスで  
宇和島東高が優勝(大会最後)  
(瀬田川コース)



昭和28年  
第3回全日本社会人選手権大会ナックルフォアで来  
島会が2年ぶり2度目の優勝(瀬田川コース)



昭和28年  
同大会フィックスで宇和島  
明倫クが初優勝



【高校野球】第35回全国選手権  
大会で優勝の松山高高ナイン

### 主な大会優勝

- ・国体馬術 一般貸与馬中障害飛越 一色都義(松山)、白石英男(今治)
- ・ボート日本社会人選手権 来島会、宇和島漕艇クラブ
- ・全国高校選手権ボート女子 今治西高
- ・国際学生スポーツ大会(ドルトムント) 陸上男子 5000 m 井上治(中央大)

# 1954

昭和  
29年

松山市堀之内に県営弓道場が完成。漕艇(ボート)愛媛の名が全国に轟き始めた時期であり、第2回全国高校選手権女子ナックルフォアで今治西高が2年連続優勝。第4回全日本社会人選手権で来島会が2年連続3度目の優勝。同大会フィックスで宇和島漕艇クラブが2年連続優勝を果たすなど、圧倒的な強さを見せた。

また一般の人の中でも、体を動かす機運が高まり始め、松山市銀天街で行われたラジオ体操祭には約2000人が参加した。



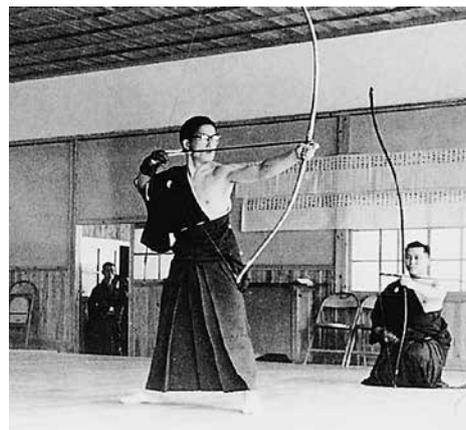
松山市銀天街で開かれたラジオ体操祭に約2,000人が参加



〔陸上〕全日本実業団大会、男子円盤投で奥本克己(住友化学)優勝



〔陸上〕アジア大会女子走高跳で2位入賞の高橋美代子(三島高)



昭和29年、松山市堀之内に県営弓道場が完成



第9回国体(北海道)参加では、まる2日がかりの旅のため、ホームで体をほくしたバスケット女子選手



〔漕艇〕第2回全国高校選手権大会(瀬田川)女子ナックルフォアで今治西高が2年連続優勝



〔漕艇〕第4回全日本社会人選手権大会ナックルフォアで来島会が2年連続3度目の優勝

## 主な大会優勝

- ・アジア大会最終選考会女子走り高跳び  
全国高校選手権走高跳  
日本選手権大会走高跳 高橋美代子(三島高)
- ・全日本実業団大会男子円盤投 奥本克己(住友化学)
- ・全日本社会人選手権(ボート) 来島会、宇和島漕艇クラブ
- ・全日本選手権(ボクシング)ウエルター級 松岡金一(新田高)
- ・全日本選手権(重量挙げ)ミドル級 黒川晋(山尾石炭)、フライ級 桧垣大(新居浜海運)
- ・全国高校選手権(重量挙げ)バンタム級 明星啓二(新居浜西高)
- ・国体ソフトボール一般女子 東レ愛媛
- ・国体自転車郵便局実用車1000m速度競争 田中文男(松山郵便局)

# 1955

昭和  
30年



【重量挙げ】第15回全日本選手権大会、ミドル級で黒川晋（山尾石炭）2年連続優勝



【相撲】第33回全国高校選手権大会（大阪）個人戦で谷本英喜（宇和島東高）が優勝。第10回国体（川崎）高校個人戦で準優勝

終戦から10年が経ち、ヨットの第1回瀬戸内海横断レースが開催されるなど、スポーツの世界でも着実に復興が進み始める。ラグビーでは、全国大学地区対抗大会で松山商大が準優勝の活躍。国体でもバスケットボール一般女子で愛媛県庁チームが3位に入賞するなど、これまでとは違った新たな競技でも愛媛県勢が力を付け始めた。



【ラグビー】第5回全国大学地区対抗大会で松山商大が準優勝



【自転車】中四国大会で愛媛県チームが総合優勝



【バスケットボール】第10回国体（藤沢）一般女子で愛媛県庁チームが3位



【ボクシング】第9回全日本高校選手権大会、ナット級で藤田俊行（松山工高）が優勝

## 主な大会優勝

- ・水泳日大記録会 220yd 平泳 吉村昌弘（日本大-宇和島東高出）世界新をマーク
- ・水泳日大記録会 100m 背泳 浜崎健（日本大-宇和島南高出）日本新をマーク
- ・全日本高校選手権ボクシングナット級 藤田俊行（松山工高）
- ・全日本選手権大会重量挙げ 桧垣大（新居浜海運）2年連続優勝
- ・全国高校選手権大会相撲個人 谷本英喜（宇和島東高）
- ・国体ソフトボール一般女子 東レ愛媛 2年連続優勝

# 1956

昭和  
31年

この年に行われたメルボルンオリンピックには、水泳の吉村昌弘（早稲田大―宇和島東高出）、和田映子（天理高―御荘中出）、体操の河野昭（日体大教―宇和島中出）の3人が出場した。200 m平泳の吉村は自己最高記録で2位。体操の河野は団体2位の原動力となり、本県出身選手として初めて、2つの銀メダルを獲得した。

またGHQによって1952年まで禁止されていた武道も次第に再開されはじめ、愛媛県護国神社では銃剣道の第1回県下大会が開催された。



[水泳] 吉村昌弘 (宇和島東高―早大) 200m平泳2位



[水泳] 和田映子 (御荘中―天理高)



[体操] 河野昭 (宇和島中学―日体大教) 団体総合2位、個人総合16位。写真は帰郷報告会でのつり輪演技



[卓球] 世界選手権大会に山泉和子 (津島高一樟蔭女大) 初出場、敗者戦で優勝



[漕艇] 第4回全国高校選手権大会 (琵琶湖) 男子ナックルフォアで愛大附属農高が初優勝 (上)。女子ナックルフォアで松山東高が創部3年目で初優勝 (下)



第11回兵庫国体 (秋季10.28～兵庫県) 久松定武団長・野沢浩総監督ら395人参加。天皇杯20位・皇后杯16位



[銃剣道] 第1回県下大会を県護国神社境内で開催

## 主な大会優勝

- ・世界選手権大会卓球敗者戦 山泉和子 (樟蔭女子大―津島高出)
- ・ボート朝日レガッタ、全日本実業団選手権男子ナックルフォア 富士紡壬生川
- ・ボート朝日レガッタ、全日本実業団選手権女子ナックルフォア 東洋紡今治
- ・全国高校選手権大会ボート男子ナックルフォア 愛媛大学附属農高
- ・全国高校選手権大会ボート女子ナックルフォア 松山東高
- ・国体ソフトボール一般女子 東レ愛媛3年連続優勝



昭和31年のクレー射撃大会 (宇和島市坂下津射場)

# 1957

昭和  
32年



第12回国体(秋季10.26~静岡県)愛媛県庁前の結団式



[体操] 女子団体徒手の松山東高、全国高校選手権大会(秋田)で3位、国体(沼津)で4位



[漕艇] 国体(佐鳴湖)高校男子フィックスで今治南高が初優勝し、コックス洗礼を行う(上)。一般女子ナックルフォアで東洋紡今治が初優勝、感激に泣く選手とコーチ(右)



[バスケットボール] 国体(静岡)一般男子で東レ愛媛が2年連続3位



[ホッケー] 松山南高の現役とOGの練習試合



[陸上] 愛媛駅伝競走の新居浜スタート



[陸上] 当時の相原マラソン

## 主な大会優勝

- ・日本選手権大会陸上女子走高跳 近藤由美子(土居高)
- ・全国高校選手権大会体操つり輪 戒田哲生(松山工高)
- ・国体漕艇(ボート)男子・富士紡壬生川 女子・東洋紡今治 高校男子・今治南高
- ・全日本選手権大会重量挙げ Lヘビー級 黒川晋(山尾石炭)
- ・全日本選手権大会卓球女子シングルス 山泉和子(樟蔭女大-津島高出)
- ・日本産業対抗大会(社会人野球) 丸善石油松山

# 1958

昭和  
33年

富山県で行われた、第13回国民体育大会秋季大会に362人が参加。愛媛勢は一般準硬式野球で井関農機が優勝を飾るなど、各種目とも予想以上の成果をあげた。夏季大会の漕艇(ボート)優勝と合わせて、天皇杯は7位、皇后杯は5位と、国体が始まって以来の最高順位という快挙を打ち立てた。この他、陸上競技でも活躍が相次いだ。



第13回国体で本県天皇杯7位、皇后杯5位



[ハンドボール] 国体、一般男子で住友化学が初出場し5位



[軟式野球] 国体準硬式で井関農機が初出場して優勝



[漕艇] 国体(琵琶湖)一般女子ナックルフォアで東洋紡今治が2年連続優勝



[サッカー] 第4回西日本高校大会を松山北高グラウンドで開催



[陸上] 第3回アジア大会(東京)女子走高跳で近藤由美子(土居高一旭化成)が1m54で3位

## 主な大会優勝

- ・アジア大会選考会 陸上男子 5000 m 井上治 (富士鉄)
- ・アジア大会選考会 陸上女子走高跳 近藤由美子 (旭化成 - 土居高出)
- ・アジア大会 陸上男子 5000 m 井上治 (富士鉄)
- ・全日本中学校放送陸上 女子砲丸投 片山美佐子 (久万中)
- ・全国高校選手権大会男子走高跳 井上大作 (新居浜西高定)
- ・日本高校選手権大会男子 200 m平泳 中村昌彦 (宇和島東高)
- ・全日本選手権大会(体操)クライミングロープ 吉田健 (松山商高)
- ・朝日レガッタ男子ナックルフォア 富士紡壬生川 3年連続優勝
- ・朝日レガッタ女子ナックルフォア 東洋紡今治 3年連続優勝

# 1959

昭和  
34年



【漕艇】第7回全国高校選手権大会、男子ナックルフォアで愛大附属農高が3年ぶり2度目の優勝



【相撲】第37回全国高校選手権大会（大阪）団体で宇和島東高が10戦全勝で初優勝。宇和島市中をパレードする選手たち



【バレーボール】第12回全日本実業団女子選手権大会を西条市宮コートで2度目の開催



【高校野球】第41回全国選手権大会で西条高が初優勝



【山岳】第3回全国高校登山大会を石鎚山系（西条）で開催



【社会人野球】第30回都市対抗大会で丸善石油松山が初優勝



【ソフトボール】第11回全日本高校女子選手権大会（西宮）で今治明德高が初優勝

## 主な大会優勝

- ・朝日レガッタ男子ナックルフォア 富士紡壬生川 4年連続優勝
- ・朝日レガッタ女子ナックルフォア 東洋紡今治 4年連続優勝
- ・全日本中学校放送陸上女子砲丸投 片山美佐子（久万中）
- ・全国高校選手権大会走幅跳、三段跳 2冠 井上大作（新居浜西高定）
- ・日本高校選手権大会男子平泳 200m 重松盛人（今治北高）
- ・全国高校選手権大会（体操）クライミンググローブ 都築輝幸（大洲農高）
- ・国体弓道高校男子遠的 大洲高
- ・全日本学生選手権大会（馬術） 矢野隆男（明治大－松山商高出）



【陸上】男子走高跳の井上大作（新居浜西高定）は四国高校選手権大会（屋島）で1m95の日本高校新をマーク。全国高校選手権大会（東京）では走幅跳7m04の大会新、三段跳14m91で2種目優勝、走高跳1m96の日本高校新で2位。井上の活躍で新居浜西定はフィールド優勝、総合2位

# 1960

昭和  
35年

愛媛県体育協会が県教育委員会のバックアップのもと、民間団体として再発足。競技では、ローマオリンピック、水泳女子自由形に和田映子(天理大-御荘中出)が出場。ソフトボール第12回高校女子選手権大会で今治明徳が2連覇。漕艇では第13回朝日レガッタで東洋紡今治が女子ナックルフォアで5年連続優勝。さらに第15回国民体育大会では高校女子ナックルフォアで松山東高が初優勝を飾るなど、女子選手が目ざましい活躍を見せた年となった。



第15回国体(秋季10.23~熊本県)井部栄治団長・松澤隆総監督ら454人参加。天皇杯27位、皇后杯18位



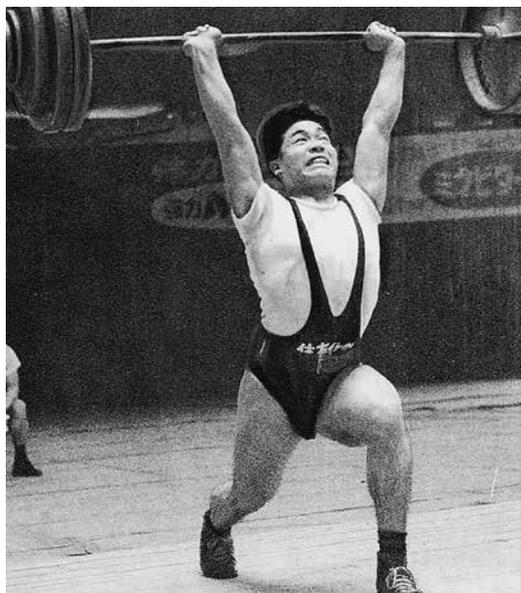
[卓球]山泉和子(津島高出身)は34年(東レ入社)の第25回世界選手権大会(ドルトムント)では女子団体戦2連勝に貢献、ダブルスで優勝。35年には全日本選手権大会でシングルス・ダブルス・混合の3種目を制覇。第5回アジア選手権大会(ボンベイ)でシングルス・ダブルスに優勝。名実ともに日本卓球界の女王に。平成6年現在で全日本選手権37度出場、シングル通算97勝を記録



[ボクシング]第14回全日本高校選手権大会を愛媛県民館で初ナイターで開催。フライ級・中村吉久(新田高)優勝、フリー級・宮内忠司(同)、ウェルター級・浜田吉治郎(同)ともに2位



[漕艇]国体(荒瀬ダム)高校女子ナックルフォアで松山東高が初優勝



[重量挙げ]ミドル級の加藤忠吉(住友化学)第15回愛媛スポーツ祭でジャーク152.5kgの日本新、トータル367.5kgの日本タイ。第20回日本選手権大会で3位。国体(宇土市)352.5kgで2年ぶり2度目の優勝



[バレーボール]国体(熊本)教員男子で松山市教員クが準優勝



[漕艇]国体(熊本県荒瀬ダム)高校男子フィックスで宇和島東高が初優勝。第8回全国高校選手権大会(錦江湾)で2位

## 主な大会優勝

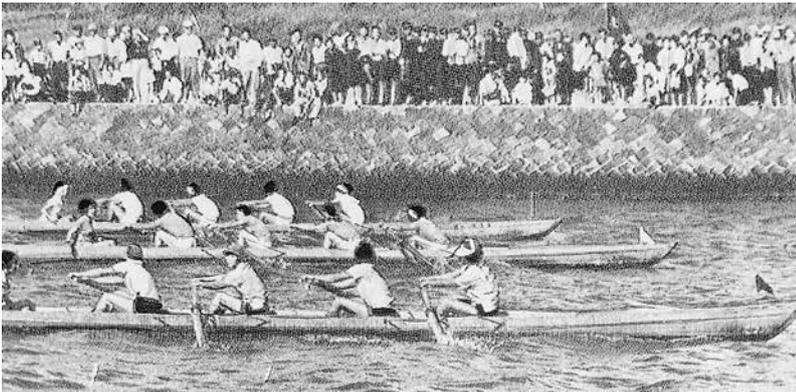
- ・全国中学校通信大会 200mバタフライ 吉川寿夫(美須賀中)
- ・全日本高校選手権大会ボクシングフライ級 中村吉久(新田高)
- ・国体重量挙げミドル級 加藤忠吉(住友化学)
- ・全国高校東西対抗大会(相撲)個人戦 菅原保光(宇和島東高)
- ・全日本選手権(卓球)3種目 山泉和子(東レ-津島高出)

# 1961

昭和  
36年



[陸上] 昭和37年まで行われていた成人の日(1月15日)恒例の県庁前-高浜間往復の10マイルロードレース



[漕艇] 国体(秋田運河)一般女子ナックルフォアで東洋紡今治が3年ぶり3度目の優勝。実業団の富士紡壬生川、東洋紡今治クルーはこの年で解散



[ラグビー] 第40回全国高校大会(西宮)で初の準決勝進出を果たした新田高チーム



[ソフトボール] 国体(本庄)高校女子で今治明德高が初優勝



[相撲] 秋田国体、青年個人戦で岡本忠(自衛隊小野)優勝



[ソフトテニス] 全国都市対抗大会で松山市チームが準優勝

## 主な大会優勝

- ・全国高校選手権(ボート)男子ナックルフォア 今治北高
- ・日本選手権大会重量挙げミドル級 加藤忠吉(住友化学)

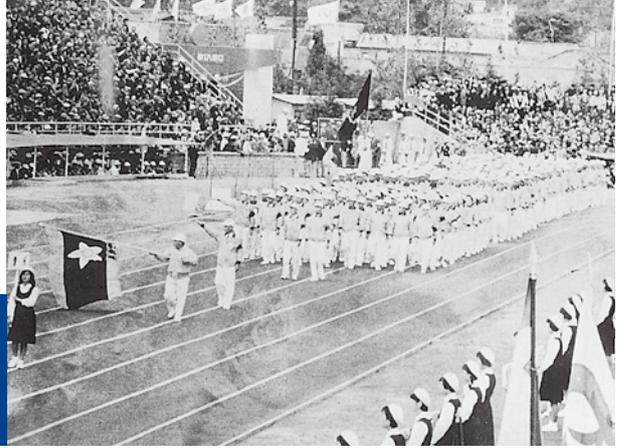
# 1962

昭和  
37年

東京オリンピックに向けて、オリンピック愛媛県スポーツ振興会が発足。

上浮穴高の片山美佐子が、第15回高校選手権と第17回岡山国民体育大会高校女子やり投で優勝。第46回全日本選手権でも準優勝の快挙。体操の第15回世界選手権(プラハ)で、山下治広(日体大-宇和島東高出)が跳馬で「山下とび」を披露。団体総合での日本初優勝に貢献する。高校野球では西条高が国体で初優勝を飾る。

第17回国体(秋季 10.21~岡山県)久松定武団長・堀口卯太郎総監督ら408人参加。天皇杯19位、皇后杯14位



[高校野球] 岡山国体で西条高が初優勝



愛媛県スポーツ振興会の発足を伝える愛媛新聞(1962年2月27日付)



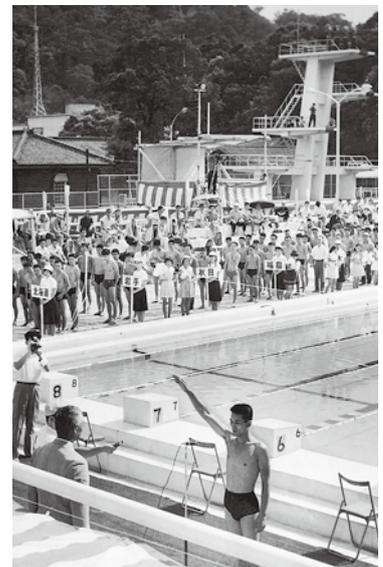
[ハンドボール] 第3回全日本実業団選手権大会で住友化学が準優勝



[なぎなた] 琴平大会に初参加した愛媛県チーム



[陸上] 岡山国体、女子やり投で片山美佐子(上浮穴高)が45m05の好記録をマークして優勝



[水泳] 第13回全国勤労者大会を松山市営プールで開催

## 主な大会優勝

- ・日本選手権大会(陸上) 男子ジュニア 3000 m 木山隼美(松山工高)
- ・全日本選手権大会(ボクシング) ウェルター級 浜田吉治郎(近畿大-新田高出)
- ・全日本選手権大会(ボクシング) ヘビー級 丸山忠行(自衛隊体育学校-御荘中出)
- ・全日本学生選手権大会(弓道) 豊島喜美代(愛媛大)
- ・全日本選手権大会(銃剣道) 一般の部 和泉嘉明(松山)



【柔道】第12回全日本高校選手権大会を愛媛県民館で開催。団体で今治南高がベスト8、個人戦軽量級で河野義光（今治南高）優勝



# 1963

昭和  
38年

現在は大イベントとなった愛媛マラソンの第1回大会が行われる。第12回全日本高校柔道選手権が堀之内の愛媛県民館で開催され、今治南高がベスト8に進出。個人戦では軽量級で河野義光（今治南高）が優勝。ソフトボール第15回全日本一般女子選手権大会で、広洋タオルが初出場優勝。バレーボールの全日本9人制総合男子選手権大会で東レ愛媛が準優勝。初の冬の国体予選会が美川スキー場で開催される。



【陸上】愛媛マラソン始まる



【スキー】初の国体県予選会を美川スキー場で行い、国体（鳴子）に愛媛県代表17人が初参加



【陸上】山口国体、一般女子走幅跳で秋月紀代美（新居浜東高一日体大）5m93で2位



【ヨット】第7回瀬戸内海横断レース、松山市梅津寺沖をスタート



【クレー射撃】西日本選手権大会で清水和（宇和島）が優勝。東京五輪候補選手に推される

## 主な大会優勝

- ・アジア選手権大会（バンコク）ボクシングウェルター級 浜田吉治郎（近畿大-新田高出）

# 1964

昭和  
39年

## 東京オリンピック

戦後日本の復興の象徴とも言える第18回オリンピック東京大会が開催された。愛媛でも聖火リレーが行われた。9月12日に高浜港に到着した聖火は、熱狂的な歓迎のもと松山市内を一巡した後、大観衆で埋まった堀之内の陸上競技場に到着。久松知事によって聖火台に点火され、松山市主催による聖火歓迎松山大会が開催された。聖火は14日早朝に県庁を出発して再び国道33号をリレー。上浮穴郡柳谷村(当時)の県境で、高知県側に引き渡された。

日本中が熱狂した東京オリンピックには、愛媛県人も陸上の片山美佐子(帝人松山-上浮穴高出)、山田宏臣(東急-御幸中出)、体操の山下治広(日体大教員-宇和島東高出)、ボクシングの浜田吉治郎(近畿大-新田高出)、丸山忠行(自衛隊体育学校-御幸中出)、漕艇の山内正勝(立教大-松山北高出)、カヌーの岡本敬子(大阪東第二高-川内中出)の7人が出場した。体操の山下は、得意の跳馬でウルトラCの「新山下跳び」を決め、団体総合2連覇に大きく貢献した。さらに個人総合では6位、跳馬では優勝を果たしている。ボクシングウェルター級の浜田は、準々決勝にまで進出。陸上やり投げの片山は決勝に進出し、11位で大会を終えた。

愛媛県スポーツ少年団が発足。県内第1号は松山市素鷲スポーツ少年団。年末までに21団が発足し約500人が参加。



【バレーボール】新潟国体、全国高校女子で今治明德高が両大会初優勝



【漕艇】新潟国体(加茂湖)高校男子フィックスで宇和島東高が4年ぶり2度目の優勝



【ソフトボール】国体(高田)一般女子で広洋タオルが初優勝。全日本実業団女子大会で準優勝



【サッカー】国体、一般で帝人松山が準優勝(左)、愛媛教員クラブが5位(右)



愛媛県スポーツ少年団が発足。第1号は松山市素鷲スポーツ少年団

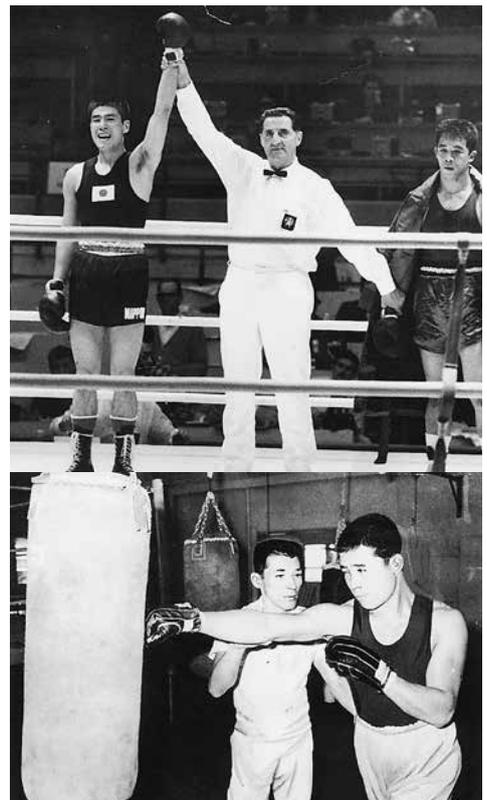




聖火は各所で熱狂的な歓迎を受け松山市内を一巡、大観衆で埋まる堀之内陸上競技場の聖火歓迎松山大会(中央)へ。久松知事によって聖火台に点火(右)



久松知事から高知県・溝淵知事に手渡す(上浮穴郡柳谷村の県境)



[ボクシング] ウェルター級の浜田吉治郎(近大)は、ロウドサリ(イラン)、アリバラ(フィリピン)を判定で下したが、準々決勝で優勝者のカスプシク(ポーランド)に判定で敗れ惜しくもメダルを逸したが、5位に入賞した(上)。ヘビー級の丸山忠行(自衛隊体育学校)は1回戦でオーストラリア選手と戦い、善戦健闘したが今一步のところで惜敗した(下)



[体操] 山下治広(日体大教)は、世界の山下跳びを駆使して団体2連勝に貢献し、また個人総合でもすべての種目に平均した力をみせ、初出場ながら6位に入賞した。種目別決勝跳馬では、ウルトラCの“新山下跳び”の妙技をみせて金メダルを獲得、あん馬でも4位を占めた



[陸上] やり投の片山美佐子(帝人松山)は、予選3投目49m23の自己最高につぐ2番目の記録で通過した。決勝では49m16、46m87、42m37で予選ベストを伸ばすことができず、結局11位に終わった。だが世界の強豪に交じって決勝に進出する快挙



[陸上] 走幅跳の山田宏臣(東急)は、どしゃ降りの雨の中で競技を行い、7m12で9位

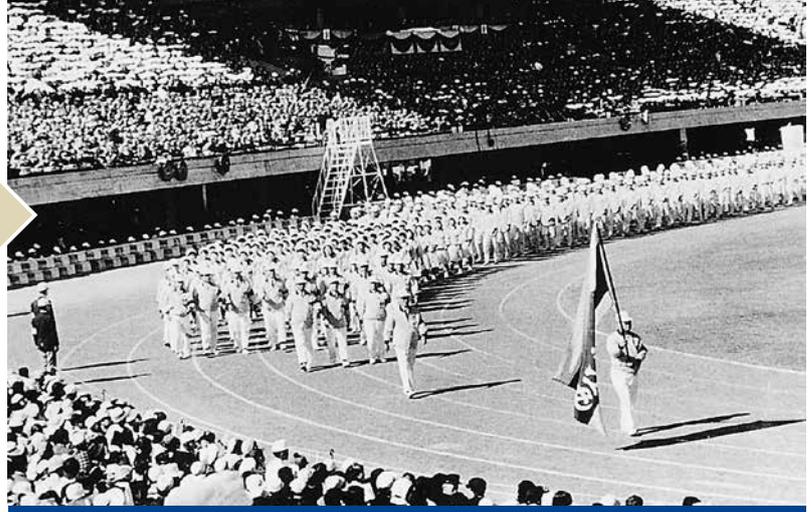
### 主な大会優勝

- ・朝日レガッタ(ボート) 一般男子ナックルフォア 愛媛大
- ・国体(ボート) 高校男子ナックルフォア 宇和島東高
- ・全国勤労者大会(陸上) 女子やり投 片山美佐子(帝人松山)
- ・全日本高校選手権大会(柔道) 中量級 河野義光(今治南高)
- ・全日本選手権大会(ボクシング) ウェルター級 浜田吉治郎(近畿大-新田高出)
- ・全日本選手権大会(ボクシング) ヘビー級 丸山忠行(自衛隊体育学校-御荘中出)
- ・全日本高校選手権大会(ボクシング) シニアウェルター級 高須賀孝彦(松山工高)

# 1965

昭和  
40年

新たに愛媛県スポーツ振興会が発足し、県内のスポーツ振興を継続。漕艇(ボート)で宇和島東高が全国高校総体と第20回国民体育大会高校男子の2冠。バドミントンの第14回全日本実業団選手権が松山市で開催される。



第20回国体(秋季10.24～岐阜県)久松定武団長・長野正則総監督ら411人参加。天皇杯27位、皇后杯25位



[ソフトテニス] 国体(大垣)で一般男子が3位



[漕艇] 宇和島東高、全国高校総体(夜明ダム)でフィックスが初優勝(琵琶湖全国大会以来13年ぶり2度目)。国体(恵那峡)でフィックスが2年連続3度目の優勝、女子ナクルフォアが2位、男子ナクルフォアが7位



[水泳] 国体(岐阜)教員100m自由形で池田芳玄(松山盲学校)(右)59秒3の大会新で優勝、田中真(北条高教)6位



昭和40年の車いすバスケットボール大会



[バドミントン] 第14回全日本実業団選手権大会を松山市で開催

## 主な大会優勝

- ・国体水泳教員100m自由形 池田芳玄(松山盲学校)
- ・全日本学生選手権大会(体操) 個人総合、つり輪、平行棒、鉄棒 小西義明(日体大-新田高出)
- ・全日本選手権大会(ボクシング) ウェルター級 浜田吉治郎(近畿大-新田高出)



【ボクシング】全国高校総体（青森）団体戦で新田高が創部以来16年目で初優勝



# 1966

昭和  
41年

新田高ボクシング部が創部16年目にして全国高校総体団体戦で初優勝。モスキート級でも富久光輝が優勝を飾る。松山商野球部が第48回全国選手権で準優勝、続く第21回大分国民体育大会では初優勝を果たす。剣道の第1回全国少年錬成大会で久枝スポーツ少年団が優勝。この年から愛媛県高校総体の開会式が、堀之内の陸上競技場から松山市営球場に変更となった。



【剣道】第1回全国少年錬成大会で優勝した久枝スポーツ少年団



【クレー射撃】第21回国体（別府）、トラップで団体4位



【漕艇】全国高校総体（大湊）女子ナックルフォアで宇和島東高が初優勝

【バスケットボール】全国高校総体（秋田）に新居浜商高が初出場しベスト8。国体（中津）で3位



【高校野球】国体（佐伯球場）で松山商高が初優勝



【体操】全国高校総体（盛岡）男子で河野泰治（新田高）が個人総合3位・つり輪・平行棒の2種目優勝・跳馬2位。国体（大分）では個人総合1位

## 主な大会優勝

- ・全日本選手権大会（ボクシング）ウエルター級 浜田吉治郎（近畿大職－新田高出）
- ・全国高校総体ボート女子ナックルフォア 宇和島東高
- ・全日本選抜大会（陸上）女子やり投げ  
全日本実業団大会（陸上）女子やり投げ  
実業団対学生大会（陸上）女子やり投げ 片山美佐子（帝人松山）
- ・アジア大会水球代表 藤本忠司（日本大－大洲高出）、中野皓司（日本大－大洲高出）
- ・全日本中学放送陸上女子100m 増田たま（宇和中）
- ・世界選手権大会（体操）団体総合、跳馬 山下治広（日体大教－宇和島東高出）
- ・全国高校総体（体操）つり輪、平行棒
- ・国体体操個人総合 河野泰治（新田高）

# 1967

昭和  
42年

ボクシングの全日本社会人選手権ライトミドル級で浜田吉治郎（近大職員－新田高出）、ウエルター級で高須賀孝彦（愛伸ジム）、フライ級で今井賢二（愛伸ジム）が揃って優勝。全国高校総体ヘビー級でも矢野彰則（新田高）が優勝を果たした。

剣道の全国警察大会一部で愛媛県警が初優勝。柔道でも全国警察大会二部で初優勝し、個人重量級で岡田博が準優勝を果たした。



〔漕艇〕全国高校総体（久々湖）男子フィックスで宇和島東高が2年ぶり2度目の優勝。国体（戸田）でも2年ぶり4度目の優勝



第22回国体（秋季10.22～埼玉県）久松定武団長・門屋賢一総監督ら422人参加。天皇杯24位、皇后杯33位



〔陸上〕ユニバーシアード東京大会で男子走高跳・木下博正（新田高一日大OB）2m05で3位



〔ボクシング〕全日本社会人選手権大会ライトミドル級・浜田吉治郎（近大職）、ウエルター級・高須賀孝彦（愛伸ジム）、フライ級・今井賢二（同）そろって優勝



〔ボクシング〕全国高校総体ヘビー級で矢野彰則（新田高）優勝



〔剣道〕全国警察大会1部で愛媛県警が初優勝



〔柔道〕全国警察大会2部で愛媛県警が初優勝、個人戦重量級・岡田博が準優勝

## 主な大会優勝

- ・実業団学生大会（陸上）  
全日本実業団大会（陸上）  
日本選手権大会（陸上）やり投げ 片山美佐子（帝人松山）
- ・中日マラソン 谷村隼美（クラレ西条）
- ・メキシコ国際スポーツ大会（体操）跳馬 松田（旧姓：山下）治広（日体大教－宇和島東高出）
- ・メキシコ国際スポーツ大会（体操）つり輪、平行棒 小西義明（日体大－新田高出）
- ・全国高校総体体操クライミングロープ 法輪敬道（宇和島東高）
- ・全国高校総体ボート男子ナックルフォア 宇和島東高
- ・ユニバーシアード東京大会柔道団体、個人戦軽中量級 河野義光（日本大－今治南高出）

# 1968

昭和  
43年



第1回愛媛県民体育祭を開催

## 第1回愛媛県民体育祭

第1回愛媛県民体育祭を開催。メキシコオリンピックの水泳に田口信教(尾道高一壬生川西中出)、中野皓司(日本大-大洲高出)、ライフル射撃に楠成人(自衛隊体育学校-松山工高出)、陸上に山田宏臣(東急-御幸中出)が出演。全国高校総体では弓道で大島高が初優勝し開校20周年を飾る。今治西高も漕艇(ボート)男子ナックルフォアで初優勝。第47回全国高校ラグビー大会で新田高が3位。第7回全日本女子剣道選手権で中矢美保(伊予銀行-松山商高出)が準優勝。



[陸上] 福井国体教員男子走高跳で河野勝昭(拓南中教) 1m85で優勝



[弓道] 全国高校総体、男子団体で大島高が初優勝、開校20周年を飾る。個人戦で藤田泰夫が1位



[卓球] 全国高校総体(呉) 女子団体で済美高が3位、ダブルスで岡村やす子・山口幸子組が準優勝



[ラグビー] 第47回全国高校大会で新田高が3位



昭和43年のスキー愛媛県選手権



[ライフル射撃] 第19回メキシコオリンピックに出場の楠成人(松山工高一自衛隊体育学校)



[漕艇] 全国高校総体(広島宮島口) 男子ナックルフォアで今治西高が優勝



[剣道] 第7回全日本女子選手権大会で中矢美保(松山商高一伊予銀行) 準優勝

### 主な大会優勝

- ・国体教員男子走高跳 河野勝昭(拓南中教)
- ・国体青年5000m 谷村隼美(クラレ西条)
- ・全日本中学校放送陸上男子走高跳 三谷博(伊予三島東中)
- ・全日本大学選手権大会(なぎなた) 聖カタリナ短大

# 1969

昭和  
44年

第51回全国高校野球選手権大会決勝で、松山商と三沢が延長18回の激闘。再試合の末、松山商が16年ぶり4回目の栄冠を勝ち取る。第24回長崎国民体育大会、剣道で新田高が初優勝。ハンドボール女子で新居浜商高が全国高校総体と国民体育大会の2冠達成。なぎなたの第8回全国高校選手権大会で聖カタリナ高が初優勝。国民体育大会男子ハンマー投げで渡辺和己（今治工高）が大会新記録で優勝。女子ソフトボールでは今治明德高が全国高校総体で3位、国民体育大会では準優勝。後にプロゴルファーとして活躍する岡本綾子がエースとして力投を見せた。1月には愛媛県武道館が松山市道後姫塚に完成した。



【高校野球】第51回全国選手権大会で松山商高が16年ぶり4度目の優勝。決勝で三沢と延長18回無得点。4時間16分の攻防のすえ大会史上初の引き分け、翌日再試合で三沢を4-2でくだす。松山市内をパレード(右)



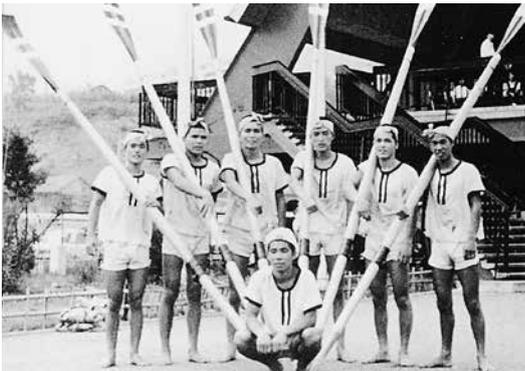
【剣道】第24回国体(長崎)で新田高が初優勝



【陸上】国体(諫早)男子ハンマー投で渡辺和己(今治工高)63m94の大会新で優勝



【なぎなた】第8回全国高校選手権大会で聖カタリナ高が初優勝



【漕艇】全国高校総体(相模湖)男子フィックスで今治南高が初優勝



【ハンドボール】全国高校総体(富山)で新居浜商高が創部5年目で初優勝。国体(長崎)でも初優勝

## 主な大会優勝

- ・全国教職員大会(剣道) 作道泰二(松山南高砦部教)
- ・全国高校総体ボート男子ナックルフォア 今治南高
- ・全日本中学校放送陸上女子100m 本田弘子(愛大附属中)
- ・全日本中学校放送陸上男子走高跳 中村洋二(立花中)
- ・国体水泳青年200m平泳 有元幸吉(宇和島)
- ・全国中学生選抜大会水泳男子200m背泳 桧垣隆一郎(美須賀中)
- ・全国高校総体体操つり輪 西谷力(新田高)
- ・全国高校総体体操平行棒 白石伸三(新田高)
- ・全日本選手権大会(体操)つり輪 小西義明(日体大OB-新田高出)
- ・全日本選手権(ボクシング)フライ級 伊賀上正敏(近畿大-新田高出)
- ・全日本選手権(ボクシング)フェザー級 中居明志(拓殖大-新田高出)
- ・全日本選手権(ボクシング)ウェルター級 前川義英(拓殖大-新居浜南高出)
- ・全日本社会人選手権(重量挙げ)ヘビー級 森金男(住友化学)



【ソフトボール】全国高校総体(宇都宮)で今治明德高が3位。国体(大村)で準優勝。投手は卒業後ゴルフでプロ入りした岡本綾子選手(先頭)

# 1970

昭和  
45年



【ハンドボール】全国高校総体（彦根）男子・新居浜工高が25年の初出場以来21年目で宿願の初優勝

## 財団法人化

愛媛県体育協会が任意団体から財団法人へ移行。松山サッカークラブ（後の愛媛FC）が発足。バレーボール全国中学生男女優勝大会9人制で、松山市立雄新中女子が初優勝。全国高校総体ハンドボール高校男子で新居浜工高が初優勝。なぎなた第11回全国都道府県対抗大会で愛媛県チームが初優勝。冬季国民体育大会アイスホッケーで全愛媛が初勝利を挙げた。



【バレーボール】全日本中学生大会9人制女子で雄新中が初優勝



【アイスホッケー】一般で全愛媛が初勝利を挙げる



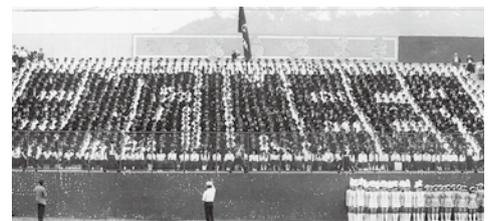
【なぎなた】第11回全国都道府県対抗大会で愛媛県チームが初優勝



【ボクシング】アジア選手権大会で伊賀上正敏（近大）優勝



【体操】全国高校総体で白石伸三（新田高）が個人総合3位・並行棒で2年連続優勝・鉄棒3位・床5位



第24回県高校総体開会式での人文字

### 主な大会優勝

- ・日本産業対抗大会（社会人野球）丸善石油松山
- ・全国高校総体ハンマー投  
国体ハンマー投 渡辺和己（今治工高）
- ・国体教員女子砲丸投 今村絹代（済美高教）
- ・全日本中学校放送陸上女子 100 m 本田弘子（愛大附属中）
- ・アジア大会男子平泳 100 m、200 m 田口信教（広島商大－壬生川西中出）
- ・全国高校総体（体操）平行棒 白石伸三（新田高）
- ・全日本学生選手権大会（体操）つり輪 河野泰治（日体大－新田高出）
- ・全国高校総体（弓道）個人 鏡田裕一（新田高）
- ・全国高校総体（ボクシング）モスキート級 中矢徹（新田高）
- ・アジア選手権大会（ボクシング）フライ級  
全日本選手権大会（ボクシング）バンタム級 伊賀上正敏（近畿大－新田高出）
- ・全日本社会人選手権大会（ボクシング）ライト級 高須賀孝彦（愛伸ジム）
- ・アジア選手権東京大会ライフル射撃 楠成人（自衛隊体育学校－松山工高出）



【陸上】全日本中学校放送女子100mで本田弘子（愛大附属中）2年連続全国1位

# 1971

昭和  
46年

全国高校総合体育大会開会式が、皇太子ご夫妻をお迎えして、鳴門市運動公園陸上競技場（徳島県）で開幕。全国から2万3千人の高校生が四国に集い、熱戦を繰り広げた。愛媛県でも、女子バレーボール、柔道、ボクシング、ハンドボール、テニス、漕艇の6種目が開催された。

競技ではソフトテニス男子団体で今治工高が初優勝。卓球女子団体で済美高が初優勝。ダブルスでも新岡恵子・神野玲子組が準優勝を飾り、学校創立70周年に花を添えた。お家芸の漕艇（ボート）では、今治南高が、フィックスで2年ぶり2度目の優勝。女子ナックルフォアでも初優勝を果たした。ボクシングでもミドル級で尾上長文（新田高）が優勝。

和歌山国民体育大会では、ソフトテニス一般男子が初優勝。教員女子砲丸投げで今村絹代（済美高教）が大会新で2年連続の優勝。弓道一般女子も近的で優勝を果たした。この他、ソフトボール第17回全日本一般男子選手権大会で丸善石油松山が初優勝。第3回京都国際マラソンで谷村隼美（クラレ西条）が大会新で9優勝を果たすなど、愛媛のスポーツが飛躍した1年となった。



当時の愛媛県武道館と県営庭球場（上）。道後公園の歓迎塔（左）



【ソフトテニス】男子団体で今治工高が初優勝（徳島）



鹿野川湖での漕艇競技で今治南高クルーは、フィックスで2年ぶり2度目の優勝、女子ナックルフォアで初優勝



県武道館での柔道競技に出場の今治南高



【卓球】女子団体で済美高が初優勝、創立70周年を飾る。ダブルスで新岡恵子・神野玲子組が準優勝（徳島）



【陸上】男子800mで森岡昭彦（松山高高）風雨下1位と同タイムで2位（徳島）



【ソフトボール】第17回全日本一般男子選手権大会で丸善石油松山が初優勝。翌年の第3回世界選手権大会（マニラ）に出場、5勝4敗で6位



【ソフトテニス】国体（和歌山）で一般男子チームが初優勝



【陸上】和歌山国体教員女子砲丸投で今村絹代（済美高教）14m29の大会新で2年連続優勝



【漕艇】第24回朝日レガッタ（琵琶湖）で一般男子ナックルフォアで愛媛大が7年ぶり2度目の優勝



【山岳】愛媛大山岳会、ニュージーランド・クック峰3763mに登頂



【漕艇】国体（紀ノ川）高校男子ナックルフォアで宇和島東高が初優勝

昭和46年の大洲市肱川の寒中水泳大会



【陸上】第3回京都国際マラソンで谷村隼美（クラレ西条）（左端）が2時間13分45秒2の大会新で優勝

主な大会優勝

- ・朝日レガッタ（ボート）一般男子ナックルフォア 愛媛大学
- ・朝日レガッタ（ボート）高校男子ナックルフォア 今治工高
- ・全国都道府県対抗大会（なぎなた）愛媛県チーム

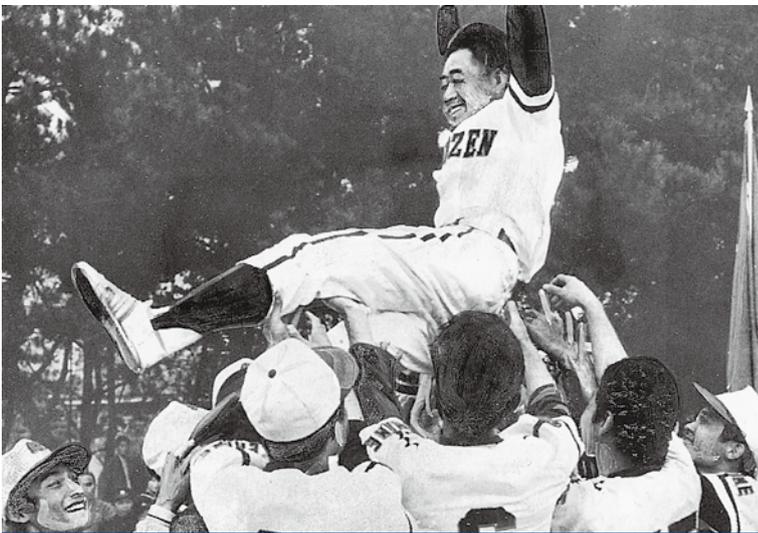
# 1972

昭和  
47年

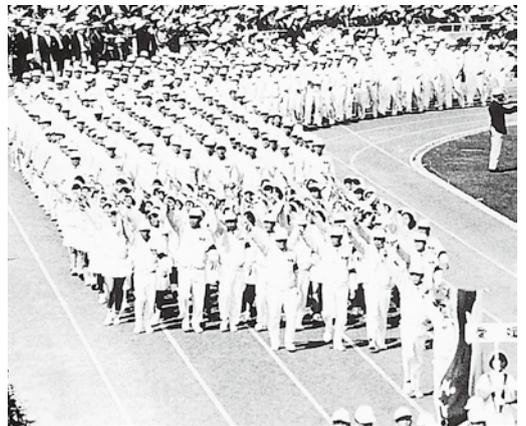
ミュンヘンオリンピック男子平泳で、田口信教（広島商大-壬生川西中出）が100m 1分4秒9の世界新で優勝。200mでも日本新で3位。国民体育大会ソフトボール一般男子で、丸善石油松山が初優勝、世界選手権大会にも出場した。軟式野球全日本大会2部で浮穴体協が優勝。サッカーの第49回全国高校選手権大会で壬生川工高（現・東予高）が準優勝。



〔水泳〕第20回オリンピック（ミュンヘン）男子平泳で田口信教（壬生川西中-広島商大）100m・1分4秒9の世界新で優勝。200m・2分23秒9の日本新で3位。  
（左）田口、（右）高橋士興体協会長



〔ソフトボール〕鹿児島国体一般男子で丸善石油が初優勝



第27回国体（秋季10.22～鹿児島県）高橋士興団長・野本一総監督ら483人参加。天皇杯31位、皇后杯21位

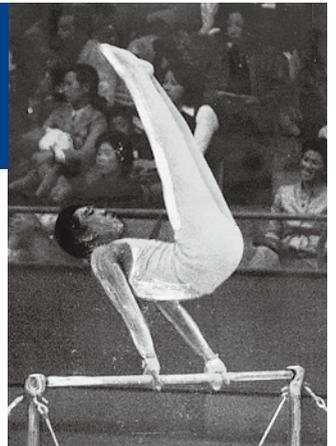


〔サッカー〕第49回全国高校選手権大会で壬生川工高=現東予高=が準優勝



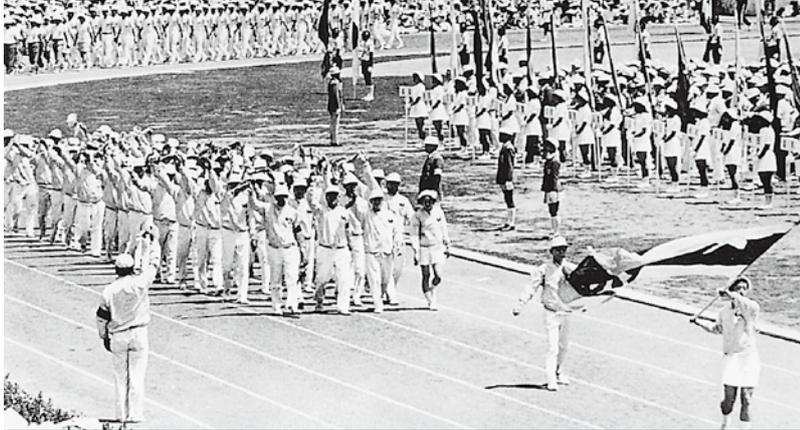
〔軟式野球〕全日本大会2部優勝の浮穴体協

〔体操〕鹿児島国体高校男子規定で9.15点を出した久米猛司（新田高）の鉄棒演技。久米は東海大に進み、49年の第28回全日本選手権大会で優勝



## 主な大会優勝

- ・朝日レガッタ（ボート）高校女子ナックルフォア 今治南高
- ・ジュニア選手権大会（体操）個人総合 石村真智子（日体大-川之江高出）



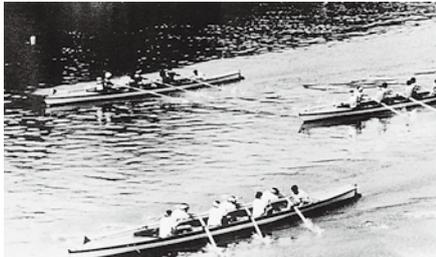
復帰記念沖縄特別国体(5.3～)に高橋士団長・野本一総監督ら64人参加

# 1973

昭和  
48年

## 北条青少年スポーツセンター完成

日本体育協会による全国4番目の複合スポーツ施設「北条青少年スポーツセンター」が完成。常陸宮様ご夫妻に臨席を賜り開所式が行われる。全国高校総体男子やり投げで中谷博(弓削高)が優勝、重量挙げで小野正(新居浜工高)が優勝。ソフトテニス男子団体で新田高が準優勝。バレーボール第3回全日本中学校選手権大会男子で伊予三島東中が初優勝。ボウリングのアジア選手権大会で酒井美代子(伊予三島)が女子総合で優勝。漕艇第26回朝日レガッタ高校男子ナックルフォアで宇和島東高が初優勝、全国高校総体と2冠。



〔漕艇〕第26回朝日レガッタ(琵琶湖)、高校男子ナックルフォアで宇和島東高が初優勝。全国高校総体(三重県大台)でこの年最後のフィックスで宇和島東高が6年ぶり3度目の優勝。フィックスの優勝旗は宇和島東高に飾られている



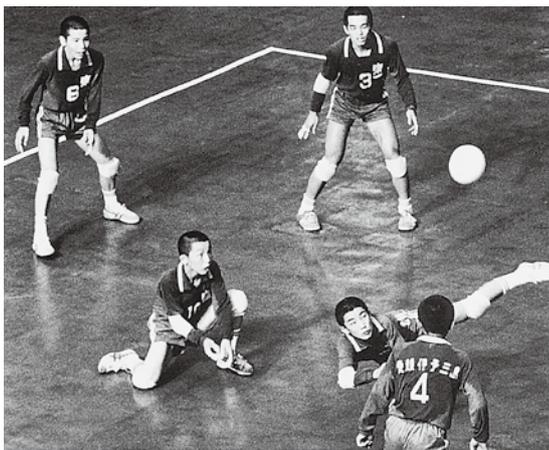
北条青少年スポーツセンターの開所式を伝える愛媛新聞(1973年7月2日付)



〔陸上〕全国高校総体、男子やり投げで中谷博(弓削高)65m94で優勝



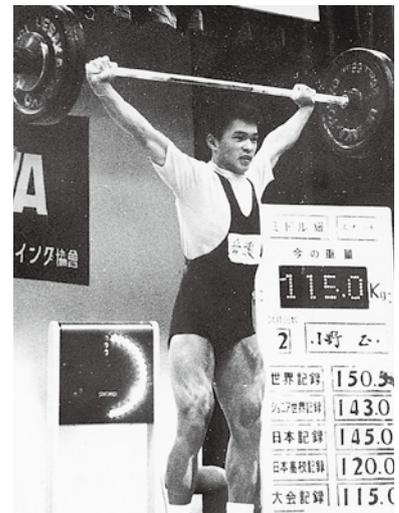
〔ソフトテニス〕全国高校総体、男子団体で新田高が準優勝



〔バレーボール〕第3回全日本中学校選手権大会男子で伊予三島東中が初優勝



〔ボウリング〕アジア選手権大会(シンガポール)に酒井美代子(伊予三島)国内予選を勝ち抜き出場、女子総合で優勝



〔重量挙げ〕全国高校総体(亀山)で小野正(新居浜工高)235kgで優勝

### 主な大会優勝

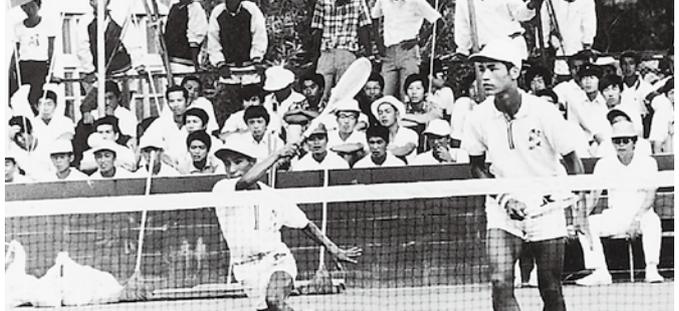
- ・全日本選手権大会(弓道)女子近的 重松俊子(松山)
- ・全日本選手権大会(ボクシング)ライト級 白石美智男(近畿大-新田高出)
- ・全日本学生選手権大会(体操)床 石村真智子(日体大-川之江高出)

# 1974

昭和  
49年

第1回愛媛スポーツ大会（現在の愛媛スポーツ・レクリエーション祭）を開催。

全国高校総体ソフトテニス男子個人戦で、宮野篤夫・高原晴資組（新田高）が優勝。女子団体でも、出場3年目の新居浜商高が初優勝。陸上の女子200mで島田恵美子（済美高）が優勝。弓道でも女子団体で松山南高が初優勝を果たす。卓球の全日本選手権大会女子ジュニアで松田一三（済美高）が優勝。なぎなたの第19回全日本大会・第15回全国都道府県大会が愛媛県武道館（道後姫塚）で開催され、愛媛県チームは準優勝。



【ソフトテニス】茨城国体で一般男子が3位=左。全国高校総体男子個人戦で宮野篤夫・高原晴資組（新田高）が優勝=上。女子団体で新居浜商高が3年目で初優勝=右



【弓道】全国高校総体、女子団体で松山南高が初優勝



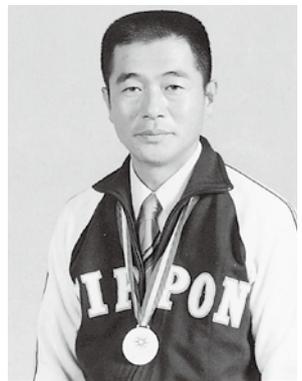
第1回愛媛スポーツ大会の開会を伝える愛媛新聞（1974年8月18日付）



【なぎなた】第19回全日本選手権大会・第15回全国都道府県対抗大会を県武道館で開催。愛媛県チームは準優勝



【陸上】全国高校総体、女子200mで島田恵美子（済美高）25秒3で優勝



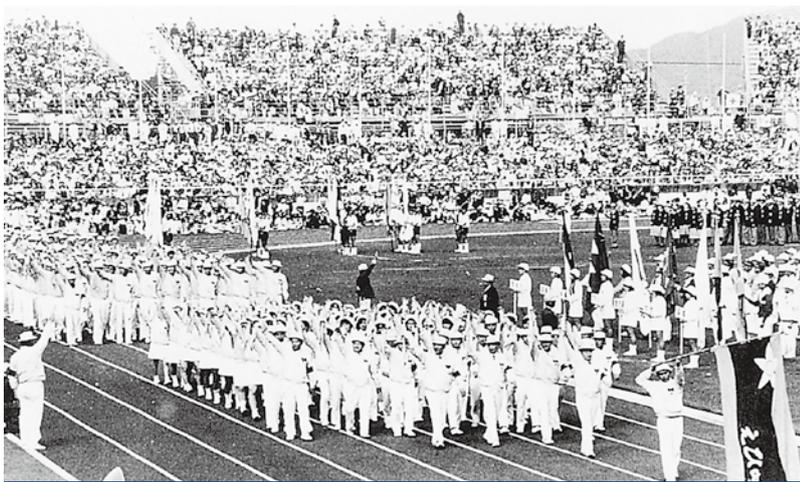
【クレー射撃】第7回アジア大会（テヘラン）に高松久（日吉村）出場、トラップ団体で優勝

## 主な大会優勝

- ・全国高校総体（柔道）個人戦軽量級 寺町良次（新田高）
- ・朝日レガッタ（ボート）高校男子シングルスカル 井手勝敏（今治西高）
- ・全日本選手権大会（体操）鉄棒 久米猛司（東海大-新田高出）
- ・全国高校総体（重量挙げ）フライ級スナッチ 真鍋正司（新居浜工高）
- ・全国高校総体（重量挙げ）ライト級スナッチ 菊川勝也（松山聖陵高）
- ・アジア大会クレー射撃トラップ団体 高松久（日吉村）

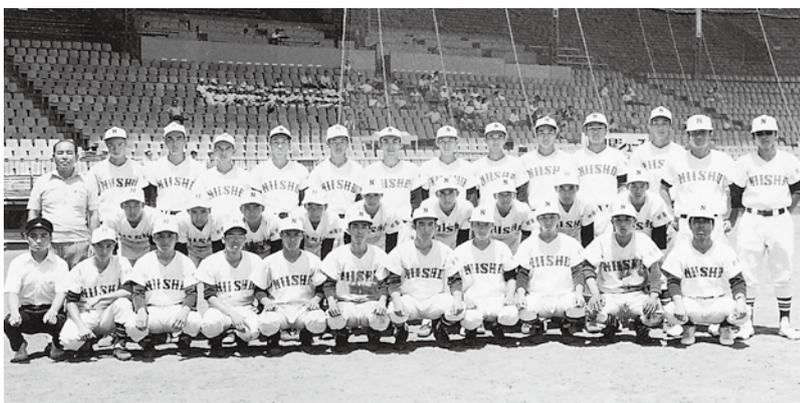
# 1975

昭和  
50年



第30回国体(秋季10.26～三重県) 高橋士団長・石川信年総監督ら414人参加。天皇杯30位、皇后杯32位

三重国体では重量挙げ少年フライ級で真鍋和人(新居浜工高)が優勝。高校野球では夏の選手権と国体で新居浜商高が準優勝の快挙。国体ソフトボール成年男子でも帝人松山が初優勝を果たした。



【高校野球】第57回全国選手権大会に新居浜商高が初出場し準優勝



三重国体の重量挙げ少年フライ級で優勝した真鍋和人を伝える愛媛新聞(1975年10月28日付)



【ソフトボール】国体(松阪)で初優勝の帝人松山



【陸上】国体(伊勢)少年男子走高跳で松下浩(宇和高)2m06を1回目でクリアして優勝

## 主な大会優勝

- ・国体少年男子走高跳 松下浩(宇和高)
- ・全日本中学校選手権大会(陸上)男子800m  
全日本ジュニア大会 桧垣毅(今治西中)
- ・朝日レガッタ(ボート)高校男子シングルスカル  
ジュニア世界選手権大会(カナダ)  
国体少年男子シングルスカル 井手勝敏(今治西高)
- ・朝日レガッタ(ボート)高校女子ナックルフォア 今治北高
- ・ボウリング世界選手権大会4人制、5人制 酒井美代子(伊予三島)



【ボウリング】第8回世界選手権大会(イギリス)日本代表に酒井美代子(伊予三島)が選ばれ出場、4人戦・5人戦に2種目優勝

# 1976

昭和  
51年

モントリオールオリンピックのバスケットボール女子に、門屋加寿子(ユニチカ山崎-聖カタリナ高出)が出場。重量挙げフライ級の真鍋正司(中央大-新居浜工出)が、ジュニア世界選手権大会選考会、全日本学生選手権大会で優勝。国体では重量挙げ少年フライ級で真鍋和人(新居浜工高)が2年連続優勝。なぎなたの全国高校選手権大会で松山東雲高が初優勝。全国高校総体の卓球では済美高が準優勝、ダブルスでも福田陽登美・平田美治組が準優勝を果たす。



[なぎなた] 第15回全国高校選手権大会で松山東雲高が初優勝



[卓球] 全国高校総体(富山)女子団体で済美高が準優勝。ダブルスで福田陽登美・平田美治組が準優勝。全日本選手権大会ジュニア女子で田村友子(中央)優勝



[重量挙げ] 国体(有田町)少年フライ級で真鍋和人(新居浜工)が2年連続優勝



[バスケットボール] オリンピック・モントリオール大会に門屋加寿子(右・聖カタリナ高-ユニチカ山崎)出場



[弓道] 国体(唐津)少年男子が近的3位、遠的4位、総合2位

## 主な大会優勝

- ・全日本大学選手権大会(ボート) シングルスカル 井手勝敏(筑波大-今治西高出)
- ・全日本選手権大会ジュニア女子(卓球) 田村友子(済美高)
- ・全日本学生選手権大会(卓球) 女子ダブルス 宇田澄子(愛知工大-済美高出)
- ・全日本ジュニア大会陸上女子 B800m 武智玲子(松山商高)

全日本学生柔道選手権の軽量級で優勝した濱田初幸を伝える愛媛新聞(1977年10月17日付)



【剣道】第25回全日本学生選手権大会で大城戸功(松山商大)が優勝



第32回国体(秋季10.2～青森県)関宏成団長・河野昭総監督ら427人参加。天皇杯37位、皇后杯35位



【陸上】国体(青森)教員高校1500mで森岡昭彦(松山商高教)3分50秒1で優勝

# 1977

昭和52年

大学の武道で全国優勝が相次いだ。柔道では濱田初幸(松山商大)が全日本学生選手権大会軽量級で優勝。全日本選抜大会でも準優勝。剣道でも大城戸功(松山商大)が全日本学生選手権大会で優勝。なぎなたの全日本大学選手権大会でも演技の部で山内咲智子・井内千鶴(松山東雲短大)が優勝を飾った。この他、ソフトボールの全日本実業団男子大会と全日本総合選手権で丸善石油松山が初優勝。社会人野球でも電電四国が日本選手権で準優勝を果たすなど、実業団スポーツでも愛媛が足跡を残した。



【卓球】全国高校総体(鳥取)女子シングルスで田村友子(済美高)が優勝



【陸上】全国高校総体(岡山)女子800mで武智玲子(左・松山商高)2位

### 主な大会優勝

- ・国体陸上教員高校1500m 森岡昭彦(松山商高教)
- ・ジュニア世界選手権選考会(重量挙げ)52キログラム級
- ・全日本学生選手権(重量挙げ)52キログラム級 真鍋和人(中央大-新居浜工高出)
- ・ジュニア世界選手権選考会(重量挙げ)67.5キログラム級
- ・全日本学生選手権(重量挙げ)75キログラム級 福田輝彦(中央大-松山聖陵高出)
- ・全日本学生選手権(重量挙げ)82.5キログラム級 小野正(中央大-新居浜工高出)
- ・全国高校総体卓球女子シングルス 田村友子(済美高)
- ・全日本学生選手権大会卓球男子シングルス 小野誠治(近畿大-三瓶高出)
- ・メキシコ国際大会予選会(クレー射撃) 高松久(日吉村)

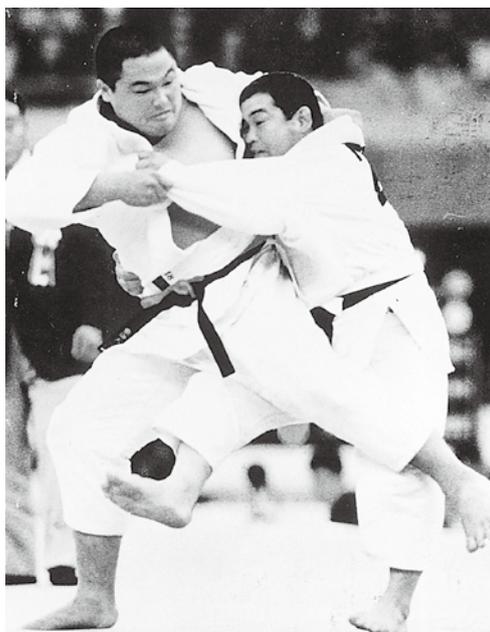


# 1979

昭和  
54年



【柔道】60kg級の濱田初幸（愛媛県警）キューバ国際大会・アジア選手権大会で優勝

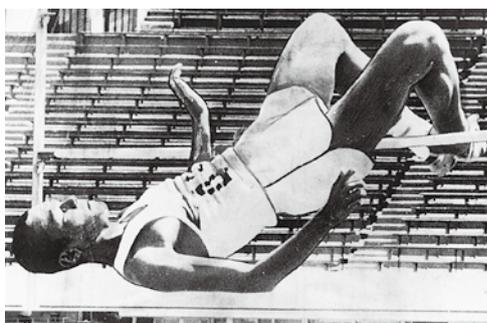


【柔道】榎田利幸（愛媛県警）（右）全日本選手権大会で3連勝した山下と対戦。榎田は翌55年の全日本選手権大会に10年連続出場し日本連盟から特別表彰を受ける

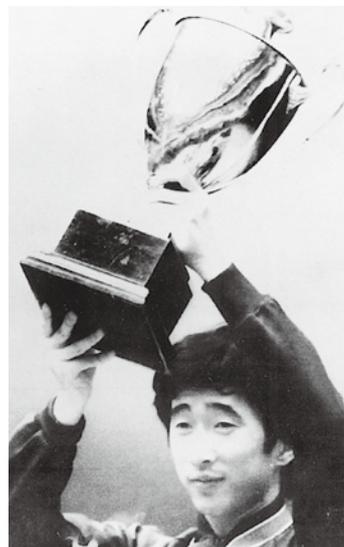
卓球の世界選手権大会（平壤）で小野誠治（日本楽器—三瓶高出）がシングルスで優勝。団体でも3位に。柔道の世界選手権第1次選考会で60キロ級の濱田初幸（愛媛県警）が優勝。濱田はキューバ国際大会でも優勝を果たす。水泳では柳田順子（道後中）が全国中学校選抜大会100mバタフライで優勝。全国ジュニアオリンピックでは100m、200mバタフライ、50m自由形の3種目制覇の偉業を達成。



【スケート】伊藤正人（四国通信機）世界ショートトラック選手権大会（カナダ）に出場＝前から2番目



【陸上】苗田益彦（川之江南中）全日本中学校通信陸上三種競技 A3238点の日本中学新で全国1位



【卓球】第35回世界選手権大会（平壤）に小野誠治（三瓶高一近大—日本楽器）が初出場、団体戦3位・シングルスで優勝。日本で7人目の世界チャンピオンに



【馬術】第12回全国都道府県対抗、Cクラス障害飛越で飯尾智仁（松山乗馬俱）が優勝



【アーチェリー】全国都道府県対抗競技会で埜下正（埜下建設）個人戦で優勝

## 主な大会優勝

- ・全日本中学校通信陸上三種競技  
全日本中学選手権大会三種競技  
ジュニアオリンピック大会走高跳 苗田益彦（川之江南中）
- ・朝日レガッタ（ボート）高校男子ナックルフォア 新田高
- ・国体少年軟式野球 松山クラブ
- ・国体エアライフル伏射 梶浦研三（愛媛語学研究所）
- ・全国都道府県対抗競技会（アーチェリー）50・30m 埜下正（埜下建設）



【山岳】全国高校総体（比良山系）で宇和島南高が男女そろって優秀校

# 1980

昭和  
55年

## 55 総体

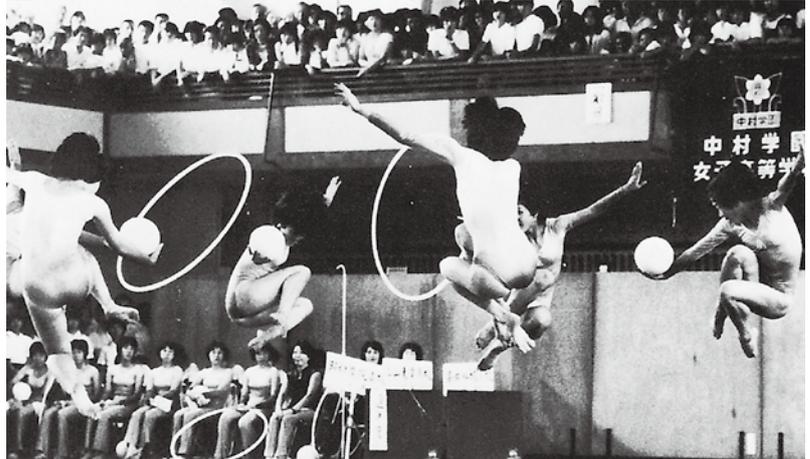
愛媛県総合運動公園が完成し、皇太子ご夫妻に御臨席を賜り、昭和55年度全国高校総合体育大会（略称55総体）の総合開会式が行われた。四国4県で24競技に全国2万1千人の高校生アスリートが「四国路を 駆けろ若人 意気と熱」の大会テーマのもと、熱い戦いを繰り広げた。大会を盛り上げる記念のパレードも行われ、本県でも10の競技が行われた。

柔道の全日本選手権に棟田利幸（愛媛県警）が10年連続出場。全日本柔道連盟から特別表彰を受ける。60キロ級の浅見三喜夫（新田高教）が東ドイツ国際大会で優勝。

水泳女子バタフライの柳田順子（済美高・かしまSC）が、全国ジュニアオリンピック春季大会200mバタフライ、100・200m自由形の3種目優勝。アジア国際招待試合でも優勝。さらに全国高校総体100m、国体少年女子B100mでも優勝の快挙。



総合開会式にご臨席の皇太子ご夫妻=左。松山エスカー選手を激励される皇太子ご夫妻=下



【新体操】女子団体が松山東雲高が5位=上。個人なわ種目で長野多賀乃が3位=左



【水泳】全国高校総体（徳島）女子バタフライで柳田順子（済美高）が100m・1分6秒74で優勝、200m・2分24秒59で2位。400mメドレーで済美高（榑口、三谷、柳田、飯野）5位、400mリレー（飯野、石田、榑口、柳田）6位、女子総合で済美高は5位



【ボクシング】銀2、銅2を獲得、6位に入賞した愛媛県選手団。うち新田高は学校別で5位入賞



[ハンドボール] 男子で松山北高がベスト8入り



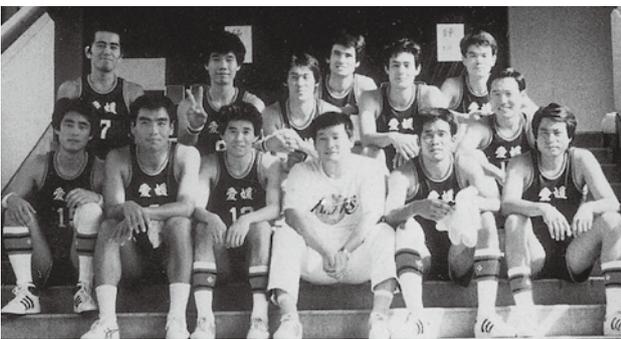
[ソフトテニス] 男子個人戦で5位入賞した渡辺・橋田組(新田高)



[柔道] 個人戦軽量級で3位入賞した小沢雄二(今治南高)の寝技



大会を盛り上げた記念パレード



[バスケットボール] 国体(宇都宮)成年男子で愛媛選抜が3位



[山岳] 国体(日光山系)少年少女で宇和島南高が優勝



[弓道] 国体(鹿沼)成年男子近的で優勝した愛媛チーム



[なぎなた] 第19回全国高校大会優勝の松山東雲高

主な大会優勝

- ・スポニチ国際大会(陸上) 女子 1500 m 武智玲子(日本女子体大-松山商高出)
- ・全日本学生選手権(重量挙げ) 52キロ級 真鍋和人(中央大-新居浜工高出)
- ・全日本実業団選手権大会(重量挙げ) 75キロ級 小野正(新居浜市農協)
- ・全日本学生選手権大会(剣道) 石本公宏(中央大-新田高出)
- ・国体弓道成年男子近的・総合 愛媛県チーム
- ・国体山岳少年女子 宇和島南高
- ・全国高校選手権大会(なぎなた) 松山東雲高



[剣道] 全日本学生選手権大会で石本公宏(新田高一-中大)が優勝

# 1981

昭和  
56年

様々な競技で全国や国際大会での優勝が相次いだ年。特に陸上では全国高校総体で北尾定則（新田高）が男子100mで優勝。新田高は400mリレーでも優勝。滋賀国体では北尾定則が少年男子A100mで優勝。やり投いで矢葺久富（新居浜南高）が優勝。成年女子1500mでも武智玲子（日本女子体大－松山商高出）が優勝。武智は全日本学生選手権大会でも優勝の快挙。実業団学生大会では1万mで村越忍（福岡大－今治工高出）が優勝を果たす。



〔陸上〕全国高校総体、滋賀国体で北尾定則（新田高）優勝



〔陸上〕滋賀国体少年男子Aやり投で矢葺久富（新居浜南高）優勝

〔なぎなた〕第20回全国高校選手権大会で松山東雲高が2年連続3度目の優勝。第20回全日本選手権大会で松山東雲短大が初優勝



〔剣道〕全国高校総体（甲府）で新田高が準優勝



〔高校野球〕全国高校軟式選手権で準優勝、国体高校軟式で初優勝の大活躍をみせた松山商軟式ナイン



〔高校野球〕滋賀国体硬式で今治西高が初優勝。監督を胴上げする今治西高ナイン



〔ヨット〕滋賀国体470級Bで乳阪（磯部和利・坂口博一）2位



〔陸上〕滋賀国体成年女子1500mで武智玲子（日女体大）4分30秒3の大会新で優勝

## 主な大会優勝

- ・全国ジュニアオリンピック春季大会（水泳）女子100m自由形 飯野和子（済美高・かしまSC）
- ・全日本実業団選手権大会（重量挙げ）56キロ級 真鍋正司（一宮グループ）
- ・全日本選抜体重別選手権大会（柔道）60キロ級 濱田初幸（愛媛県警）
- ・ハンガリー国際大会、チェコ国際大会（柔道）60キロ級 浅見三喜夫（新田高教）
- ・全日本学生選手権大会（卓球）女子シングルス 田村友子（近畿大－済美高出）
- ・国体硬式野球 今治西高
- ・国体軟式野球 松山商高
- ・全日本1部大会（軟式野球）松山電話局
- ・全国高校選手権（なぎなた）松山東雲高

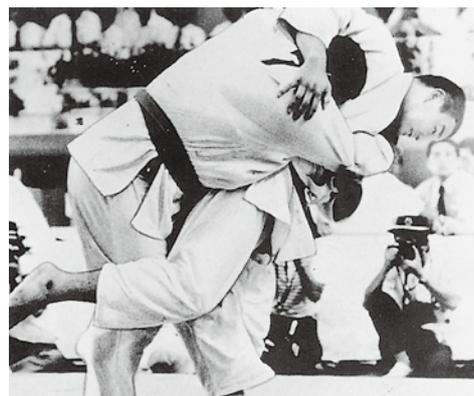
# 1982

昭和  
57年

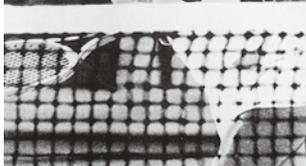


全日本中学陸上選手権・全国中学校サッカー大会を松山市で同時開催、総合開会式を松山球場で行う

第1回愛媛県民スポーツ大会を開催。全日本中学校陸上競技選手権大会と全国中学校サッカー大会を松山市で同時開催、総合開会式を松山球場で行う。愛媛県総合運動公園ではアーチェリーの全日本選手権大会が開催される。



[柔道] 全国高校総体(出水)個人戦重量級・村上修司(今治南高)優勝



[テニス] 木村純子(済美高一園田女大)第57回全日本学生選手権大会、第57回毎日選手権大会女子ダブルスで優勝、第9回アジア大会(ニューデリー)女子ダブルスで準優勝



[バドミントン] 全国高専大会で新居浜高専が2年連続優勝、ダブルスで白石健司・堀内敬一組が優勝



[バスケットボール] 第13回全国ミニ教室交歓大会(東京)男子B組でたちばなクが準優勝



3世代を対象にスタートをきった愛媛県民スポーツ大会82開会式



[ライフル射撃] 島根国体フリースモールボア伏射で梶浦研三(愛媛語学研究所)6位



[バドミントン] 第25回日本社会人選手権大会50歳代で横井虎男・谷口金夫組(クラレ西条)ダブルス優勝

## 主な大会優勝

- ・全日本実業団男子大会(ソフトボール) 丸善石油松山
- ・全日本選手権大会(重量挙げ)、アジア大会52キログ級 真鍋和人(一宮グループ)
- ・全国高校総体(柔道)個人戦重量級 村上修司(今治南高)
- ・全日本学生選手権大会(テニス)、毎日選手権大会女子ダブルス 木村純子(園田女大-済美高出)
- ・全国ジュニア選手権大会(ソフトテニス)男子個人 織田勝・石丸雄二(新田高)

# 1983

昭和  
58年

スポーツ少年団活動を促進し、地域における活動の活性化を図るスポーツ交歓交流大会・第21回全国スポーツ少年大会が北条青少年スポーツセンターで開催される。

新体操の大塚裕子(松山東雲高)が全国高校総体個人総合・輪・リボンの3種目で完全優勝。全日本選手権大会では、こん棒で優勝、個人総合2位に。フランスで開かれた世界選手権にも出場した。



【漕艇】第36回朝日レガッタ(琵琶湖)高校男子シェルフォアで今治南高が初優勝

【弓道】全国高校総体(静岡)女子団体で松山高が初優勝



【自転車】国体(前橋)少年400m速度競走・梶原弘樹(新田高)2位、同30,000mポイント・宮下幸三(松山聖陵高)2位、同スプリント・高木浩二(同)3位



【ゴルフ】第1回全国アマ選手権大会団体で愛媛県チーム(松本洋右、客野志輔、浜西文夫)優勝、個人で客野が3位



【ラグビー】ニュージーランド・ベターネクラブ来県、全関西と国際親善試合を県総合運動公園で開催



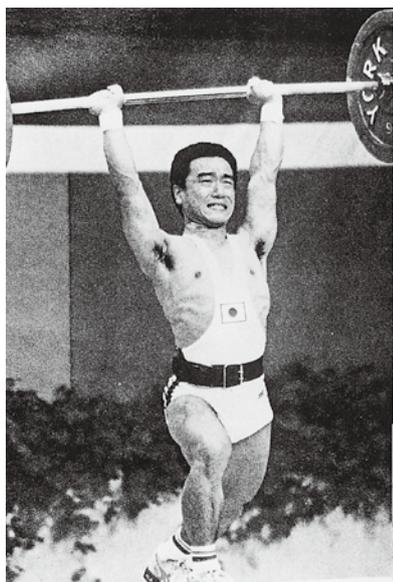
【自転車】清家孝志(松山聖陵高)世界ジュニア選手権大会(ニュージーランド)、スプリントで日本選手初の優勝

## 主な大会優勝

- ・全日本選手権大会(重量挙げ) 52キログラム級 真鍋和人(一宮グループ)
- ・国際試合選考会(柔道) 60キログラム級  
太平洋選手権(香港) 濱田初幸(愛媛県警)
- ・世界ジュニア選手権大会(自転車) スプリント  
全国都道府県対抗大会 1000mタイムトライアル 清家孝志(松山聖陵高)
- ・全日本学生選手権大会(テニス) 女子シングルス・ダブルス 木村純子(園田女大-済美高出)
- ・朝日レガッタ(ボート) 高校男子シェルフォア 今治南高
- ・朝日レガッタ(ボート) 一般女子シングルスカル 小西由紀子(神戸大-松山東高出)
- ・日本産業人優勝大会(バレーボール) 男子9人制 帝人松山
- ・全国アマ選手権大会(ゴルフ) 団体 愛媛県チーム

# 1984

昭和  
59年



第23回ロサンゼルスオリンピックで重量挙げ52kgに真鍋和人（一宮グループ）出場、235kgで銅メダル獲得



【新体操】大塚裕子（松山東雲高）全国高校総体で3種目に2年連続完全優勝

重量挙げの第一人者、真鍋和人（一宮グループ）がロサンゼルスオリンピックに出場。52キロ級で銅メダルを獲得。

新体操の大塚裕子（松山東雲高）が第1回ジュニア選手権大会で総合優勝。全国高校総体でも、2年連続して個人総合・ボール・リボンの3種目で完全優勝の快挙を達成。



【馬術】奈良国体（大和郡山）少年障害飛越団体で松本麻里・植木利枝（松山東雲高）優勝



【陸上】奈良国体成年男子走幅跳で中村明雄（大瀬中教）77m66で3位



【山岳】全国高校総体（駒ヶ岳）で宇和島南高が男女そろって優秀校



【柔道】60kg級の浅見三喜夫（新田高教）第17回全日本選抜体重別選手権大会で優勝。第6回アメリカ国際大会で優勝

【相撲】全国高校東西対抗大会（伊勢）個人戦軽量級で龍山義弘（野村高）が準優勝



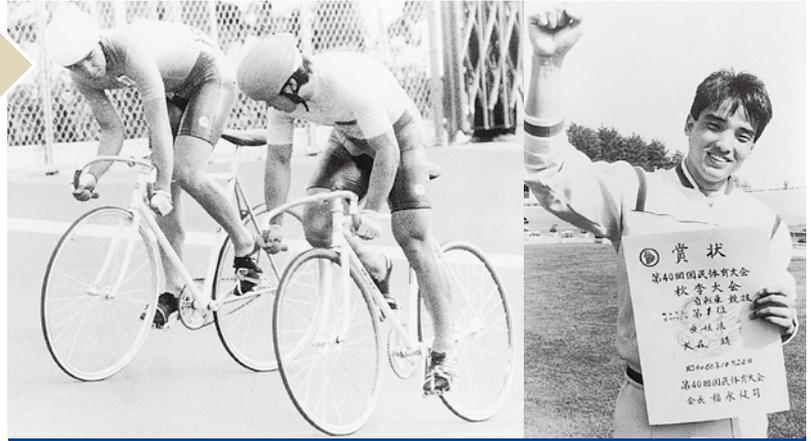
## 主な大会優勝

- ・国体（馬術）少年障害飛越団体 松本麻里・植木利枝（松山東雲高）
- ・全日本選抜体重別選手権大会（柔道）60キロ級  
アメリカ国際大会 浅見三喜夫（新田高教）

# 1985

昭和  
60年

大学生や社会人が活躍した年。新体操の大塚裕子（東京女子体大-松山東雲高出）は全日本ジュニア選手権大会で2年連続の総合優勝。全日本学生選手権大会でこん棒で優勝。全日本選手権大会でもリボンで優勝。柔道も95キロ級の村上修司（日本大-今治南高出）が講道館杯全国体重別選手権大会で優勝。全日本学生優勝大会でも団体優勝に貢献し、優秀選手に選ばれる。この他、ソフトボールの全日本実業団大会で男子の丸善石油松山と女子のいよてつそごうが共に準優勝。



【自転車】鳥取国体（倉吉）成年スプリントで大森績（法大）が優勝



【ソフトボール】第25回全日本実業団男子大会（鹿児島）で丸善石油松山が準優勝



【カヌー】全日本選手権大会、女子カヤックペアで古森ひろ子（大洲高-東女体大）優勝



【新体操】鳥取国体少年男子団体で鮮やかな演技を見せる愛媛チーム

講道館杯全国体重別選手権大会の95キロ超級で優勝した村上修司を伝える愛媛新聞（1985年4月9日付）

**村上**  
（今治南）  
初V飾る

全国柔道 95キロ超級、佐藤下す

講道館杯全国体重別選手権大会の95キロ超級で優勝した村上修司（今治南）を伝える愛媛新聞（1985年4月9日付）

村上修司（今治南）が初優勝を飾る。佐藤下す（松山）が2位。村上は、大会史上最高校生として出場した。村上は、大会史上最高校生として出場した。村上修司（今治南）が初優勝を飾る。佐藤下す（松山）が2位。村上は、大会史上最高校生として出場した。村上修司（今治南）が初優勝を飾る。佐藤下す（松山）が2位。村上は、大会史上最高校生として出場した。



【ソフトテニス】第10回全日本高校団体選抜大会を松山市で開催。女子で今治北高が3位

## 主な大会優勝

- ・実業対学生大会（陸上）男子 100 m 北尾定則（日本大-新田高出）
- ・国体（水泳）少年男子 B400m 個人メドレー 矢野泰司（新田高）
- ・国体（自転車）成年スプリント 大森績（法政大-新田高出）
- ・全日本実業団選手権大会（自転車）1000 mタイムトライアル 小林直宏（スギノテクノ-松山聖陵高出）
- ・全日本選手権大会（カヌー）女子カヤックペア 古森ひろ子（東京女子体大-大洲高出）

# 1986

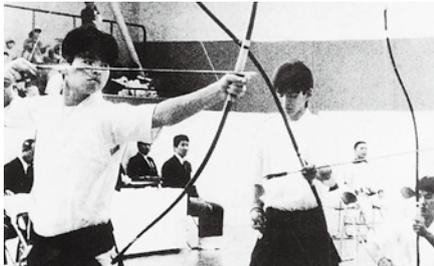
昭和  
61年



【陸上】第1回瀬戸内女子駅伝競走大会が愛媛選抜が優勝



【バスケットボール】第10回アジア大会(ソウル)日本女子代表に堀内美香(済美高出身-シャンソン化粧品)が選ばれ、日本3位に貢献=写真は松山市での日本-中国戦



【弓道】山梨国体少年男子が近的で優勝



【登山】全国高校総体で三島高が優秀校

【高校野球】第68回全国選手権大会で松山商高が7度目決勝進出し準優勝



【漕艇】全国高校総体男子SS・山下進(宇和島東高)初優勝、女子SS小川香(同)3位



【バレーボール】全日本小学生大会で余土小クが準優勝



【陸上】山梨国体少年女子3000mで竹本美智恵(松山商高)4位=左。少年男子800mで渡邊高博(新居浜東高)優勝=上



【銃剣道】全日本選手権大会自衛官個人戦で竹下利一(自衛隊松山)優勝

## 主な大会優勝

- ・国体(陸上)少年男子 B800m 渡邊高博(新居浜東高)
- ・全日本選手権大会(重量挙げ)52キロ級 真鍋和人(一宮グループ)
- ・全日本選手権大会(新体操)リボン 大塚裕子(東京女子体大-松山東雲高出)
- ・朝日レガッタ(ボート)高校男子シングルスカル  
全国高校総体 山下進(宇和島東高)
- ・海外派遣選考会(カヌー)女子カヤックペア 古森ひろ子(東京女子体大-大洲高出)
- ・全日本学生体重別選手権大会(柔道)95キロ級  
ポーランド国際学生大会 村上修司(日本大-今治南高出)
- ・国体(弓道)少年男子近的 愛媛県チーム
- ・全日本選手権大会自衛官個人戦(銃剣道) 竹下利一(自衛隊松山)

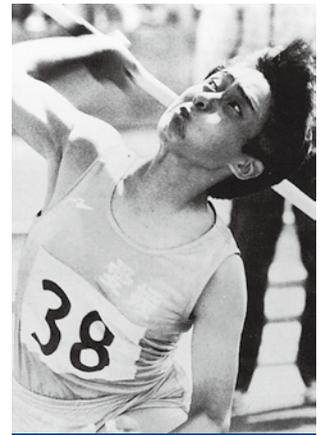
# 1987

昭和  
62年

第3回全国高等学校女子サッカー大会で、宇和島南高が初優勝。全国高校軟式野球選手権大会で、9年連続出場の松山商高が悲願の全国制覇。新体操の大塚裕子（東京女子体大-松山東雲高出）が全日本選手権で4種目の完全優勝。銃剣道の中四国選手権大会が松山市の愛媛県武道館で開催される。



【サッカー】全国高校女子大会で宇和島南高が初優勝



【陸上】沖縄国体少年女子Aやり投げで秋元陽子（今治北高）優勝



【ソフトボール】全日本一般女子大会でいよつそごうが3位



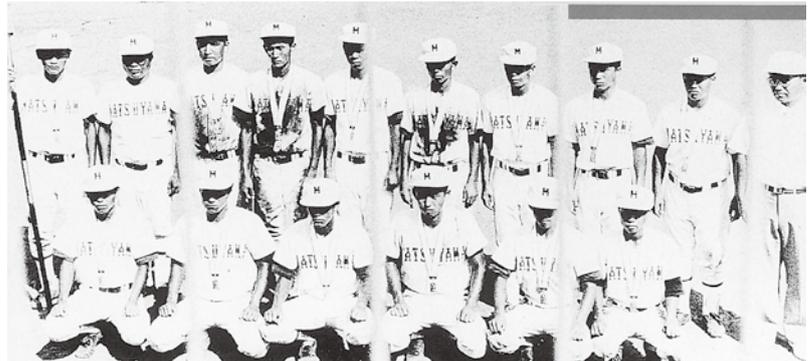
【ライフル射撃】アジア選手権大会県代表選考会、センターファイアーピストルで猪川寛基（松山東警察署）優勝



【陸上】沖縄国体成年女子共通5000mで力走する兵頭勝代（クラレ西条）



【弓道】沖縄国体で少年女子が総合2位=上。男子総合優勝を果たし、喜びの成年男子=下。



【高校野球】全国高校軟式選手権大会で松山商高が9年連続出場し初優勝



【新体操】沖縄国体少年女子団体で息のあった演技をみせる本県チーム

## 主な大会優勝

- ・国体（弓道）少年男子近的・総合 愛媛県チーム
- ・国体（陸上）少年女子Aやり投げ 秋元陽子（今治北高）
- ・台湾国際大会（陸上）1万m 兵頭勝代（クラレ西条）
- ・全国高校総体（水泳）男子200m自由形 矢野泰司（新田高）
- ・朝日レガッタ（ボート）高校男子ナックルフォア 今治南高
- ・アジア選手権代表選考会（ライフル射撃）猪川寛基（松山東警察署）
- ・日本クレー射撃協会冬季本部公式大会トラップA 森田寛志（伊予三島）
- ・全国大会（空手道）一般女子組手 坂本稲子（和道会松山）

# 1988

昭和  
63年



[剣道] 第7回世界選手権大会(ソウル)個人戦で大城戸功(愛媛県警)優勝



[新体操] 第24回ソウルオリンピックに大塚裕子(松山東雲高一東女体大)出場



[陸上] 全国高校総体男子400mで渡邊高博(新居浜東高)優勝



[高校野球] 第60回選抜大会に宇和島東高が初出場し優勝



[弓道] 京都国体(綾部)少年女子が近的で優勝=上。男女総合で2連勝した愛媛県代表=下



[バスケットボール] 京都国体で成年女子・愛媛選抜が3位



[ソフトボール] 全日本クラブ男子3部大会で松山倶楽部が2年連続優勝



[アーチェリー] 京都国体で成年男子が3位

## 主な大会優勝

- ・国体(弓道)少年女子近的・総合 愛媛県チーム
- ・全日本ジュニア選抜大会(陸上)400m  
全国高校総体(陸上)400m 渡邊高博(新居浜東高)
- ・アジア選手権大会(柔道)95キロ級 村上修司(愛媛県警)
- ・朝日レガッタ(ボート)高校男子シングルスカル 中一(宇和島東高)
- ・全日本大学選手権大会(なぎなた) 聖カタリナ女子大
- ・全国中学生選手権大会(レスリング)フリー55キロ級 大沢充(今治日吉中)
- ・全国中学生選手権大会(レスリング)フリー47キロ級 越智雅史(今治日吉中)
- ・全日本クラブ男子3部大会(ソフトボール) 松山倶楽部



[漕艇] 朝日レガッタ高校男子SSで中一(宇和島東高)優勝

# 1989

昭和64年  
平成元年

## 全国スポレク祭

子どもからお年寄りまで誰でも気軽に参加することができるスポーツとレクリエーションの祭典「第2回全国スポーツ・レクリエーション祭～スポレク愛媛'89」が愛媛県総合運動公園を主会場に10月29日からの4日間、全国から延べ25万人が参加して開催された。初日の開会式には三笠宮仁寛親王殿下の御臨席を賜り、総合運動公園陸上競技場に選手・観客約4万5000人が参加し、新居浜の太鼓台や宇和島の牛鬼も登場して祭典を盛り上げた。

四国4県を舞台に全国高校総体が行われた。昭和55年以来9年ぶりの開催で、本県ではボクシング、バスケットボール、テニス、ホッケー、ボート、登山の6競技が行われた。



[ライフル射撃] 北海道国体センターファイアーピストルで優勝した土岐和男(松山東署)



[なぎなた] 北海道国体で試合2位の少年女子



[漕艇] 北海道国体少年男子SSで優勝した藤井基晴(宇和島東高)



[自転車] 北海道国体少年スプリントで優勝した井上勝史(松山聖陵高)



全国高等学校総合体育大会



[バドミントン] 世界シニア選手権大会で浜中誠(松山)優勝



[弓道] 北海道国体で種別優勝した少年男子



[なぎなた] 全国都道府県対抗で愛媛県チーム優勝



[テニス] 全国実業団対抗大会で準優勝。日本リーグ入りした伊予銀行チーム



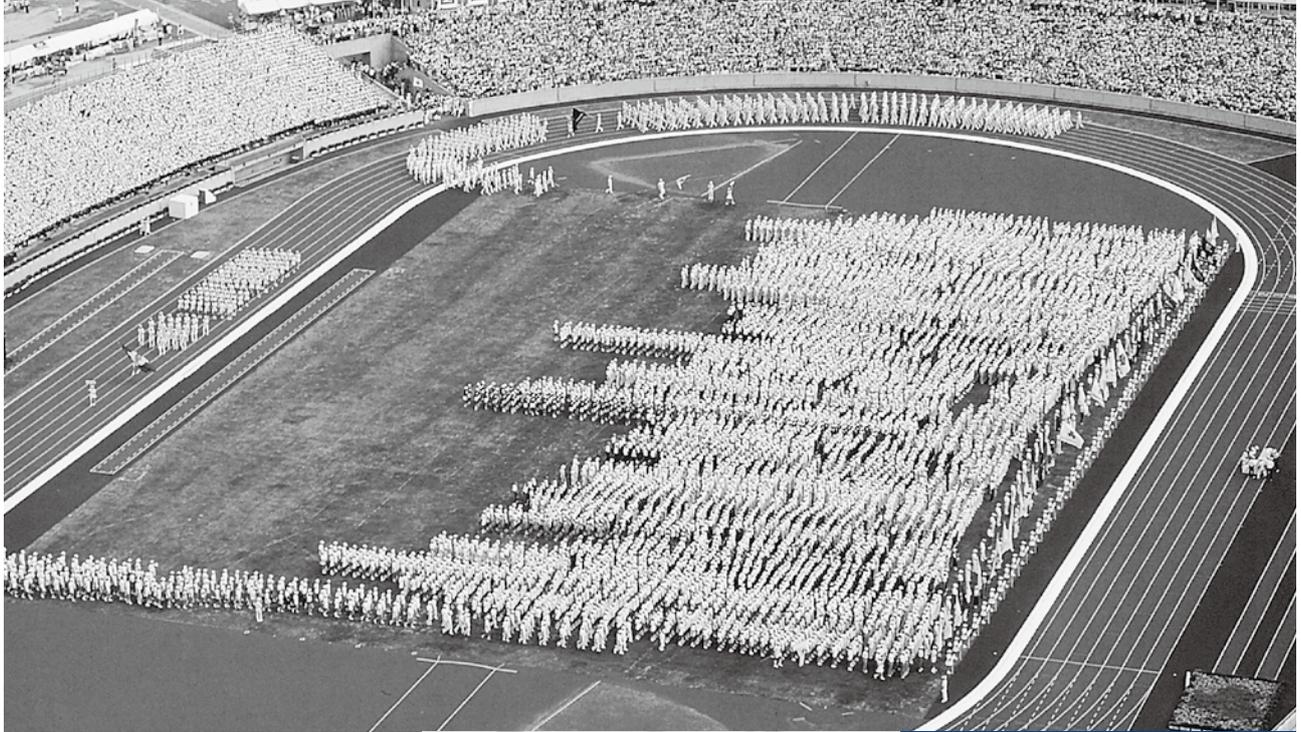
[陸上] 北海道国体少年男子やり投で永井誠司(今治明德高)4位=左  
同三段跳で河野敬晃(伊予高)5位=上



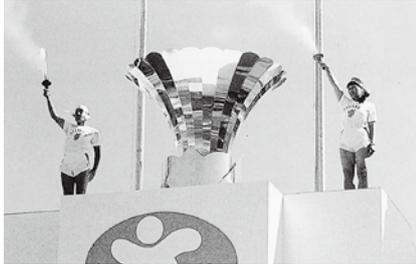
[相撲] 全日本社会人大会で龍山義弘(県スポーツ振興事業団)3位



[弓道] 全日本選手権大会で松岡武文(松山)5位



[スポレク愛媛'89] 初日の開会式の様子。県内を駆けめぐった炬火は「参加と交流の火」と命名され炬火台へ。総合開会式バックスタンドで高校生による人文字を熱演



ソフトバレーボール



ラージボール卓球



壮年サッカー



女子ソフトボール



男女混合綱引き



ゲートボール



年齢別軟式野球

主な大会優勝

- ・国体（弓道）少年男子遠的 愛媛県チーム
- ・国体、世界ジュニア選考会（ボート）シングルスカル 藤井基晴（宇和島東高）
- ・朝日レガッタ（ボート）高校男子シングルスカル 間薫（今治西高）
- ・国体（自転車）  
都道府県対抗大会スプリント（自転車） 井上勝史（松山聖陵高）
- ・全国都道府県対抗大会（なぎなた）愛媛県チーム
- ・全国高校選手権大会（なぎなた） 野間はる香（北条高）
- ・全国高校総体（山岳）男子総合 吉田高
- ・全国高校総体（山岳）男子縦走 八幡浜工高
- ・国体（ライフル射撃）成年1部センターファイアーピストル 土岐和夫（松山東署）
- ・世界シニア選手権大会（バドミントン） 浜中誠（ラケットショップハマナカ）
- ・全国中学生選手権大会（レスリング） 渡辺拓芳（今治日吉中）
- ・全日本クラブ普及大会（ソフトボール） 松山・沖田花店

# 1990

平成  
2年

サッカーの第68回全国高校選手権大会で南宇和高が初優勝。決勝では強豪の武南(埼玉)に2対1で逆転勝ち。西田吉洋が大会6得点で得点王に輝く。高校野球第62回選抜大会に初出場した新田高が準優勝。1大会で2度のサヨナラホームランでの勝利は「ミラクル新田」と讃えられた。全国中学校選抜体育大会が四国4県で開催された。



【サッカー】第68回全国高校選手権大会で南宇和高が初優勝。右は決勝戦で後半1分、南宇和・西田(右から2人目)が同点シュート、優勝へつなぐ



【弓道】福岡国体で初優勝した成年女子1部



【ボクシング】福岡国体少年男子ライトウェルター級2位の横田哲典(新田高=左)の試合



【ソフトボール】松山球場で行われた日中女子国際交流大会



【高校野球】第62回選抜大会に新田高が初出場し準優勝



【スキー】高松宮杯第32回西日本大会を上浮穴郡美川スキー場で開催。(中央)三笠宮寛仁殿下、(先頭)奥島団四郎県スキー連盟会長



【バドミントン】全日本家庭婦人大会で新居浜双葉チーム優勝



【陸上】福岡国体少年女子A走幅跳で2位に入った宮下優子(八幡浜高)

## 主な大会優勝

- ・国体(弓道)成年女子1部遠的・総合 愛媛県チーム
- ・世界選手権選考会(ボート)シングルスカル、世界ジュニア選考会(ボート)シングルスカル、朝日レガッタ、高校選抜大会、フォアスカル全日本選手権 藤井基晴(宇和島東高)
- ・全国高校総体(ボクシング)Lウェルター級 横田哲典(新田高)
- ・アジア大会(陸上)1600mリレー 渡邊高博(早稲田大-新居浜東高出)
- ・全日本学生選手権大会(レスリング)グレコローマン62キロ級 栗本秀樹(日体大-津島高出)
- ・全日本学生選手権大会(レスリング)グレコローマン57キロ級 深水真司(日体大-新田高出)

# 1991

平成  
3年



〔陸上〕全国高校総体女子砲丸投げで優勝した奥平陽子（今治明德高）



〔レスリング〕全国高校総体グレコローマン58kg級で優勝した越智雅史（今治南高）



〔バレーボール〕全日本中学校女子で19年ぶりに優勝した松山雄新中



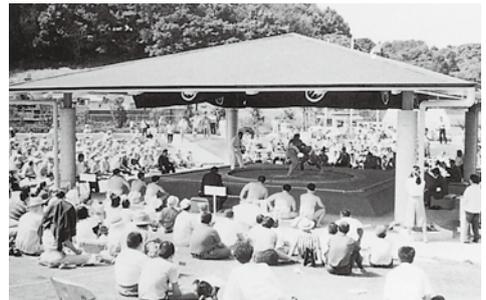
四国路を舞台に初めて開催された自転車のロードレース“ツール・ド・四国”愛媛ステージ



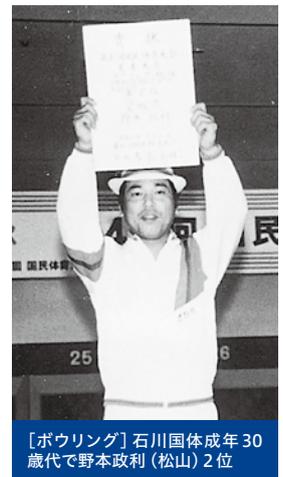
〔ボクシング〕全国高校総体バンタム級で優勝の横山謙（新田高）



石川国体の弓道成年女子1部遠的で優勝した愛媛県チームを伝える愛媛新聞（1991年10月16日付）



〔相撲〕全日本実業団大会を県総合運動公園で開催＝上、2部で優勝した愛媛県チーム＝下



〔ボウリング〕石川国体成年30歳代で野本政利（松山）2位

## 主な大会優勝

- ・国体（ライフル射撃）成年1部CP20発 土岐和男（松山東署）
- ・全国高校総体（陸上）女子砲丸投げ 奥平陽子（今治明德高）
- ・全国高校総体（ボクシング）バンタム級 横山謙（新田高）
- ・朝日レガッタ（ボート）高校シングルスカル 常盤聡（新田高）
- ・全国高校選手権大会（レスリング）グレコローマン58キロ級 越智雅史（今治南高）
- ・全国中学生選手権大会（レスリング）フリー 川原一平（今治西中）
- ・全日本学生選手権大会（レスリング）グレコローマン62キロ級 栗本秀樹（日体大－津島高出）
- ・全日本学生選手権大会（レスリング）グレコローマン57キロ級 深水真司（日体大－新田高出）
- ・全国都道府県対抗大会（なぎなた）個人戦演技 横林留美・橋本理香
- ・全日本中学校選手権大会（バレーボール）女子 雄新中

# 1992

平成  
4年

バルセロナオリンピックに陸上の渡邊高博(早稲田大-新居浜東高出)、真木和(ワコール-今治北高出)、野球の西山一宇(NTT 四国)が出場。バスケットボールの日本代表に身長2m7cmの山崎昭史(松下電器-松山城南高出)が選出される。

冬季国体スケート競技成年で、男子1万mで森村英生(山梨学院大-松山工高出)と少年男子1万mで伊藤忍(新田高)が共に県勢として初の8位入賞を果たす。



[弓道] 山形国体で成年女子1部が近似的優勝



[テニス] 全日本ジュニア選手権大会・全国選抜ジュニア選手権大会で優勝した武田亜衣(伊予三島)



[スケート] 山形国体少年男子1万mで伊藤忍(新田高)が県勢初の8位入賞



[バスケットボール] 身長2.07mの山崎昭史(松山城南-京産大-松下電器)日本代表に選ばれる。写真は高校時代



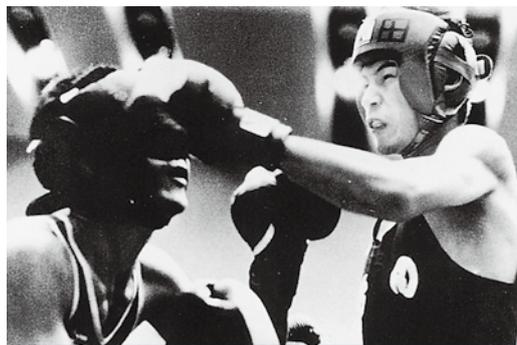
[馬術] 全日本馬術選手権大会で個人総合6位入賞した飯尾智仁(MRC乗馬クラブ)



[バスケットボール] 全国高校総体で新居浜商高女子チームが準優勝



バルセロナオリンピックに出場する真木和選手(右)と渡邊高博選手



[ボクシング] 全国高校総体ライト級で渡辺大吾(新田高)優勝

## 主な大会優勝

- ・国体(弓道) 成年女子1部近似的 愛媛県チーム
- ・日本ジュニア選手権女子砲丸投 奥平陽子(今治明德高)
- ・全国高校総体(ボクシング) ライト級 渡辺大吾(新田高)
- ・全日本ジュニア選手権大会(テニス)、全国選抜ジュニア選手権大会 12歳以下 武田亜衣(伊予三島南中)
- ・全日本学生選手権大会、国体(レスリング) グレコローマン62キロ級 栗本秀樹(日体大-津島高出)
- ・全日本社会人選手権大会(ライフル射撃) 個人戦BP 刈谷敦(日本銀行)
- ・全日本学生選手権大会(なぎなた) 池見敬子(大阪体大-松山東雲高出)
- ・極東選手権大会(ボウリング) 2人・5人チーム戦 和田幸正(イヨテツクラブ)



6月に行われた四国初のJリーグ公式戦は仮設照明のもと白熱の首位攻防戦を展開した

# 1993

平成  
5年

Jリーグ元年。愛媛でも6月12日にサンフレッチェ広島 VS 鹿島アントラーズの公式戦が愛媛県総合運動公園で行われ盛り上がりを見せた。全国高専サッカー大会で新居浜高専が優勝。



[自転車] 東四国国体少年スプリントで優勝した河部勝史(松山聖陵高)



[サッカー] 全国高専サッカー大会で新居浜高専が優勝



[ゴルフ] 全国都道府県対抗アマ選手権で10年ぶり2度目の優勝を飾った愛媛チーム



[なぎなた] 東四国国体で少年女子が総合2位



[漕艇] 全国高校選抜大会男子シングルスカルで宇和島東高が優勝



[柔道] 全国高校総体で個人重量級を制した石崎真之(新田高)



[バスケットボール] 第23回全国中学校大会女子で松山雄新中が2位



[弓道] 東四国国体で少年男子が近的2位入賞

## 主な大会優勝

- ・全国高校選抜大会(ボート)男子ダブルスカル 宇和島東高
- ・国体成年男子(ボート)シングルスカル 武田大作(愛媛大)
- ・全国都道府県対抗選手権大会(ゴルフ) 愛媛県チーム
- ・全国高校総体、国体(自転車)少年スプリント 河部勝史(松山聖陵高)
- ・全国高校総体(自転車)ポイントレース 鳥生知八(松山聖陵高)
- ・全国高校総体(柔道)個人戦重量級 石崎真之(新田高)
- ・全日本学生体重別選手権大会 60キログラム級 徳野和彦(東海大-新田高出)
- ・ジュニアオリンピック男子三段跳 渡辺由光(今治南高)
- ・ジュニアオリンピック女子三段跳 高須賀咲枝(新居浜東高)
- ・全日本学生選手権大会(なぎなた)個人戦 池見敬子(大阪体大-松山東雲高出)
- ・アジア大会(ボウリング)2人・5人チーム戦 和田幸正(県連)
- ・全日本選手権大会(レスリング)グレコローマン62キログラム級 栗本秀樹(日泉化学)

# 1994

平成  
6年

県体協 70 周年記念事業

## 愛媛県体協 70 周年

愛媛県体育協会 70 周年。スポーツ優秀特別賞や 70 周年記念特別功労賞など、本県スポーツの競技力向上に顕著な功績を残された皆さんが表彰された。このほか親子サッカー大会や、親子バレーボール大会、スポーツドクターによる相談コーナーなど、数多くの記念行事が行われた。



スポーツドクター相談コーナーでスポーツ障害について指導を受ける一般参加者



親子サッカー大会 (愛媛県総合運動公園)



長年にわたり国体事業に貢献され「国民体育大会特別賞」を受賞された方々 (にぎたつ会館)



愛媛ロード'94 ゲートボール大会 (愛媛厚生年金休暇センター)



[なぎなた] 愛知国体で 3 位入賞を喜ぶ成年 2 部チーム



[漕艇] 愛知国体成年男子シングルスカルで 2 年連続優勝した武田大作 (愛媛大)



[ボクシング] 愛知国体少年バンタム級で優勝した大谷栄二郎 (新田高)

[陸上] 全国高校総体ハンマー投で優勝した川下智史 (今治明德高)



[ボウリング] アジア大会男子 5 人チーム戦で 3 位銅メダルを獲得した和田幸正 (イヨテッククラブ)

### 主な大会優勝

- ・全国選抜大会、国体 (ボクシング) 少年バンタム級 大谷栄二郎 (新田高)
- ・全国高校総体 (ボクシング) ライトウェルター級 高橋泰征 (新田高)
- ・全国高校選抜 (ボクシング) ライト級 渡部剛博 (新田高)
- ・全国高校総体、ジュニア五輪大会ハンマー投げ 川下智史 (今治明德高)
- ・日本ジュニア選手権大会 (陸上) 女子 3000m 黒星郁恵 (松山商高)
- ・全日本体重別選手権大会 (柔道) 65 キロ級 南條充寿 (筑波大-新田高出)
- ・国体 (弓道) 少年男子種別総合 愛媛県チーム
- ・全国高校選抜大会 (ボート) 男子ダブルスカル 宇和島東高
- ・国体 (ボート) シングルスカル 武田大作 (愛媛大)
- ・全国都道府県対抗大会 (なぎなた) 愛媛選抜チーム
- ・全国高校選手権大会 (なぎなた) 個人戦 竹宮慶子 (北条高)
- ・国体 (ライフル射撃) センターファイアー遅射 猪川寛基 (愛媛県警)
- ・全国中学校選手権大会 (レスリング) 池田秀治、山口亮、松田卓也 (久米中)
- ・全国シニア選手権大会 (バドミントン) 60 歳以上 横井虎男、谷口金夫 (西条)
- ・全日本混合選手権大会 (バドミントン) 50 歳以上 橋田国司、石田信子 (クラレ西条、愛媛大職員)



[剣道] 全国中学校選手権大会個人戦で 2 位に食い込んだ大森絵美 (砥部中)

# 1995

平成  
7年

**武田 3連覇 同一種目で県勢初の快挙**

**圧倒2位に1艇身半**

**新記録のVちめざす**

福島国体成年男子シングルスカルで3連覇した武田大作を伝える愛媛新聞(1995年9月13日付)

福島国体成年男子シングルスカルで3連覇した武田大作を伝える愛媛新聞(1995年9月13日付)

福島国体のボート成年男子シングルスカルで武田大作(愛媛大)が、県内初の個人種目3連覇を達成。国体では、なぎなた少年女子愛媛チームやレスリング少年グレコローマンで松本慎吾(津島高)も優勝を果たしたが、男女総合の天皇杯はワーストタイの46位と低迷。全国高校総体での優勝もボクシング・ライトフライ級の鈴木裕介(新田高)のみに留まり、愛媛のアマチュアスポーツにとっては、かつてない厳しい1年となった。

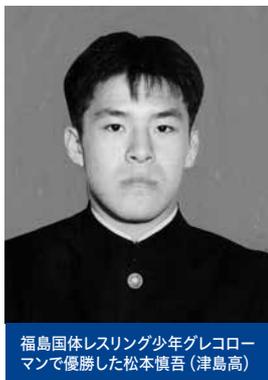
その一方で、県出身のプロ選手は躍動を見せた。プロ野球ではオリックスの平井正史(宇和島東高出)が最優秀救援など2タイトルを獲得。新人賞にも選ばれた。日本シリーズを制したヤクルトでは山部太(八幡浜工出)は16勝を挙げ優勝に貢献。近鉄の佐野重樹(松山商高出)も中継ぎながら10勝をマークし、セットアッパーという言葉に世に広めた。大相撲の玉春日(野村町出身・片男波部屋)も初場所から12場所連続の勝ち越しで入幕を決めた。



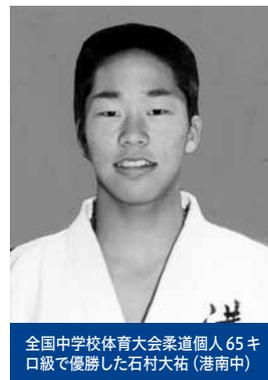
大相撲で本県出身者としては33年ぶりに幕内入りを果たした玉春日



福島国体なぎなたで優勝した少年女子愛媛チーム。前列左から木田優子、上田恵美選手。後列左から竹内美貴選手、鈴木理香監督



福島国体レスリング少年グレコローマンで優勝した松本慎吾(津島高)



全国中学校体育大会柔道個人65キロ級で優勝した石村大祐(港南中)



松前中ソフトボール部のメンバー



全国高校総体ボクシング・ライトフライ級で優勝した鈴木裕介(左)(新田高)

## 主な大会優勝

- ・全国中学校体育大会ソフトボール男子 松前中
- ・全日本大学ソフトテニスリーグ王座決定戦男子 松山大
- ・全国中学校体育大会柔道個人65キロ級 石村大祐(港南中)
- ・全国高校なぎなた選手権大会個人戦 木田優子(北条高)

# 1996

平成  
8年

真木和(ワコルー今治北高出)が名古屋国際女子マラソンに初出場で見事優勝。アトランタオリンピックにも出場を果たす。第2回Vリーグ女子で、佐伯美香(松山南第二中出)が所属するユニチカが初優勝。原動力となった佐伯は最高殊勲選手賞を受賞。アトランタオリンピックにも出場。

全国高校野球選手権で松山商高が熊本工との延長戦を制し27年ぶり5回目の優勝。延長10回のピンチを救った「奇跡のバックホーム」は、いまなお球史に残るプレーとして語り継がれている。



佐伯美香 アトランタオリンピック女子アジア最終予選



夏の甲子園決勝、10回裏1死満塁、矢野からのダイレクト返球で捕手石丸が三走・皇子をタッチアウト(奇跡のバックホーム)



広島国体 なぎなた成年女子初V 賞状を手に優勝を喜び合う、なぎなた成年女子チーム(左から万家、池見、三好選手と横林監督)



陸上四国高校選手権大会男子やり投げで優勝した村上幸史

## 主な大会優勝

- ・国体成年女子なぎなたチーム(三好淑恵、池見敬子、万家利恵)
- ・全国高校総体、国体陸上少年共通やり投げ 村上幸史(今治明德高)

名古屋国際女子マラソンで、初マラソン初優勝を飾った真木和を伝える愛媛新聞(1996年3月11日付)(写真:共同通信社)

**真木、常識破りの走り**  
残り3キロ2段階スパート

まるでトラックレース  
前向きに走った

光る2時間27分32秒

エゴワら追走できず  
最強トリオ17日に

記録より勝負優先

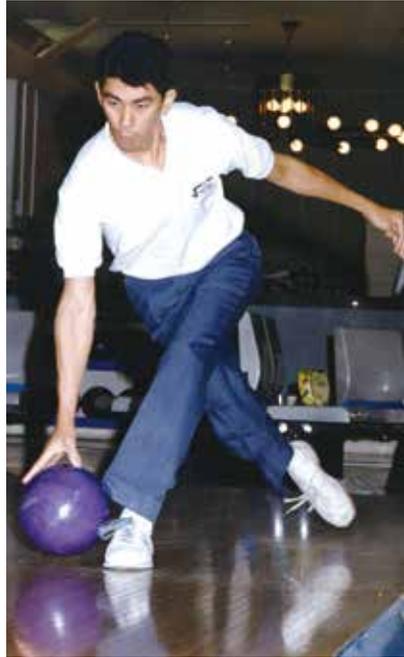


# 1998

平成  
10年

柔道アジア大会と全日本選抜柔道体重別選手権 60 キロ級で徳野和彦（神奈川県警-新田高出）が優勝。本県勢としては柔道アジア大会で初の金メダル。全国高校総体柔道男子個人 81 キロ級でも河野大翼（新田高）が優勝。

神奈川県体ボウリング成年男子年齢別個人 30 歳代で和田幸正（伊予鉄不動産）が優勝。国体陸上少年男子 A 走り幅飛びで渡辺容史（松山北高）が、前年の三段跳びに続き優勝。日本ジュニア選手権にも出場し、世界ジュニア選手権への出場を果たした。全国高校総体陸上女子やり投げで清水めぐみ（今治明德高）が優勝。



全国都道府県対抗アマチュアゴルフ選手権個人戦で優勝した富永敬

神奈川県体ボウリング成年男子年齢別個人 30 歳代で優勝した和田幸正

## 渡辺(松山北)貫録 V

男子三段跳び  
初の16メカ…無念のファウル

大会新・渡辺

女子  
800  
メートル大平  
松山商 5位  
学校対抗  
今治明德 6位

優勝トロフィーを手にほほえむ渡辺容史

【男子三段跳び決勝】15分48秒をマークし、初優勝を決めた渡辺容史（松山北）の記録。学校対抗は今治明德が優勝した。

【全国高校総体陸上男子三段跳び決勝】渡辺容史（松山北）が初の16メカをマークし、初の金メダルを獲得した。

全国高校総体陸上男子三段跳びで優勝した渡辺容史を伝える愛媛新聞（1998年8月6日付）

## 徳野痛快 オール「一本」

60キロ級  
中村行（66男子）、真壁（48女子）も金

焦点  
小さな体で大仕事  
シドニー五輪に照準  
徳野

【柔道男子60キロ級決勝】徳野をすくい投げで下して優勝した徳野和彦（タママート大塚・体育館）（写真）

柔道アジア大会 60キロ級で優勝した徳野和彦を伝える愛媛新聞（1998年12月8日付）（写真：共同通信社）

### 主な大会優勝

- ・全国中学校体育大会水泳男子 100m 自由形 浅木剛紀選手（川東中）
- ・全国都道府県対抗アマチュアゴルフ選手権個人戦 富永敬（宇和島 C）

# 1999

## 「スポーツ立県」

加戸守行愛媛県知事が「スポーツ立県」を表明。愛媛県体育協会会長には大亀孝裕氏が就任。

熊本国体レスリング成年グレコローマンスタイルと全日本レスリング選手権グレコローマンスタイル 85 キロ級で松本慎吾(日体大-津島高出)が優勝。国体自転車成年1000mタイムトライアルで和田友希(和田鉄工)が初出場で優勝を飾る。全国中学校体育大会水泳男子50m自由形と100m自由形で、浅木剛紀(川東中)が共に中学新記録で優勝の快挙。

## やっと…松本悲願V



63級 栗本、健闘3位  
初Vの松本  
学生最後の挑戦  
勝ちにこだわり

熊本国体レスリング成年の優勝した松本慎吾を伝える愛媛新聞(1999年10月28日付)

## 浅木(川東)日本中学新V



男子50自由形 23秒93  
全国中学体育大会

24秒切れるとは

全国中学体大会水泳で、中学新記録で優勝した浅木剛紀を伝える愛媛新聞(1999年8月23日付)

## 和田、自己新を大幅更新



社会人3年目 下半身強化実る  
1000mタイムトライアル

国体自転車競技で優勝した和田友希を伝える愛媛新聞(1999年10月26日付)

## スポーツ立県 競技力向上費を倍増

手出しを読む  
1999年度6月補正  
○・5  
手弁当、体質脱却図る



県は体位立憲を目指す  
「スポーツ立憲」政策  
実行、昨年度の2.4  
倍の競技力向上費を  
計上した。6月30日  
付の補正予算案で、  
大岡山の全日本選手  
権選手を支援する。

加戸守行知事の公約「スポーツ立県」に向け6月補正予算で競技力向上対策費を倍増計上したことを報じる愛媛新聞(1999年6月30日付)

### 主な大会優勝

- ・全国高校選抜ボート男子ダブルスカル 宇和島東高チーム
- ・全国高校選抜ボート女子かじ付きフォア 宇和島東高チーム

# 2000

平成  
12年

シドニーオリンピックに本県関係選手が5人出場。ビーチバレー女子で、佐伯美香(ダイキ)が高橋有紀子(小田急)と組んで4位入賞。野球では沖原佳典(NTT 東日本-西条高出)が日本の4位入賞に貢献。ボートの男子軽量ダブルスカルで武田大作(ダイキ)が長谷等(中部電力)とのペアで6位に入賞した。

松山中央公園野球場「坊っちゃんスタジアム」が完成。市営球場としては面積、3万人収容人数ともに中四国最大を誇り、こけら落としとして7月にプロ野球広島-中日戦が行われた。本県での一軍公式戦は21年ぶりで、ナイターは初めての開催。



シドニーオリンピック出場県選手激励会が8月25日、松山市内のホテルで行われた



富山国体レスリング少年フリースタイル85キログ級決勝。第2ラウンド序盤に攻勢をかけてポイント奪う森山政秀(上)



ボートの全国高校選抜大会男子かじ付きフォアで頂点に立った宇和島東高のメンバー



ボートの全国高校選抜大会女子かじ付きフォアで優勝した宇和島東高のメンバー

## 主な大会優勝

- ・全国高校選抜ボート大会女子かじ付きフォア 宇和島東高チーム
- ・全国高校選抜ボート大会男子かじ付きフォア 宇和島東高チーム
- ・全国高校総体ボート女子ダブルスカル 今治西高チーム
- ・全国高校総体弓道女子個人 越智恵(松山北高)
- ・国体弓道成年女子遠的 愛媛県チーム
- ・国体弓道成年男子遠的 愛媛県チーム
- ・国体レスリング少年フリースタイル85キログ級 森山政秀(北条高)
- ・国体レスリング少年グレコローマンスタイル69キログ級 神野伸二(北条高)
- ・国体陸上成年男子800m 中野将春(広島経済大-三瓶高出)
- ・全国女子体重別柔道選手権70キログ級 風戸晴子(帝京大-宇和島東高出)



完成した坊っちゃんスタジアム

# 2001



日本フットボールリーグでの大塚製薬—愛媛FC (徳島市球技場)



宮城国体少年女子かじ付きクオドルプルを制して喜ぶ宇和島東高クルー

## 果敢に勝負 新星、土佐

**女子マラソン「銀」**

**V シモンと5秒差**

37キロからマッチレース

「メダル取れてうれしい」土佐

アテネへの課題学ぶ

エドモントン世界陸上女子マラソンで2位となった土佐礼子を伝える愛媛新聞(2001年8月14日付)(写真:共同通信社)



全日本学生テニス選手権女子シングルスで優勝した武田亜衣

エドモントン世界陸上女子マラソンで2位となった土佐礼子を伝える愛媛新聞(2001年8月14日付)(写真:共同通信社)

新世紀の幕開けは、愛媛のプロ、アマ共に目ざましい活躍を見せた。プロ野球では藤井秀悟(今治西高出)と岩村明憲(宇和島東高出)が投打の中心となりヤクルトスワローズの日本一に貢献。故障から復調した山部太(八幡浜工高出)も4勝を挙げた。藤井と最多勝を争った中日の野口茂樹(丹原高出)も最優秀防御率など3冠を獲得し、史上6人目となる4試合連続無四球試合を達成した。近鉄の水口栄二(松山商高出)もリーグ最多の38犠打を記録。いぶし銀の働きで、12年ぶりのリーグ制覇に貢献した。

一方、高校野球ではノーシードから勝ち上がってきた松山商高が、阿部健太(後に近鉄入り)らの活躍で全国高校野球選手権ベスト4入り。

サッカーの愛媛FCはJFLに参戦。全国各地で30試合を戦った。社会人野球の松山フェニックスも、全日本選手権に初出場し、初戦で企業チームを撃破。地元ファンを喜ばせた。大阪で開かれた東アジア大会では、レスリング・グレコローマンスタイル85キロ級で松本慎吾(一宮グループ)がタイトルを獲得。ボートの武田大作(ダイキ)と矢野彰男(長命路ローイングクラブ)も2つの金メダルを獲得した。女子ソフトボール日本リーグでは伊予銀行が二部リーグで優勝。一部リーグへの昇格を決めた。陸上の日本学生選手権で男子やり投げで村上幸史(日本大—今治明徳高出)が学生新をマークし連覇。ボートでは宇和島東高女子かじ付きクオドルプルチームが大健闘。全国選抜、インターハイ、国体の3タイトルを獲得。ボート王国の本領を発揮した。マラソンでは世界陸上で土佐礼子(三井住友海上—松山商高出)が準優勝を果たした。

### 主な大会優勝

- ・国体陸上少年女子B 800m 山下恵 (済美高)
- ・全日本学生テニス選手権女子シングルス 武田亜衣 (筑波大—三島高出)
- ・全国都道府県対抗成年男子 1000m タイムトライアル (自転車) 岡本大嗣 (帝京第五高出)
- ・東アジア大会ボート男子軽量級ダブルスカルなど2種目 矢野彰男 (長命路ローイングクラブ—今治南高出)
- ・国体ボート少年女子シングルスカル 加藤和美 (宇和島東高)

# 2002

平成  
14年

正岡子規の野球殿堂入りを記念して、「愛媛県スポーツ俳句大賞」が創設される。

愛媛県社会人スポーツ推進協議会を設立。えひめ国体に向けて成年選手の雇用促進と競技力の向上を図る。

釜山（韓国）で開かれたアジア大会で、柔道男子100キロ超級の棟田康幸（明治大ー松山市出身）、レスリング男子グレコローマン84キロ級の松本慎吾（一宮運輸）、ボート男子軽量級ダブルスカルの武田大作（ダイキ）が揃って金メダルを獲得。冬季国体スケート・ショートトラック少年女子1000mで、重松良枝（山梨学院大ー済美高出）が、県勢初の冬季大会優勝を果たす。陸上日本学生対抗選手権で松山大の手島弥里が女子七種競技で自己ベストをマークし2位に入賞。愛媛の大学に所属する選手として初めて表彰台に立った。

高校野球では夏の甲子園で川之江高が、前年の松山商高に続いてベスト4入り。公開競技ながら、夏季高知国体でも快進撃は続き、決勝で帝京を下し初の頂点に上り詰めた。川之江高躍進の立役者となった鎌倉健投手は、この年のプロ野球ドラフト会議で、日本ハムファイターズから2位指名、前年の甲子園ベスト4の原動力となった松山商高の阿部健太投手も大阪近鉄バファローズから3位指名、さらに俊足好打の左バッター、三瓶高の松下圭太外野手も阪神タイガースから11位で指名を受けた。県内の高校生が3人同時に指名されるのは初めてで、野球王国・愛媛を改めて印象付けた。

松山城築城四百年に合わせて、四国で初めてのプロ野球オールスター戦が、坊っちゃんスタジアムで行われ、県内外から3万人が詰めかけた。サッカーでは日韓共同で初開催されたW杯に、福西崇史（ジュビロ磐田ー新居浜工高出）が愛媛県人初出場。日本のW杯初勝利に貢献した。

## 主な大会優勝

- ・ボート高校選抜、全国高校総体、国体少年女子かじ付き4人スカル 三冠 宇和島東高
- ・国体ボート少年男子かじ付き4人スカル 宇和島東高
- ・国体弓道成年女子遠的 愛媛県選抜チーム
- ・国体弓道少年男女遠的 愛媛県選抜チーム
- ・国体レスリング、全国高校総体レコローマンスタイル69キロ級等4冠 神野伸二（北条高）
- ・都道府県対抗なぎなた大会「試合の部」 愛媛県選抜チーム
- ・全国高校選抜ボート女子ダブルスカル 今治西高
- ・全国高校選抜弓道大会男子団体 今治南高
- ・全国中学校体育大会男子ソフトボール 松前中
- ・都道府県対抗自転車男子個人ロード 長野耕治（自営業）
- ・国体レスリング少年グレコローマンスタイル54キロ級 武田佑基（今治工高）
- ・全国高校総体柔道男子個人81キロ級 法兼真（新田高）
- ・全国高校選抜、高校総体、国体の自転車1000mタイムトライアル 橋本強（松山聖陵高）
- ・国体ボート少年男子シングルスカル 篠原潤一（宇和島水産高）



高知国体の弓道成年女子遠的で優勝した愛媛チーム



夏の甲子園で準決勝進出を果たした川之江ハイライン



全国中学校体育大会男子ソフトボールで優勝した松前中学校ソフトボール部



都道府県対抗なぎなた大会で優勝した愛媛県選抜チーム



第14回釜山アジア大会柔道で優勝した棟田康幸



全国高校総体、高知国体レスリングで優勝した神野伸二

# 2003

平成  
15年



愛媛県武道館落成を記念して国際親善女子柔道大会が開かれた



完成した愛媛県武道館の落成式で、テープカットする加戸知事（中央）、山下名誉館長（左から2人目）ら



全国都道府県対抗アマチュアゴルフ選手権大会個人で優勝した崎山俊紀

## 愛媛県武道館落成

松山中央公園内に、国内屈指の規模を誇る愛媛県武道館が完成。名誉館長にはロサンゼルスオリンピック柔道無差別級金メダリストの山下泰裕氏が就任。これを記念して県内初の国際親善女子柔道大会が開催され、中国、キューバ、フランス、ドイツ、イタリア、韓国の6カ国と全日本に加えて愛媛選抜も参加した。佐野明日香、宮本樹理（共に帝京大-宇和島東高出）、宇高菜絵（愛媛短大）らが出場した愛媛選抜は、予選リーグで中国を破り3位に食い込む大健闘を見せた。柔道の世界選手権で棟田康幸（警視庁-松山市出身）が100キロ超級で金メダルを獲得。

お家芸のなぎなた都道府県対抗試合で、愛媛県チームが2年連続7回目の優勝を飾る。ゴルフの都道府県対抗アマチュア選手権で、愛媛チームが10年ぶり3度目のタイトルを獲得。個人でも崎山俊紀が栄冠を勝ち取った。松山北高出身の筒井和也投手（愛知学院大）が、プロ野球ドラフト会議で阪神から自由獲得枠で指名を受ける。



埼玉県でのなぎなた都道府県対抗試合で優勝を飾った愛媛なぎなた連盟のメンバー



全国高校総体の登山女子団体を制した今治西高のメンバー。左から村上、鳥生、檢垣、桑本

### 主な大会優勝

- ・全国都道府県対抗アマチュアゴルフ選手権大会個人 崎山俊紀（自営）
- ・全国都道府県対抗アマチュアゴルフ選手権大会団体 愛媛チーム
- ・全国高校総体ボート男子シングルスカル 井手雅敏（今治西高）
- ・全国高校選抜ボート、国体ボート男子ダブルスカル 今治南高
- ・全国高校総体登山女子団体 今治西高

# 2004

平成  
16年

## 愛媛県体協80周年

愛媛県体育協会創設80周年。2017年の第72回国民体育大会の愛媛単独開催が内々定。

アテネ五輪が開催され、愛媛県関係は過去最多の9人が出場。マラソンの土佐礼子(三井住友海上-松山大出)は真夏の過酷なレース条件の中、持ち前の粘りを見せ5位に入賞。ボートの男子軽量級ダブルスカルには武田大作(ダイキ)が3大会連続出場。ダイキからは、女子ビーチバレーの徳野涼子・楠原千秋も出場した。この他、クレール射撃の竹葉多重子(フジ)は2大会連続での出場。レスリング男子グレコローマン81キロ級の松本慎吾(一宮運輸)、陸上男子やり投げの村上幸史(スズキー今治明德高出)、サッカーの黒河貴矢(清水エスパルス-丹原東中出)、陸上男子1600mリレーの向井裕紀弘(西濃運輸-新居浜東高出)らがオリンピックとして名を連ねた。

柔道の福岡国際女子選手権57キロ級で、宇高菜絵(愛媛女子短大)が初の国際試合を制した。世界学生選手権でも57キロ級でも、宮本樹理(帝京大-宇和島東高出)が優勝を飾った。高校野球では済美高が創部2年目で選抜に初出場し優勝。夏の選手権でも駒大苫小牧(南北海道)に苦杯を喫したものの準優勝。野球王国の実力を示した。この年のドラフト会議では、甲子園で活躍した済美高の鶴久森淳志外野手が日本ハムから、高橋勇丞外野手が阪神から指名を受けた。また松山市の熱心な誘致活動が実り、この年から東京ヤクルトスワローズの秋季キャンプが、坊っちゃんスタジアムを中心に行われることとなった。

### 主な大会優勝

- ・国体弓道成年女子近的 愛媛県選抜チーム 水沼亜希子・宮本早苗・山中留美(ダイキ)
- ・国体ボート少年男子ダブルスカル 愛媛県選抜クルー 井出健二(今治南高)・井手雅敏(今治西高)
- ・全国高校総体、国体ボート少年女子かじ付き4人スカル 2冠 宇和島東高
- ・全国高校総体ボート男子ダブルスカル 今治北高(高橋裕司・別府晃至)
- ・全国高校総体陸上男子走り幅跳び・三段跳び 2冠 十亀慎也(新居浜東高)
- ・全国学生相撲選手権個人 吐合明文(近畿大-道後中出)
- ・世界空手道選手権男子個人組手70キロ級 永木伸児(帝京大-松山市出身)
- ・全日本アマチュアボクシング選手権バンタム級 高下優作(日大-新田高出)
- ・国体ヨット成年男子シングルハンダー級 岩本直彦(県セーリング連盟)

県体協80周年祝う  
松山県武道館で記念式典



記念講演するNHKの有働アツシロー

愛媛県体育協会80周年の記念式典の様子を伝える愛媛新聞(2004年1月21日付)

新鋭宇高(愛媛短大)57キロ級制覇

福岡国際女子柔道

足技さえ一本次々  
福見(48歳級大)は判定でV

驚きと感涙  
初の国際舞台制した宇高  
目標は北京



柔道の福岡国際女子選手権57キロ級で、宇高菜絵が初の国際舞台を制したことを伝える愛媛新聞(2004年12月14日付)(写真:共同通信社)

17年愛媛国体内々定

日本体育協会は6日、国民体育大会愛媛開催を決定した。2017年(平成29年)に開催される第72回国民体育大会は、愛媛県が初めて開催する。この大会は、愛媛県が初めて開催する。この大会は、愛媛県が初めて開催する。

2017年に愛媛国体の開催が内々定されたことを伝える愛媛新聞(2004年7月7日付)



全国大会を2度制した宇和島東高女子かじ付き4人スカルチーム(前列左から山下、増田、後列左から末広、小西、片山)



埼玉国体弓道成年女子近的で勝負強さを発揮して優勝を飾った県選抜の左から水沼、宮本、山中



念願の優勝を果たし、体全体で喜びをあらわせながら、アルプスタンド応援団にあいさつに向かう済美ナイン



愛媛国体に向けて事業計画などを決めた国体・愛媛県準備委員会設立総会

# 2005

平成  
17年

## 第72回国体準備委発足

第72回国体大会愛媛県準備委員会が発足。えひめ国体競技力強化支援基金(ひめっこ基金)の活動を開始。07年度末には目標の2倍にあたる10億円を達成。えひめ国体に向けジュニア選手強化を考える大会を開催。

野球の独立リーグ、四国アイランドリーグが発足。愛媛にも坊っちゃんスタジアムをホームとするマンダリンパイレーツが誕生し、年間180試合を戦った。一方、プロ野球のドラフト会議には、早大の越智大祐投手(新田高出)、創価大の梅田浩外野手(松山商高出)、大体大の高木啓充投手(宇和島東出)、が指名を受け入団。済美高の福井優也投手も巨人から指名を受けたが辞退した。全国高校選抜剣道大会男子団体で帝京第五高が優勝。ボートのワールドカップ・ルツェルン(スイス)大会男子軽量級シングルスカルで、武田大作(ダイキ)が金メダルを獲得。日本人で初のW杯優勝の偉業。全国高校選抜では女子かじ付きスカルで、宇和島東高と今治南高が1、2位を独占。国体の弓道少年男子近的で愛媛県チームが抜群の成功率で、本県に18年ぶりの栄冠をもたらす。ボクシング東洋太平洋ライトフライ級タイトルマッチに松山市出身の升田貴久(三迫)が挑戦し、チャンピオンの山口真吾(渡嘉敷)を判定で破り、新王者に。

愛媛FCがJFLで優勝を飾り、J2リーグ入りを決める。



JFLを初制覇して喜ぶ愛媛FCイレブン



四国アイランドリーグ開幕。歓声に応えるマンダリンパイレーツの選手



愛媛FCのJリーグ昇格決定を受け、喜ぶ友近主将(右)と亀井社長(中央)、加戸知事



全国選抜剣道大会男子団体で優勝した帝京第五高剣道部

東洋太平洋ライトフライ級タイトルマッチで新王者になった升田貴久を伝える愛媛新聞(2005年8月26日付)

# 2006

平成  
18年

サッカーの愛媛FCが悲願のJ2参戦。1年目で9位と健闘し、全国に存在感をアピールした。一方、ワールドカップ・ドイツ大会にはJ1ジュビロ磐田の福西崇史(新居浜工高出)が日韓大会に続いて出場。

アジア大会(ドーハ)では柔道男子100キロ超級の棟田康幸(警視庁-松山市出身)が釜山大会に続き2連覇。ボート男子軽量級シングルスカルの武田大作(ダイキ)、陸上男子やり投げの村上幸史(スズキー-今治明德高出)も銀メダルに輝いた。大相撲では西予市出身の玉春日が、名古屋場所で幕内自己最多の11勝。2度目の技能賞に輝いた。

ソフトテニスでは少年勢の活躍が相次いだ。兵庫国体では少年男子が初優勝。女子は松山商高が全国高校選抜で3位となり、インターハイでも準優勝の好成績を残した。柔道では高校生の活躍が光った。インターハイでは男子73キロ級で中矢力(新田高)が優勝。81キロ級で山辺雄己と48キロ級の浅見八瑠奈(共に新田高)が準優勝。国体少年男子でも31年ぶりに決勝に進み、準優勝を手にした。

スノーボード・ハーフパイプ全日本ジュニア選手権で、青野令(スノーフレンズ・松山城南高)が3連覇。スイスで行われる世界選手権の日本代表に本県から初めて選ばれた。東京国際女子マラソンでアテネ五輪5位の土佐礼子(三井住友海上-松山大出)が、シドニー五輪金メダリストの高橋尚子との一騎打ちを制し初優勝。プロ野球ヤクルトスワローズの岩村明憲(宇和島東高出)が、米大リーグ、デビルレイズへの移籍が決定。県人初の大リーガーが誕生。

## 主な大会優勝

- ・全国高校総体レスリング 66キロ級、国体少年グレコローマンスタイル 66キロ級 2冠 中野裕仁(今治工高)
- ・全国高校選抜ボート大会女子かじ付き4人スカル 宇和島東高
- ・全国高校総体弓道女子個人 白石唯(松山北高)
- ・全日本学生弓道選手権大会女子団体 松山大
- ・全国中学校体育大会男子バレーボール 余土中
- ・全日本学生なぎなた選手権大会団体 松山大
- ・全日本学生柔道体重別選手権大会男子 66キロ級 榎本収(東海大-新田高出)

## 最強戦士 独へ加速

**W杯代表選手決定**

**豊富な経験 高い技術**

**福西「全部出たい」**

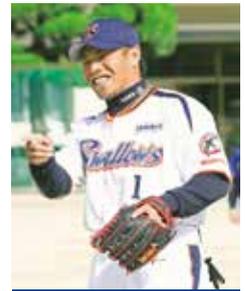
サッカーのワールドカップ・ドイツ大会の代表選手となった福西崇史を伝える愛媛新聞(2006年5月16日付)(写真:共同通信社)



サッカーW杯の日本代表選出に決り、愛媛で記者会見する福西崇史選手(16日午後、静岡市清水市)



東京国際女子マラソンで金メダルを胸に優勝を喜ぶ土佐礼子(左)



県人初の大リーガー・岩村明憲。地元宇和島での野球教室で笑顔を見せる



全国中学校体育大会・男子バレーボールで日本一に輝いた余土中学校



兵庫国体ソフトテニス少年男子で、初の全国優勝を果たした県選抜チーム



全日本学生弓道選手権大会で初の大学日本一になった松山大メンバー



全国高校総体ソフトテニス。最終ペアの柏原・崎山の活躍に大喜ぶ松山商メンバー



秋田国体成年男子ダブルスカルで優勝した篠原潤一（左）と武田大作

小学生能力発掘育成事業～キッズかけっこ塾&タイムトライアルを開始。（県事業）

女子マラソンの土佐礼子（三井住友海上－松山大出）が、大阪で開かれた世界陸上で日本人トップの銅メダルに輝き、翌年の北京五輪日本代表の座を射止めた。柔道の棟田康幸（警視庁－松山市出身）がブラジルで開かれた世界柔道選手権無差別級で優勝。今大会の男子では唯一の金メダルで、すべて一本勝ちの圧倒的な強さで二度目の世界一となった。

米大リーグのデビルレイズに入団した岩村明憲（宇和島東高出）は、開幕戦から出場し規定打席をクリア。打率2割8分5厘の成績を残した。

秋田国体弓道少年女子遠の愛媛選抜（越智真実・鶴身智江・高須賀碧栄）が優勝。国体ボート成年男子ダブルスカルでも、愛媛選抜（篠原潤一・武田大作）が優勝。ボート少年女子シングルスカルでも杉原参智（今治北高）が優勝。アジアジュニアボート選手権では、男子ダブルスカルで西村光生（宇和島水産高）が優勝。柔道女子48キロ級で浅見八瑠奈（山梨学院大－新田高出）が、ベルギー国際、フランスジュニア国際、全日本ジュニア、講道館杯全日本体重別選手権大会の4冠。新田高の津村美希も52キロ級で、インターハイと韓国国際大会の2冠。アジアジュニア柔道選手権では、新田高の山辺雄己が81キロ級で優勝。スノーボードW杯男子ハーフパイプで、青野令（松山城南高）が日本人男子初となる種目別優勝を果たす。

高校野球では今治西高が活躍。春の選抜大会ではベスト16、夏の選手権ではベスト8。3度目の正直とも言える国体では、決勝で広陵（広島）と対戦し、同校にとって26年ぶり2度目の優勝を果たした。



浅見八瑠奈

柔道の講道館杯全日本体重別選手権第1日は17日、千葉市の千葉ポートアリーナで女子7階級を争った。48キロ級の浅見八瑠奈（山梨学院大）が初優勝した。52キロ級は48キロ級から階級を上げて初の大大会となった18歳の中村美里（東京・渋谷教育渋谷高）が初優勝した。

## 浅見

（新田高）  
（山梨学院大）

## 初優勝

講道館杯柔道  
女子48キロ級

勝機逃さなかった浅見八瑠奈選手の話  
初戦は一本勝ちしたものの、徐々に決勝と準決勝は

70キロ級は渡辺美奈（コマツ）が決勝で9月の世界選手権リリオデジャネイロ代表の岡明（コマツ）に一本勝ちし、78キロ級の立山真衣（東海大）とともに2連覇を達成した。中村は準決勝で昨年優勝の君島奈津子（警視庁）を破り、決勝は垣田恵利（武庫川女大）に延長の末、優勢勝ちした。勝機逃さなかった

浅見八瑠奈が講道館杯全日本選手権の優勝を伝える愛媛新聞（2007年11月18日付）（共同通信配信）



津村 美希

## 津村（新田高）が優勝

柔道韓国国際大会女子52キロ級

11月30日と1日の両日、柔道の韓国国際大会が、延慶寺（延慶寺）で行われ、女子52キロ級で新田高3年、津村美希が優勝した。男子81キロ級では新田高出の法真（法真総合高）が優勝した。津村は初戦と準決勝で各7階級に1人ずつがエントリ。津村は4選手

津村美希が韓国国際大会の優勝を伝える愛媛新聞（2007年12月4日付）

越智校長（左）から選抜出場決定の報告を受ける今治西ナイン



スノーボード・ワールドカップ男子ハーフパイプ種目別優勝した青野令

世界陸上女子マラソンで銅メダルを獲得し、笑顔で手を振る土佐礼子

### 主な大会優勝

- ・全国高校総体ボート男子シングルスカル 越智元太（今治西高）
- ・世界ジュニア・カデット空手道選手権大会カデット形 紺屋沙也乃（聖カタリナ女子高）

# 2008

平成  
20年

創部2年目の三島高フェンシング部が、春の選抜大会とインターハイでタイトルを獲得。大分国体でも準優勝を果たした。個人でもインターハイのフルレで平石典子が県人初の優勝、エペでも林真央が準優勝と三島旋風を巻き起こした。

北京五輪には陸上やボートなど6競技に7選手が出場。サッカーの長友佑都（FC東京-西条北中出）が初出場。全国高校選抜剣道大会男子団体で、帝京第五高が代表戦の末近畿王者の育英を破り、3年ぶりの頂点に返り咲き。四国・九州アイランドリーグ。愛媛マンダリンパイレーツは後期、投手陣が安定し、球団創設4年目で初のタイトルを手にした。四国六大学野球リーグで、愛媛大が春季リーグで31季ぶりの優勝。全日本大学選手権に国立大で唯一出場。高校野球では秋季四国大会で西条高と今治西高の県勢が決勝で対決。優勝した西条は神宮大会でも4強入りし、愛媛のレベルの高さを見つけた。



全国高校総体を制し、全国2冠に輝いた三島高フェンシング部のメンバー

松山市内のホテルで行われた北京五輪激励会の様子を伝える愛媛新聞（2008年6月27日付）

**ボート・武田 「必ずメダル」**  
 松山で五輪激励会  
 北京五輪のボート男子軽量級ダブルスカルに出場する武田大作選手とタイキの敵手三浦大輔が、松山市内のホテルで、松山選手は「必ずメダルを取って帰る」と力強く宣誓した。博愛高校や母校

愛媛大の関係者ら約200人が出席。加戸守一が「かかると思うが、本心にメダルを期待している」と激励した。武田選手は「今が競技人生で一番最強（五輪）でいるので、一番を目標にしたい」と連続4度目となる五輪に向けて抱負を語った。この日は武田選手の活躍を願い、タイキ本社（松山市美浜1丁目）が幅2・6びの懸垂幕もつり下げられた。

北京五輪での活躍を賀う武田＝松山市内



全国高校選抜剣道大会で3年ぶりにタイトルを勝ち取った帝京第五高メンバー



球団初の優勝を決めて喜びを爆発させる愛媛MPナイン

## 主な大会優勝

- ・スノーボードワールドカップ郡上大会男子ハーフパイプ 藤田一海（未来高）
- ・国体ボート少年男子ダブルスカル 愛媛選抜（秋山優樹・山田広之）
- ・全国高校総体女子シングルスカル 首藤多佳子（今治北高）
- ・全国高校総体、国体少年男子レスリンググレコローマン男子 66 キロ級で2冠 花山和寛（八幡浜工高）
- ・国体重量挙げ成年 85 キロ級スナッチ 遠藤裕輝（九州国際大-新居浜工高出）
- ・日本ジュニア・ユース陸上選手権大会女子ユースハンマー投げ 山崎詩歩（今治明德高）

# 2009

世界陸上ベルリン大会男子やり投げで村上幸史が銅メダルの快挙を伝える愛媛新聞(2009年8月25日付)(写真:共同通信社)

## 会心の一投 壁破る

世界陸上やり投げ村上「銅」



### 未知の舞台 集中力発揮

男子やり投げで銅メダルを奪った村上幸史(右)は、愛媛県大洲市出身。大会で銅メダルの快挙を達成した村上幸史(右)は、愛媛県大洲市出身。大会で銅メダルの快挙を達成した村上幸史(右)は、愛媛県大洲市出身。

ベルリン大会男子やり投げ決勝で村上幸史(右)は、愛媛県大洲市出身。大会で銅メダルの快挙を達成した村上幸史(右)は、愛媛県大洲市出身。大会で銅メダルの快挙を達成した村上幸史(右)は、愛媛県大洲市出身。

スノーボード世界選手権で日本人初の優勝を果たした青野令



世界陸上ベルリン大会で、村上幸史(スズキー今治明德高出)が、日本人初の銅メダルを獲得。歴史的偉業に全国から祝福の声が上がった。

スノーボード男子ハーフパイプの青野令(松山城南高-松山大)が、韓国で行われた世界選手権で初優勝。日本のスノーボード選手で、五輪も含めて初の世界一に立った。

男子レスリングでは八幡浜工高が健闘。全国高校選抜大会では団体で3位、個人でも60キロ級の近藤達矢が優勝、66キロ級で花山和寛が準優勝。インターハイでも団体でベスト8入りし、近藤と花山は各階級を制覇した。女子でも全日本選手権72キロ級で宇和島東高出の佐野明日香(自衛隊)がタイトルを獲得。松山西中出の村田夏南子(東京・安部学院高)もアジアアカデット選手権60キロ級で優勝し、全日本女子連盟の年間最優秀選手に選ばれた。高校野球では西条高が春夏連続して甲子園に出場。最速150キロの直球を武器にチームをけん引した秋山拓巳投手は阪神タイガースからドラフト4位で指名を受ける。帝京第五高の平井諒投手もヤクルトから指名を受けた。



レスリング少年グレコローマンスタイルで活躍した八幡浜工高の3選手。左から同50キロ級2位の玉城、同60キロ級優勝の近藤、同66キロ級優勝の花山

### 主な大会優勝

- ・国体フェンシング少年女子 愛媛選抜
- ・全国高校総体ボート男子ダブルスカル 宇和島水産高(酒井達紀・松岡真)
- ・国体レスリンググレコローマン60キロ級など主要4冠 近藤達矢(八幡浜工高)
- ・全国高校総体フェンシング女子フルーレ 森美里(三島高)
- ・全国高校総体自転車スクラッチ 横内裕人(松山聖陵高)
- ・競泳ジャパンオープン男子50m バタフライ 大野孝之(中京大-宇和島東高出)
- ・国体ボウリング少年男子個人 虎尾貴之(松山城南高)
- ・国体トライアスロン成年男子 佐藤治伸(日本食研)
- ・国体トライアスロン成年女子 崎本智子(日本食研)

# 2010

平成  
22年

愛媛マラソンが、陸連への登録が無くても参加できる市民マラソンに生まれ変わり、3490人が伊予路を駆け抜けた。

サッカーワールドカップ南アフリカ大会にDF長友佑都（西条北中出）が日本代表として初出場。4試合に出場し日本のバス16入りに貢献した。東京で行われた柔道の世界選手権女子48キロ級で浅見八瑠奈（山梨学院大ー新田高出）が初優勝。

ゴルフのアジア・アマチュア選手権で松山市出身の松山英樹（東北福祉大）が初優勝。日本人アマチュア選手として初めて、世界四大メジャー大会のマスターズ・トーナメント（米国）への出場権を手にした。

高校スポーツでは宇和島東高勢が全国の舞台で躍動した。インターハイ男子柔道90キロ級で村上亮が優勝。高校野球選手権では、上甲正典監督率いる済美に決勝でサヨナラ勝ちを収め11年ぶりに夏の甲子園に出場。全国高校駅伝では2年連続出場の男子チームが都大路でたすきをつないだ。サッカー部もインターハイで1勝をあげ、52年ぶりに冬の選手権出場を果たした。



市民マラソンに生まれ変わった愛媛マラソン。3490人が一斉にスタートする



高校サッカー決勝戦【宇和島東ー松山工】後半36分、宇和島東・有間（右）が追加点を決め、2ー0とする



広州アジア大会の陸上男子やり投げで優勝し、日の丸を手に笑顔を見せる村上亮（写真：共同通信社）



全国高校駅伝で県高校記録更新を目指す宇和島東



柔道世界選手権女子48kg級決勝 福見友子（左）と競り合う浅見八瑠奈（写真：共同通信社）



サッカーワールドカップ南アフリカ大会のデンマーク戦でボールをキープする長友佑都（写真：共同通信社）

## 主な大会優勝

- ・全国高校選抜ボート大会男子ダブルスカル 今治西高（山本尚典・越智雄介）
- ・全国高校総体ボート女子ダブルスカル 今治西高（白石愛理・谷川早紀）
- ・国体ボート少年女子かじ付き4人スカル 愛媛選抜チーム
- ・国体ボート少年男子かじ付き4人スカル 愛媛選抜チーム
- ・全日本アマチュアボクシング選手権ライトウエルター級 福森雄太（近畿大ー松山聖陵高出）
- ・全国高校総体自転車個人ロードレース 小橋勇利（松山工高）
- ・全国高校総体陸上女子七種競技 高須賀真子（聖カタリナ女子高）
- ・国体陸上少年男子共通走り高跳び 高須賀俊徳（松山北高）
- ・世界ジュニア柔道選手権女子78キロ超級 井上愛美（新田高）
- ・全国中学校体育大会競泳男子200m自由形 三好悠介（三瓶中）

# 2011

平成  
23年



柔道世界選手権男子73kg級準決勝で秋本啓之を破った中矢力(下)(写真:共同通信社)



マスターズで通算1アンダーの27位でベストアマに輝いた松山英樹のティショット(写真:共同通信社)



新設した「愛媛FCレディース」合同練習に励む



全国中学校駅伝大会で優勝した新居浜東中のメンバー(写真:共同通信社)

## 主な大会優勝

- ・全国高校総体ボート男子ダブルスカル 宇和島東高
- ・国体ボート少年男子かじ付き4人スカル 愛媛選抜チーム
- ・全国中学校駅伝大会女子 新居浜東中
- ・全日本大学ボート選手権大会男子シングルスカル 田頭知也(松山大)
- ・日本学生陸上対校選手権大会女子100m障害 伊藤愛里(関西大-済美高出)
- ・日本学生陸上対校選手権大会女子3000m障害 高柳恵(松山大)
- ・全日本学生レスリング選手権大会グレコローマンスタイル60キロ級 泉武志(日本体育大-八幡浜工高出)
- ・世界ジュニアレスリング選手権大会女子55キロ級 村田夏南子(東京・安部学院高-松山西中出)
- ・全国高校総合体育大会柔道男子66キロ級 高市賢悟(新田高)
- ・全国高校総合体育大会重量挙げ53キロ級スナッチ、ジャーク、トータル、国体少年53キロ級ジャーク、トータル 権田達也(新居浜工高)

## 公益財団法人に

(財)愛媛県体育協会から公益財団法人愛媛県体育協会に組織名を変更した。

柔道の世界選手権(パリ)で、新田高出身の2人が金メダルを獲得。男子73キロ級では中矢力(東海大)が初出場で初優勝。女子48キロ級の浅見八瑠奈が2連覇。12月のグランドスラム東京大会でも栄冠に輝いた。ゴルフでは19歳の松山英樹(東北福祉大)が大舞台で躍動した。マスターズでは日本人史上最年少で予選を通過し、27位でベストアマに輝いた。三井住友VISA太平洋マスターズでは、プロを抑えて日本ツアー史上3人目のアマ優勝の快挙を成し遂げた。ユニバーシアード冬季大会(トルコ)スノーボード男子ハーフパイプで、初出場の青野令、藤田一海の松山大コンビが、ワンツーフィニッシュの快挙。愛媛FCが新設した女子の「愛媛FCレディース」が四国リーグで6戦全勝。なでしこリーグ下部のチャレンジリーグ昇格を果たした。

世界なぎなた選手権大会女子個人で池見敬子(堀江会)が優勝。12年ぶりに世界女王に返り咲いた。10年ぶりに愛媛で開催された、全国都道府県対抗アマチュアゴルフ選手権団体で、愛媛A(二宮慎堂・八板護・村上敦)が優勝。



全国都道府県対抗アマチュアゴルフ選手権でプレーする村上敦のティショット

# 2012

平成  
24年

## 愛媛国体内定

2017年の国体開催地に愛媛県が正式内定。四国4県で行った1953年の第8回大会以来64年ぶり。単独では初の国体開催となる。

10年ぶりにプロ野球オールスターゲームが坊っちゃんスタジアムで行われ、2万5千人が「球宴」に酔いしれた。ロンドン五輪で柔道男子73キロ級の中矢力(新田高出)が銀メダルを獲得し、県勢28年ぶりのメダリストが誕生した。JFL昇格を目指し運営母体を変えて再スタートしたFC今治が、天皇杯2回戦でJ1優勝の広島に2-1で勝利する大金星を挙げる大躍進。ゴルフの全国都道府県対抗アマチュア選手権(山梨県・富士桜CC)の団体戦で、愛媛チーム(二宮慎堂・森内信隆・小川貴大)が連覇を達成。過去最多となる5度目の頂点に立ち、愛媛の競技力の高さを示した。お家芸のボートでは、全国高校選抜大会ボート女子ダブルスカルで今治西高校チームが、岐阜国体ボート少年男子かじ付き4人スカルで愛媛選抜チームが、岐阜国体ボート少年女子かじ付き4人スカルで愛媛選抜チームが、それぞれ優勝を果たした。



2017年愛媛国体の開催内定書を張富士夫日本体育協会会長(右)から受け取る中村時広知事



天皇杯2回戦でJ1広島に勝利し、喜ぶFC今治イレブン



ゴルフの全国都道府県対抗アマチュア選手権団体で2連覇した愛媛県メンバー(写真:共同通信社)



ロンドンオリンピックの表彰式で銀メダルを首にかけて国旗を見つめる中矢力

### 主な大会優勝

- ・柔道全国高校選手権大会男子73キロ級 村上洋平(新田高)
- ・全国中学校体育大会ソフトボール男子 重信中
- ・フリースタイルフットボール世界大会 徳田耕太郎(帝京大-帝京第五高出)



男子ゴルフツアーで史上初のプロ1年目での賞金王を決め、笑顔でボードを掲げる松山英樹(写真:共同通信社)

# 2013

平成  
25年

ゴルフの松山英樹が、男子ツアー初となるプロ1年目での賞金王に。獲得金額も史上3人目の2億円超えを達成した。

仙台市で行われた全日本大学女子駅伝で、創部6年目の松山大が過去最高の3位に入った。スタートからの4区間を1年生が担当。1区の上原が2位につけると、2区三島も区間2位の快走をみせた。5区で3位となったが、4年生のアンカー菊地で逃げ切った。

9年ぶりに春の選抜大会へ出場した済美。エース安楽を軸に随所に勝負強い打撃を見せ、準優勝を果たした。決勝の浦和学院(埼玉)には大差で敗れたが、安楽の772球に及ぶ力投は、全国の高校野球ファンに鮮烈な印象を残した。ロンドン五輪銀メダルの男子73キロ級中矢力は、11月末のグランドスラム東京大会で優勝した。女子48キロ級の浅見八瑠奈は2月のグランドスラム・パリ大会で頂点に。インターハイ男子ソフトボールでは松山工が県勢初の全国制覇を達成。決勝では攻守に粘り強いプレーで終盤に逆転した。



全国高校総体男子ソフトボール。松山工一興国で躍動感あるフォームで力投した角谷投手



全日本大学女子駅伝で過去最高の3位でゴールする松山大の菊地里江



春の選抜大会閉会式で場内一周する準優勝の済美高の選手(写真:共同通信社)

## 主な大会優勝

- ・全国高校弓道選抜大会女子団体 大洲高
- ・全日本学生弓道選手権大会女子個人 弓立佳奈(同志社大-新田高出)
- ・全国高校弓道選抜大会男子個人 宮下恭輔(宇和島東高)
- ・全国高校選抜ボート大会女子ダブルスカル 松山東高(小原有賀・久門愛菜)
- ・国体ボート少年女子かじ付き4人スカル 愛媛選抜チーム
- ・全国高校総体柔道女子個人78キロ超級 月波光貴穂(新田高)
- ・全日本ジュニア体重別相撲選手権大会80キロ以上100キロ未満級 山口清澄(野村高)
- ・国体陸上少年男子Aやり投げ 相原大聖(今治明德高)
- ・国体ライフル射撃少年女子チーム・ピストル 篠浦玲子(伊予農高)
- ・国体クレー射撃スキート個人で泉勝彦(泉建具店)

# 2014

平成  
26年

## 愛媛国体開催決定

日本体育協会理事会において第72回国体を愛媛県で開催することを正式に決定。

柔道世界選手権(ロシア)女子57キロ級で宇高菜絵(コマツ-西条市出身)が延長にもつれた決勝を僅差で制し、待望の初優勝。男子73キロ級の中矢力(新田高出)も2大会ぶりに優勝した。長崎国体では高市賢悟も含め優勝した。

ゴルフの松山英樹が6月に米オハイオ州であったメモリアル・トーナメントで、米ツアー初優勝を果たした。最終世界ランキングは日本勢で最上位の16位となるなど飛躍を遂げた。ゴルフの全国都道府県対抗アマチュア選手権で愛媛チーム(小川貴大、続木仁、羽藤悟志)が最多更新となる2年ぶり6度目の優勝。県内で活動する社会人野球のクラブチーム、松山フェニックス(PX)が、発足15年目で念願の都市対抗大会に出場した。東京ドームで行われた本大会でもナインは躍動、初勝利も挙げた。

サッカー四国リーグのFC今治のオーナーに、元日本代表監督の岡田武史氏が就任。10年後に「J1で優勝争いをする」と明確な目標を掲げ、サッカーを通じた地域活性化にも貢献していく方針を掲げた。最速157キロの速球派右腕、済美高の安楽智大がドラフト会議で楽天から1位指名を受け、入団が決まった。



柔道世界選手権で個人や団体で獲得したメダルを持つ(左から)高市賢悟、中矢力、宇高菜絵の県出身3選手



長崎国体ボウリング少年女子個人決勝。第1ゲーム、連続ストライクを取る泉宗心音



米メモリアル・トーナメントで優勝を決め、ホストのジャック・ニクラウス氏(右)から祝福される松山英樹(写真:共同通信社)



都市対抗野球大会の本大会出場を決め千原監督を胴上げして喜ぶ松山PXナイン

### 主な大会優勝

- ・全国高校選抜自転車大会男子ポイントレース 武智気吹(松山中央高)
- ・全国高校総体陸上男子やり投げ、国体陸上少年男子Aやり投げ 森秀(今治明德高)
- ・国体ボート成年女子かじ付き4人スカル 愛媛選抜チーム
- ・世界ユースボウリング選手権大会女子オールイベント、国体ボウリング少年女子個人 泉宗心音(松山東中)
- ・全日本学童軟式野球大会 和気軟式野球クラブ
- ・全国高校少林寺拳法選抜大会女子自由組演武 北宇和高(西野裕理・西野ちはる)
- ・全国高校総体なぎなた演技の部 北条高(高松千滉・大内梨紗)
- ・都道府県対抗全日本中学生男子ソフトボール大会 愛媛選抜



和歌山国体ソフトボール少年男子決勝で、競り勝って優勝を決め笑顔で整列に向かう愛媛選抜ナイン

# 2015

平成  
27年

愛媛国体の開催が迫る中、和歌山国体で愛媛勢が躍動した。自転車男子チームスプリント愛媛選抜チーム、ソフトボール少年男子愛媛選抜チーム、ボウリング少年女子団体（泉宗心音・越智真南）、自転車成年男子1キロタイムトライアル、重量挙げ少年男子53キロ級ジャーク・トータルの川上高輝（新居浜工高）、アーチェリー少年女子個人の奥村佳子（松山東雲高）、セーリング成年女子国体ウインドサーフィン級の小嶺恵美（一宮グループ）が優勝を果たし、天皇杯（男女総合）順位は前年の21位から13位へと躍進した。



和歌山国体自転車男子チームスプリントで優勝した愛媛選抜メンバー

サッカーJ2の愛媛FCがリーグ戦を過去最高の5位で終え、J1昇格プレーオフ（PO）へ初進出する大躍進を遂げた。11年目のペナントレースを戦った愛媛マダリンパイレーツ。後期優勝から念願の総合優勝、「独立リーグ日本一」と階段を駆け上がった。選抜高校野球には6年ぶりに2校が出場。今治西は桐蔭（和歌山）を破り初戦突破。21世紀枠で82年ぶりの出場となった松山東も二松学舎大付（東京）との初戦に競り勝った。8年連続で全日本大学女子駅伝（10月・仙台市）に出場している松山大が2年ぶりに3位入賞を果たした。

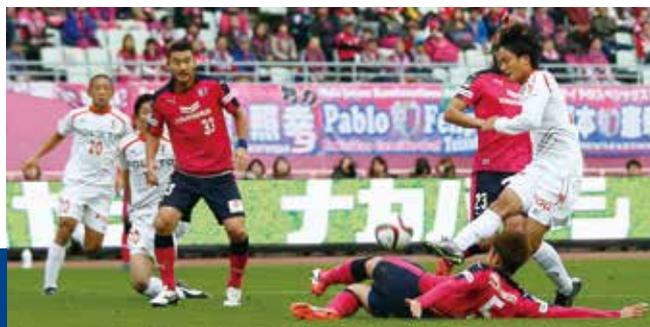


選抜高校野球、松山東1回戦・二松学舎大付戦。約7千人の大応援団でグリーンに染まった三塁側アルプス席

県内初のプロバスケットボールチーム「大分・愛媛ヒートデビルズ」が誕生した。



初の独立リーグ日本一を決め、宏誓主将らチーム関係者を胴上げして喜ぶ愛媛MPナイン



プレーオフ決勝進出を懸け、C大阪を相手に白熱した試合を繰り広げる愛媛FCイレブン

## 主な大会優勝

- ・全国高校総体柔道男子個人 73 キロ級、全国高校柔道選手権大会男子個人 73 キロ級 立川新（新田高）
- ・全国高校生銃剣道大会個人戦女子 西福杏梨（東温高）
- ・日本陸上競技選手権大会女子 3000m 障害、日本学生陸上競技個人選手権大会女子 3000m 障害 高見沢安珠（松山大）
- ・日本学生陸上競技対校選手権大会女子 3000m 障害 三島美咲（松山大）
- ・日本学生女子ハーフマラソン選手権大会 上原明悠美（松山大）
- ・全日本学生レスリング選手権大会グレコローマンスタイル 130 キロ級、フリースタイル 125 キロ級 津田大健（中京学院大-八幡浜工高出）

# 2016

平成  
28年

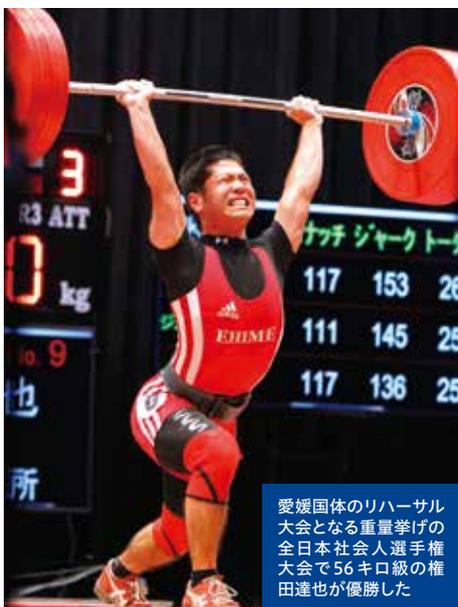
## 愛媛国体リハーサル

翌年に控えた愛媛国体に向けて、関係団体が運営などを確認するリハーサル大会が37の競技で行われた。

岩手国体ではラグビー成年男子、サッカー女子、テニス成年女子(波形純理、長谷川菜美)ゴルフ成年男子個人・小川貴大(有貴工業)が種目として初優勝。ボート少年男子かじ付き4人スカル、弓道少年女子近的、陸上少年女子共通三段跳び・尾崎サキ(聖カタリナ学園園高)、ボクシング成年男子ミドル級・高橋諒(県競技力向上対策本部)も優勝を勝ち取った。

松山大女子駅伝部が2008年の創部から毎年出場してきた全日本大学女子駅伝(10月・仙台市)で悲願の初優勝を成し遂げた。リオデジャネイロ・パラリンピック柔道女子57キロ級で広瀬順子(松山市在住)が銅メダルに輝く。男子プロバスケットボールのBリーグが開幕。県内では初の愛媛を単独本拠地とする愛媛オレンジバイキングスが始動。

サッカーFC今治は日本フットボールリーグ(JFL)「必昇」を目標に四国リーグを2連覇し、2位以内が昇格条件だった全国地域チャンピオンズリーグでも優勝。12月にJFLの理事会で入会が正式に決定した。プロ野球独立リーグの愛媛マンダリンパイレーツは昨年に引き続き躍動。前期、後期、チャンピオンシップを制する完全優勝を果たした。高校野球では夏の甲子園に松山聖陵が初出場。アドゥワ誠投手はドラフト会議で広島から指名を受けた。



愛媛国体のリハーサル大会となる重量挙げの全日本社会人選手権大会で56キロ級の権田達也が優勝した



愛媛国体のリハーサル大会を兼ねた全国都道府県対抗ボウリング選手権で3位に入った大下耕平



なごなたの愛媛国体リハーサル大会となる都道府県対抗大会で愛媛勢の活躍を伝える愛媛新聞(2016年5月30日付)



愛媛国体のリハーサル大会となる陸上の四国選手権兼四国4県対抗大会で愛媛の選手の記録を報じる愛媛新聞(2016年8月29日付)



岩手国体サッカー女子決勝、愛媛-新潟 延長後半にシュートを狙う大矢(9)



岩手国体テニス成年女子で初優勝を飾った愛媛の波形純理(左)と長谷川菜美



岩手国体ラグビー成年男子決勝で前半開始直後、愛媛・城戸(右)が先制トライ



岩手国体ボクシング成年男子ミドル級決勝でパンチをヒットさせる高橋諒(左)



岩手国体ゴルフ成年男子で初優勝を飾った愛媛の小川貴大



全日本大学女子駅伝の表彰式後、初優勝に笑顔みせる松山大学女子駅伝部

### 主な大会優勝

- ・全国高校選抜ボート大会、全国高校総体女子ダブルスカル 今治西高
- ・都道府県対抗なぎなた大会演技 愛媛選抜チーム(君原恵理香・長沢美咲)
- ・全日本小学生男子ソフトボール大会 鬼北ジュニア
- ・全日本軟式野球大会 オール愛媛
- ・全国都道府県対抗ボウリング選手権大会混合2人チーム戦 愛媛Bチーム(大下耕平・越智真南)
- ・日本学生女子ハーフマラソン選手権大会 緒方美咲(松山大)
- ・全国高校重量挙げ競技選抜大会女子 75 キロ超級、全国高校女子重量挙げ競技選手権 75 キロ超級 前田早菜(新居浜南高)
- ・柔道アジア選手権男子 100 キロ超級 影浦心(東海大-新田高出)
- ・全日本学生重量挙げ個人選手権大会男子 105 キロ級、全日本学生重量挙げ選抜大会男子 94 キロ級  
矢葺士(九州国際大-新居浜南高出)
- ・全日本選抜レスリング選手権男子グレコローマンスタイル 71 キロ級 梅野貴裕(八幡浜工高職)
- ・東アジアシニア空手道選手権大会シニア男子組手 84 キロ超級 本田哲也(県競技力向上対策本部)
- ・全日本自転車選手権個人タイムトライアル・ロードレース大会男子U 17 + U 15、全日本シクロクロス選手権男子ジュニア  
日野泰静(松山城南高)
- ・全国高校総体相撲個人 山口怜央(津島高)
- ・全国高校総体レスリング男子 96 キロ級 久保諒汰(八幡浜工高)
- ・全日本大学対抗選手権自転車競技大会男子個人ロードレース 野本空(明治大-松山工高出)
- ・日本学生陸上競技対校選手権大会女子 5000m 中原海鈴(松山大)
- ・全日本女子オープンレスリング選手権高校生部 70 キロ級 宮道りん(今治工高)
- ・冬季国体スノースケート成年女子 500m、1000m 郷亜里砂(県競技力向上対策本部)

# 2017

平成  
29年

## えひめ国体

第72回国民体育大会「愛顔(えがお)つなぐえひめ国体」が9月30日から10月10日、全国の選手団約2万8千人が参加して盛大に行われた。県内での開催は64年ぶり、愛媛単独では初の開催となった。愛媛からも962人の選手団が全競技に出場。男女総合、女子総合ともに2位の成績を取めた。愛媛は東京に139.5点差で敗れ、目標の天皇杯獲得(男女総合優勝)はならなかったが、優勝数は41にのぼり、2016年岩手国体の4倍以上と躍進。長年の競技力向上の成果が表れた。

国体の優勝種目は以下の通り。弓道成年男子遠的、弓道少年女子近的、ビーチバレー男子、剣道成年男子、剣道成年女子、剣道少年男子、剣道少年女子、なぎなた成年演技、なぎなた少年演技、なぎなた少年試合、テニス成年男子、テニス成年女子、ソフトボール成年男子、ソフトボール成年女子、山岳成年男子リード、セーリング成年女子セーリングスピリッツ級、銃剣道少年男子、体操成年男子、ボート成年女子ダブルスカル、ボート少年男子かじ付き4人スカル、柔道女子、空手成・少年男女共通組手団体。

10月28日から3日間、県内で初となる全国障害者スポーツ大会「愛顔(えがお)つなぐえひめ大会」が開かれた。愛媛県選手団約450人を含む47都道府県と20政令指定都市の選手団や観客ら総勢2万1千人が参加。台風接近で一部の運営に影響も出たが、スポーツの楽しさを分かち合い、障害への理解を深める大会となった。身体、知的、精神障害の選手が県内9市町で13競技と三つのオープン競技を実施。県勢が獲得した個人競技のメダル総数は過去最多の121個(金54、銀30、銅37)に上り、団体でもグランドソフトボールが優勝した。

サッカー女子プレナスなでしこリーグ2部の愛媛FCレディース(L)からクラブ史上初めて、FW大矢歩と上野真実が日本代表選手に選出。台北などで行われたユニバーシアード夏季大会柔道男子100キロ超級で影浦心(東海大-新田高出)が日本勢第1号の金メダルを獲得。男子73キロ級の立川新(東海大-新田高出)と姉で女子52キロ級の莉奈(福岡大-四国中央市出身)もそろって優勝。サッカー日本フットボールリーグ(JFL)FC今治の専用スタジアム「ありがとうサービス。夢スタジアム」(夢スタ)が今治市高橋ふれあいの丘に完成。



えひめ国体が開幕し、県民による演出でにぎわった総合開会式



笑顔で開会式会場に入ってくる愛媛県選手団



選手宣誓する中矢力選手(左)と伊藤愛里選手



県民参加創作プログラム 新居浜太鼓台と牛鬼が会場を盛り上げた



ソフトボール成年男子 優勝が決まり石村寛監督を胴上げる愛媛ナイン



なぎなた少年女子演技で優勝した 八木悠真(左)、神山愛姫



セーリング成年女子スピリッツ級 第5レースで巻き返し逆転優勝した仲山好、仲山景ペア



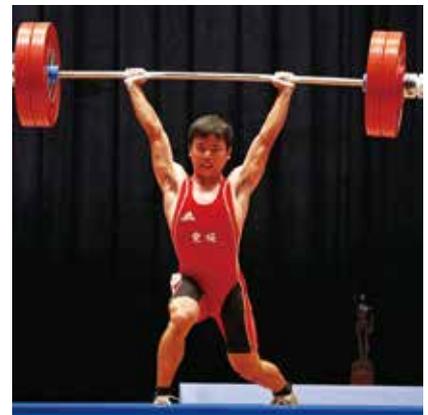
剣道 全種別で優勝を果たした愛媛のメンバー (下段から少年女子、少年男子、成年女子、成年男子の順)



体操成年男子で優勝 大野健志のつり輪



ソフトボール成年女子決勝 リリーフした準決勝に続いて連投した内海花菜



重量挙げ成年男子53kg級 ジャークで131kgの日本新記録をマークし優勝した川上高輝



テニス成年男女 優勝した愛媛のメンバー。(左から) 華谷和生、波形純理、片山翔、佐野紘一



ビーチバレー男子東京との決勝でスパイクを決め喜ぶ庄司憲右(右)と長谷川徳海



ボート少年男子・かじ付き4人スカル決勝 2連覇を果たし喜ぶ愛媛クルー  
(左から) 河野颯次郎、岡本康聖、阿部亮平、木村竜輝、青野康紀



ボート成年女子・ダブルスカルで優勝した杉原参智(左)と山田加奈



軟式野球2回戦 愛媛-愛知 犠飛を放つ青野将武



陸上成年少年女子共通400mリレー予選 4走・川中葵琳(左)と3走・稲田美咲



弓道少年女子近的決勝 愛媛-広島 8-7で広島を下し2年連続3度目の優勝を果たした  
(左から) 滝水幸虹、宮崎愛美、鈴木江梨香



空手成年少年男女共通組手団体決勝 優勝が決まった直後、喜びをかみしめる愛媛の選手



馬術成年女子ダービー 馬を信じて障害を跳び越える本田成美



水泳少年女子B100m背泳ぎ決勝 3位入賞を果たした秀野由光



バレーボール少年女子1回戦 愛媛-福岡 生徒が応援する中、戦う愛媛代表



アーチェリー成年女子シュートオフ  
(左から) 及川未稀、新田菜生、奥村佳子



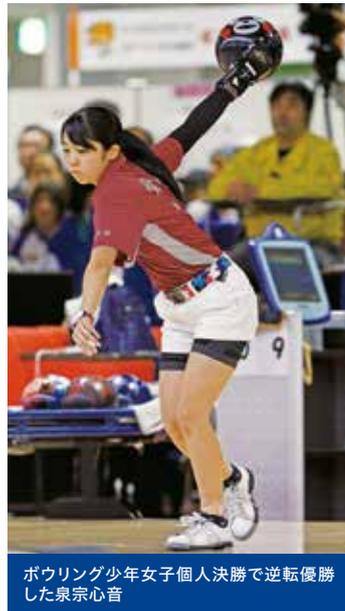
ハンドボール成年男子2回戦 愛媛-岐阜 後半、シュートを決める長谷亮



銃剣道少年男子 優勝した先鋒の青木蓮(左)



ゴルフ少年男子個人 6位入賞した  
ティーショットを打つ公受将輝



ボウリング少年女子個人決勝で逆転優勝  
した泉宗心音



ホッケー成年男子準々決勝 愛媛-栃木 後半、越智祐介(左)がシュートを放つ



カヌー少年男子カヤックペア 200m 準決勝 中野貴之、東谷翔



レスリング成年男子グレコローマンスタイル130kg級準決勝 前半から果敢  
に攻める津田大健(右)



バドミントン少年女子準々決勝 ダブルスで粘り強くラリー  
を続ける横山滯(左)と原田のどか



バスケットボール成年男子チーム 5位入賞を果たした



クレー射撃スキート個人 同点3人での競射を制し3位入賞した泉勝彦



卓球成年女子準決勝 愛媛-茨城 鋭いスマッシュを打つ藤井優子



フェンシング成年男子エペ準決勝 愛媛-三重 同点に追い付き、粘り強さを見せる北村直之(左)



ライフル射撃少年女子チームピストル決勝 集中力を高めて銃を構える高尾美月



自転車少年男子ポイントレース 3位入賞した日野泰静



サッカー成年男子決勝 愛媛-青森 1点を追う終盤、シュートを放つ玉城峻吾



高校野球硬式1回戦 済美-大阪桐蔭 4回裏、済美の吉岡秀太郎が適時打を放つ



相撲成年団体準決勝 愛媛-新潟 団体優勝の新潟に一矢報いた原井川恵人(右)



弓道成年男子遠的決勝 愛媛-大分 優勝した(左から)越智雅彦、玉井武、森本浩之



ボクシング成年男子フライ級決勝 初優勝を飾った嶋田亨



ソフトテニス成年女子1回戦 愛媛-広島 息の合ったプレーを見せた赤瀬早紀(左)と曾我部里穂



ラグビー成年男子準決勝  
愛媛-福岡 逆転トライ  
を決めた渡辺悠太



山岳成年男子リードで優勝  
した清水裕登(左) 徳永潤一



冬季・スケート成年女子1000m決勝  
庄巻の滑りで2連覇を達成した郷亜里紗



冬季・スキー成年男子B距離 県勢初の  
入賞を果たした小島佑司(手前)



なぎなた成年演技決勝 安定した演技で優勝した  
長沢美咲(左)と村上優



柔道成年女子で優勝 気持を前面に出して戦う副将の立川桃(左)



総合閉会式 晴れやかな表情で  
入場行進する愛媛県選手団

## 公開競技



公開競技は4競技が行われた。綱引き（土居総合体育館）の少女女子は愛媛Cが優勝した



伊予市で行われたパワーリフティング。力を込めてスクワットをする選手

## デモンストレーションスポーツ



グラウンド・ゴルフは松山市城山公園で実施。松山城を背景に試合を行う選手



国体の「デモスポ」は県内の9市8町で28競技が開催された。カヌーツーリング駅伝は大洲市の脇川で行われた



上島町のゆめしま海道で行われたウォーキング。爽やかな汗を流して歩く参加者

## 会場の様子 おもてなし



愛媛県総合運動公園には「みきゃん広場」が開設され、県内全20市町などが出店したブースが並び、多くの選手らでにぎわった



伊予農高校の生徒が選手団を迎える「みきゃん」の飾り花を作り上げた



西予市の相撲競技会場で地域婦人会が特製ちゃんこ鍋を来場者にふるまった

## 全国障害者スポーツ大会



全国障害者スポーツ大会 開会式で  
入場行進する愛媛県選手団



障スポえひめ フライングディ  
スクで金メダルの安井幸重



障スポえひめ グランドソフトボール 準決勝 亀元宏晃が二塁打を放つ



障スポえひめ 陸上男子2部1500mと  
ソフトボール投げて優勝した田中成明

障スポえひめ 水泳50m  
背泳ぎで金メダルの中道  
穂香(左)と岡部歩乃佳



障スポえひめ 車いすバスケットボール  
ドリブルで攻め込む奥川仁浩

### 主な大会優勝

- ・全国高校総体自転車学校対抗 松山城南高
- ・全国高校総体アーチェリー男子団体 今治東中等教育学校
- ・全国都道府県対抗自転車競技大会男子チームスプリント 愛媛チーム
- ・全日本中学女子軟式野球大会 マドンナジュニア愛媛
- ・全国高校ゴルフ選手権春季大会 河本力(松山聖陵高)
- ・全国高校重量挙げ競技選抜大会男子56キログラム級、全国高校総体重量挙げ男子56キログラム級 山口優人(新居浜工高)
- ・全国高校重量挙げ競技選抜大会女子69キログラム級、全日本女子選抜重量挙げ選手権大会高校の部75キログラム級 山崎晴子(新居浜南高)
- ・全国高校重量挙げ競技選抜大会女子75キログラム級、全国高校女子重量挙げ競技選手権75キログラム級 阿部栞(新居浜南高)
- ・日本学生ハーフマラソン選手権 鈴木健吾(神奈川大-宇和島東高出)
- ・日本学生陸上競技個人選手権男子110m 障害 野本周成(早稲田大-八幡浜高出)
- ・全国高校総体重量挙げ男子105キログラム超級 福山草生(新居浜南高)
- ・全国高校総体なぎなた個人 神山愛姫(北条高)
- ・全日本大学対抗選手権自転車競技大会男子スクラッチ 近藤翔馬(法政大-松山聖陵高出)

# 2018

平成  
30年

## 「体協」から「スポ協」へ

(公財)愛媛県体育協会から(公財)愛媛県スポーツ協会へ組織名を変更した。

四国高校選手権の陸上女子三段跳びで、松山北高の河添千秋が12m96の日本高校新記録を達成。陸上で愛媛勢の日本高校新記録樹立は21年ぶりで、同種目では初の快挙。全国高校総体でも大会新をマークするなど他の選手を圧倒して優勝。福井国体では少年女子A走り幅跳びで頂点に立った。

平昌冬季オリンピックスノーボード男子ハーフパイプで片山来夢(バートン-東温高出)が7位。スピードスケート女子500mでは、郷里里砂(県競技力向上対策本部、イヨテツスピードクラブ)は8位に入賞。第100回全国高校野球選手権大会に済美が2年連続で出場し、14年ぶりにベスト4入り。女子ゴルフの下部ツアーで河本結(エリエール-松山聖陵高出)が4勝を挙げ賞金女王に。丹萌乃(西条市出身)も3位にランクイン。フィギュアスケートのジュニアグランプリシリーズ上位6人で競うファイナルで、松山市出身の島田高志郎(木下グループ)が4回転ジャンプに成功し銅メダルを獲得。



全日本スキー選手権のスノーボード男子ハーフパイプで優勝した片山来夢(写真:共同通信社)



フィギュアスケートの全日本選手権で演技する島田高志郎(写真:共同通信社)



日本学生対校選手権3000m障害を制した岡田佳子



陸上の四国高校選手権で12m96の日本高校新記録を樹立した河添千秋



平昌冬季五輪女子スピードスケート500mのレース後、観声に応える郷里里砂(写真:共同通信社)



福井国体の重量挙げ少年男子105キロ超級ジャークで優勝した三宅敬之

### 主な大会優勝

- ・全国高校選抜大会 重量挙げ男子105キロ級 国体 重量挙げ少年男子105キロ超級ジャーク 三宅敬之(新居浜工高)
- ・日本学生個人選手権 女子3000m障害 日本学生対校選手権 女子3000m障害 岡田佳子(松山大)
- ・全国高校総体 自転車男子スクラッチ 日野凌羽(松山城南高)
- ・全国高校総体 自転車男子ケイリン 犬塚貴之(松山城南高)
- ・国体 山岳少年男子リード 愛媛選抜チーム
- ・国体 ポート少年男子かじ付き4人スカル 愛媛選抜チーム
- ・国体 弓道少年女子近的・遠的優勝 愛媛選抜チーム

# 2019

平成31年  
令和元年



サポーターが製作した「Jリーグへの鍵」を手に喜ぶFC今治の選手



なでしこリーグ2部初優勝を決め、喜びを爆発させる愛媛FCLの選手たち



全国高校総体で男子学校対抗3連覇を果たした松山城南高自転車競技部

茨城国体馬術少年団体障害飛越で頂点に立った榎井光(左)と奥野景虎



## 主な大会優勝

- ・全国高校選抜自転車競技大会総合、全国高校総体自転車男子学校対抗 松山城南高
- ・全日本ジュニアテニス選手権 16歳以下男子ダブルス 新田高(丹下颯希・片上智貴)
- ・国体アーチェリー少年女子団体 愛媛選抜チーム
- ・国体ボート少年女子ダブルスカル 愛媛選抜チーム(伊東美咲・越智楽々渚)
- ・国体弓道成年女子遠的、近的 愛媛選抜チーム
- ・国体馬術少年団体障害飛越 愛媛選抜チーム(榎井光・奥野景虎)
- ・フィギュアスケートババリアン・オープン2019 島田高志郎(木下グループ)
- ・全国高校選抜自転車競技大会男子個人ロードレース 北宅柊麻(松山城南高)
- ・全国高校ボクシング選抜大会バンタム級  
全国高校総合体育大会ボクシングバンタム級 松本敬人(松山工高)
- ・日本学生陸上競技個人選手権大会女子3000m 障害 西山未奈美(松山大)
- ・全日本マウンテンバイク選手権大会クロスカントリー男子ユース 村上裕二郎(松山工高)
- ・全国高校総合体育大会自転車男子ポイントレース 渡辺諒馬(松山城南高)
- ・国民体育大会陸上成年男子やり投げ 崎山雄太(県競技力向上対策本部)
- ・国民体育大会カヌー成年女子スラローム・カナディアンシングル 25ゲート、15ゲート 宇都宮栞(駿河台大)
- ・パラ競泳世界選手権2019男子100メム平泳SB14(世界新記録樹立) 山口尚秀(四国ガス・MG瀬戸内)



テニスの全日本ジュニア選手権で16歳以下男子ダブルスを制した丹下颯希(左)と片上智貴

# 2020

令和  
2年

新型コロナウイルスが全世界で猛威を振るい、感染拡大の影響は愛媛のスポーツ界にも広がった。2月下旬のJリーグ公式戦中断をはじめ、選抜高校野球大会、東京オリンピック・パラリンピックなどが次々と延期や中止となり、選手たちが苦闘した1年となった。

6月後半、四国アイランドリーグplusが約3カ月遅れで開幕し、2月下旬の開幕直後に中断していたJリーグも再開。いずれも当初は無観客で、7月から条件付きで入場が解禁された。試合数維持のため、Jリーグは12月まで開催、四国ILは前後期制をやめて1シーズン制に。春夏の甲子園大会が中止となり、県高野連は夏の愛媛大会の代替として8月に県夏季大会を開催。決勝は松山聖徳が宇和島東を破って優勝した。昨夏より6校6チーム少ない53校52チームが参加。スタンド入場は保護者らに限定、整列時の距離確保やベンチの消毒を徹底した。



カヌー・スプリント日本選手権男子カヤックシングル200mで優勝した小松正治(写真:共同通信社)



陸上の全日本実業団対抗選手権女子3000m障害で優勝した山中柚乃



東京パラリンピックの延期を受け、報道陣に胸の内を語る柔道の広瀬順子(左)と悠



男子ソフトボールのU18ワールドカップに日本代表として出場し優勝した八木孔輝



カヌー・スプリントの日本選手権女子カヤックシングル500mで優勝した多田羅英花



無観客で開催したJ3開幕戦で、相手ゴールを攻め立てるFC今治イレブン

## 主な大会優勝

- ・男子ソフトボールU18ワールドカップ 八木孔輝(松山工高)
- ・カヌー・スプリント日本選手権男子カヤックシングル200m 小松正治(競技力向上対策本部)
- ・カヌー・スプリント日本選手権女子カヤックシングル500m 多田羅英花(県競技力向上対策本部)
- ・全日本実業団対抗陸上競技選手権大会女子3000m障害 山中柚乃(愛媛銀行)
- ・全国高等学校陸上競技大会女子ハンマー投げ 尾崎琴音(今治明徳高)

# コロナ下 五輪開幕

# 2021

令和  
3年



延期無観客異例の式典  
東京オリンピックの開会式は、新型コロナウイルスの影響で、延期となり、無観客で行われた。式典は、東京の国立競技場で行われ、約1万5000人の観客が参加した。式典は、約1時間30分続いた。式典の中心には、東京オリンピックの聖火台があり、聖火が灯された。式典は、NHKで生放送された。式典は、約1億5000万人が視聴した。式典は、約1億5000万人が視聴した。

東京オリンピックの開幕を伝える愛媛新聞。延期、無観客という異例の開催となった(2021年7月24日付)(写真:共同通信社)

## 2回目の東京オリンピック

新型コロナウイルスの影響が続く中、各スポーツ団体は感染防止に細心の注意を払って競技に取り組んだ。

2回目の東京オリンピックは、コロナ感染対策で初の無観客で開催された。

プロスポーツは愛媛FCのJ3降格など振るわなかったが、高校生は自粛期間の鬱憤を晴らすかのように活躍を見せた。



全国高校弓道選抜大会で女子団体を制した聖カタリナ学園高メンバー



東京オリンピック聖火セレモニーで1列に並んで聖火をつなぐ松山市のランナー



全国高校総体カヌー男子スプリント・カナディアンフォア200mで優勝した大洲高のメンバー



東京パラリンピック競泳男子100m平泳で優勝した山口尚秀(左)(写真:共同通信社)



全日本ライフル射撃選手権チームピストル男子で優勝した久保迅輝



全国高校総体で男子学校対抗4連覇を果たした松山学院高自転車競技部



全国高校総体の体操男子あん馬で優勝した浅山侑大



自転車競技全国高校選抜大会と全国高校総体で女子個人3冠に輝いた垣田真穂

### 主な大会優勝

- ・全国高校選抜 弓道女子団体 聖カタリナ学園高
- ・全国高校総体 カヌー男子カナディアンフォア200m 大洲高
- ・全国高校選抜 ボート男子シングルスカル 岡山凛之(松山東高)
- ・全国高校選抜自転車学校対抗男女、全国高校総体 自転車男子学校対抗 松山学院高
- ・全国高校選抜自転車競技大会男子 男子スプリント 半田誠(松山学院高)
- ・全国高校選抜自転車競技大会男子 男子スクラッチ 阿部英斗(松山学院高)
- ・全国高校選抜自転車競技大会男子、全国高校総体 3冠 垣田真穂(松山学院高)
- ・全国高校選抜、全国高校総体 男子3キロ個人追い抜き 大仲凜功(松山学院高)
- ・全国高校選抜自転車競技大会男子1キロタイムトライアル 佐藤壮志(松山学院高)
- ・全国高校選抜、全国高校総体、全日本ジュニア 体操男子あん馬 浅山侑大(新田高)
- ・全日本学生体操選手権 男子つり輪 笠岡義之(日体大-新田高出)
- ・競泳日本学生選手権 女子100m背 秀野由光(神奈川大-新田高出)
- ・全国高校総体重量挙げ女子49キロ級ジャーク・トータル 安部希美(新居浜西高)
- ・全日本ライフル射撃選手権チーム・ピストル男子 久保迅輝(伊予農高)

# 2022

令和  
4年

四国で24年ぶりとなる全国高校総体体育大会（インターハイ）が7月23日から1カ月にわたって開かれ、高校生アスリートが熱戦を繰り広げた。愛媛県内では、体操、柔道、ハンドボール、ソフトテニス、ボート、卓球、重量挙げ、空手の8競技が、松山、伊予、今治、宇和島、新居浜、四国中央の6市で実施された。愛媛勢は優勝14件を含め入賞72件と過去最高の成績を残した。今治市の玉川湖で開かれたボートでは、男子シングルスカルで川上拓海（今治北）が3月の全国高校選抜との2冠を達成。高知県開催のテニスでも県勢が活躍。男子シングルス制した薦田直哉（新田）は団体、ダブルスを含めテニス競技での県勢初優勝の快挙を成し遂げた。香川県で行われた自転車はメダルラッシュに沸いた。男子の3000m個人追い抜きで梅澤幹太（松山工）、スプリントで阿部英斗（松山学院）、ロードレースで鎌田晃輝（同）がそれぞれ頂点に立った。女子は垣田真穂（同）がポイントレースとロードレースで2冠を達成するなど松山学院は史上初の総合5連覇を達成した。お家芸のなぎなたでは、演技決勝で北条と今治東による県勢対決が実現。北条の神山美完と近藤結のペアが熱戦を制し、神山は個人でも準優勝した。徳島県であった陸上の男子5000m競歩では、競技歴1年余りの長田隼人（松山工）が栄冠をつかんだ。

新型コロナウイルスの影響で、全国高校総体は無観客が続いていたが、今大会は3年ぶりに有観客で開催された。関係者は感染防止に苦慮しながらの対応を迫られた。愛媛県も大会直前まで状況を注視し、競技開始4日前にボートを除く7競技で一般客の入場を受け付けないなどの制限を発表した。会期中、新型コロナ関連で延べ140校を超える出場辞退があったが、中止となった競技はなく、コロナ下での大規模大会の運営のあり方を全国に示した。全日本剣道選手権大会で、村上哲彦（愛媛県警）が初優勝。同大会で県勢が優勝するのは初めて。



全国高校総体総合開会式で手を振りながら入場行進する愛媛県選手団



全日本女子ウエイトリフティング選手権 重量挙げ女子45キロ級を制覇した斉藤朱音



全国高校総体テニス男子シングルス決勝 先制して流れをつかもうと力強いサーブを放つ薦田直哉



全日本剣道選手権で県勢として初優勝を果たした村上哲彦（愛媛県警）



全国高校総体ボート男子シングルスカル決勝 優勝を決め、両手の人さし指で「1」を示して喜ぶ川上拓海



全国高校総体で地元の応援を背にプレーするソフトテニスの選手



全国高校総体自転車史上初の総合5連覇を果たした松山学院のメンバー



全国高校総体陸上男子5000m競歩で優勝した長田隼人

### 主な大会優勝

- ・全国高校選抜なぎなた女子団体、全国高校総体なぎなた演技 北条高（神山美完・安永心優・横山聖七・近藤結）
- ・全国高校総体テニス男子シングルス 薦田直哉（新田高）
- ・全国高校総体陸上男子5000m競歩 長田隼人（松山工高）
- ・日本学生陸上対校選手権男子棒高跳び 石丸颯太（順大院－松山北高出）
- ・やわはま国際MTBレース男子U23 村上功太郎（松山大）
- ・全国高校選抜自転車男子スクラッチ・ロードレース 阿部源（松山学院高）
- ・全国高校総体自転車男子3000m個人追い抜き 梅澤幹太（松山工高）
- ・全国高校総体自転車男子ロードレース 鎌田晃輝（松山学院高）
- ・国体自転車少年男子スクラッチ 鈴木澗（松山学院高）
- ・日本ジュニアゴルフ選手権男子15～17歳の部 松井琳空海（香川西高－新居浜東中出）
- ・全日本女子ウエイトリフティング選手権45キログラム級スナッチ・トータル 斉藤朱音（新居浜東高）
- ・全国高校選抜ボート女子ダブルスカル 松山東高（名合真梨・谷岡沙恵）
- ・全日本ボート選手権男子かじなし4人スカル 今治造船（木村竜暉・越智寛太・岡部政憲・御手洗航）
- ・国体弓道少年男子遠的 愛媛選抜チーム
- ・全国高校選抜・全国高校総体ボート男子シングルスカル 川上拓海（今治北高）
- ・国体ボート少年女子シングルスカル 井上幸乃（東京・成立学園高一愛媛大附中出）
- ・国体カヌー成年女子スラローム・カヤックシングル25ゲート 都田輝夏（県競技力向上対策本部）
- ・全日本都道府県対抗スピードスケート ショートトラック少年男子1500m 越智大翔（山梨学院大－松山北高出）
- ・全日本学生柔道体重別選手権男子100キログラム級 熊坂光貴（国士舘大－新田高出）
- ・全日本剣道選手権大会 村上哲彦

# 2023

令和  
5年

## ねんりんピック

全国健康福祉祭愛媛大会(ねんりんピック)を開催。

サッカーJ3の愛媛FCが降格2年目で初優勝し、翌シーズンのJ2復帰を決めた。一方、今治にはサッカー専用の今治里山スタジアムが完成した。



「ねんりんピック愛媛のえひめ2023」の総合開会式で、入場行進する愛媛選手団代表

### 今年の雪辱「めちゃうれしい」

【成年男子決勝 鹿嶋一豊児童】第2シングルス戦を制して優勝を決め、喜ぶ鹿嶋・中川

鹿嶋市東原町球場

「今年の雪辱をめちゃうれしい」と喜ぶ鹿嶋一豊児童の選手たち。決勝で優勝した中川選手は、涙を流して喜びを表現していた。

鹿嶋一豊児童の選手たちは、この試合を通じて、チームの力を発揮し、優勝の喜びを味わった。中川選手は、この勝利をきっかけに、今後の練習に励み、さらなる成長を遂げたいと語っていた。

### 成年男子 圧勝V

テニス

鹿嶋一豊児童の選手たちが、成年男子の決勝戦で圧勝し、優勝を収めた。この勝利は、チームにとって大きな励みとなる。中川選手は、この勝利をきっかけに、今後の練習に励み、さらなる成長を遂げたいと語っていた。



鹿児島国体の成年少年女子共通400mリレーで2走を務めた川中葵琳

鹿児島国体テニス成年男子チームの優勝を伝える愛媛新聞(2023年10月12日付)



3年ぶりに開催された愛媛マラソンに1万人以上が参加した



J3優勝と3年ぶりのJ2復帰を決めて歓喜する愛媛FCの選手



鹿児島国体相撲少年男子優勝した愛媛選抜メンバー（後列左から福原、鎌谷監督、兵頭、前列左から宇野、田中、末）



鹿児島国体ライフル射撃少年女子チームピストルで優勝した浦部穂乃加を伝える愛媛新聞(2023年10月9日付)

### 主な大会優勝

- ・国体相撲少年男子団体 愛媛選抜チーム
- ・国体ソフトボール少年男子 愛媛選抜チーム
- ・全国高校総体フェンシング女子サーブル 周藤美月(新田高)
- ・国体ライフル射撃チーム・ピストル少年女子60発 浦部穂乃加(伊予農高)
- ・田島直人記念陸上競技大会 男子走り幅跳び 藤原駿也(レディ薬局)
- ・全国選抜高校テニス大会男子シングルス 武方駿哉(柳川高-余土中出)
- ・国体自転車成年男子ケイリン 細川拓真(朝日大-松山聖陵高出)
- ・日本カヌー・スプリント選手権大会 男子カヤックペア200m 小松正治(県カヌー協会)・田中佑哉(関西学院大)
- ・国体テニス成年男子 愛媛選抜(片山翔・中川舜祐)
- ・全国高校総体自転車男子チームスプリント 松山学院高(松岡勇斗・河上駿太・中村和樹)
- ・全国高校選抜・全国高校総体 ローイング女子ダブルスカル 宇和島東高(兵頭佳乃・宝本和花)
- ・全国高校弓道選抜大会男子個人 藤原悠雅(今治工高)
- ・全国高校総体自転車男子4000m速度競走 金井健翔(松山学院高)
- ・国体自転車少年男子ケイリン 河上駿太(松山学院高)
- ・全国高校総体自転車女子ロードレース 水谷彩奈(松山学院高)
- ・全国高校総体柔道女子70キロ級 前田凜(比叡山高-三間中出)
- ・全国高校総体女子板飛び込み  
国体少年女子高飛び込み 乗松飛羽(高崎健康福祉大高崎高-内宮中出)
- ・全国高校総体重量挙げ女子71キロ級スナッチ 岡田夏朋(新居浜南高)
- ・国体重量挙げ成年男子81キロ級ジャーク 本田大智(新居浜特別支援学校川西分校教)
- ・全日本ボクシング選手権大会男子ライトヘビー級 若谷豪(県競技力向上対策本部)
- ・パラ陸上日本選手権男子走り幅跳び(視覚障害) 石山大輝(順天堂大院-聖カタリナ大出)

# 2024

令和  
6年

## 愛媛県スポーツ協会 100周年

2024年10月13日に創立100周年を迎えたが、2024年～2025年の2年間を100周年事業期間とした。記念式典は2025年2月(巻頭グラビア参照)、関連イベント(2025年参照)、記念史(2026年1月発刊)という展開とした。

「国体」(国民体育大会)の名称が、佐賀県開催から「国スポ」(国民スポーツ大会)に変更された。

パリオリンピック・パラリンピックが開催。パラリンピックでは松山市に練習拠点を置く広瀬順子(SMBC日興証券)が、柔道女子57キロ級(弱視)で日本人女子初となる金メダルを獲得。サッカーのFC今治がJ3参入5年目でリーグ戦2位。J2昇格を決める。



日本学生ゴルフ選手権で優勝した田村軍馬(提供:日本ゴルフ協会)



パリ・パラリンピック女子57キロ級(弱視)決勝でウズベキスタン選手(右)を攻める広瀬順子。金メダルを獲得した(写真:共同通信社)

全国中学校体育大会で初優勝した愛媛ジュニアソフトボールクラブ



フェンシングの全国高校選抜大会女子サーブルで初優勝した新田のメンバー(左から周藤、三浦、大岡、肥川、伊賀)



佐賀国スポ弓道成年女子で優勝した愛媛選抜チーム(左から瀧水、西内、平谷)



最終戦後のセレモニーでJ2昇格を祝うFC今治の選手



国スポスピードスケート成年女子1000mで優勝した川村聖亜

### 主な大会優勝

- ・全国高校選抜フェンシング大会団体女子サーブル 新田高
- ・全国高校総体陸上男子円盤投げ 田窪一翔(FC今治高明徳校)
- ・全国高校総体フェンシング女子個人サーブル 大岡詩苑(新田高)
- ・全国高校総体自転車男子ケイリン 山本逢真(松山学院高)
- ・全国高校総体自転車女子ポイントレース 近田ちひろ(松山学院高)
- ・ジャパンパラ陸上大会 女子800m(知的障害T20)3連覇 藤原由奈(愛アスリートクラブ)
- ・国民スポーツ大会弓道成年女子遠的 愛媛選抜チーム
- ・国民スポーツ大会ビーチバレー少年女子 森川仁湖・矢田和香(今治精華高)
- ・全国中学校体育大会ソフトボール男子 愛媛ジュニアソフトボールクラブ
- ・重量挙げ全国高校選抜大会女子59キロ級など高校4冠 脇長葵(新居浜東高)
- ・重量挙げ全国高校選抜大会・全国高校総体女子64キロ級スナッチ 秦萌々菜(新居浜西高)
- ・全日本学生体操選手権大会男子種目別平行棒 徳田大生(日大-新田高出)
- ・国民スポーツ大会スピードスケート成年女子1000m 川村聖亜(元県競技力向上対策本部)
- ・日本学生ゴルフ選手権優勝 田村軍馬(東北福祉大-北条北中出)



全国高校総体陸上男子円盤投げで優勝した田窪一翔



「キッズかけっこ塾」が2024年11月24日に元五輪選手の為末さんを講師に迎え行われた



「全国スポーツ少年団バレーボール交流大会愛媛県大会」が2024年12月27日～30日に行われた。女子48チーム、男子10チーム、776名の選手が熱戦を繰り広げた



4月24日から30日まで愛媛県と石川県の選手団151名が韓国を訪問した(仁川空港)



「派遣交流」として、大韓民国全羅南道で開かれた全国生活体育祝典でプレーする愛媛県選手



9月18日から7日間、韓国選手団153名が愛媛県に訪し、日本スポーツマスターズ愛媛大会に参加した(松山空港)



世界陸上東京大会の代表に決まった崎山雄太と野本周成を激励するセレモニーが行われた。愛媛新聞(2025年7月15日付)



スポーツマスターズが愛媛県で初開催。会期前を含め12日間、47都道府県と韓国から集まった選手が県内各地で試合を通して交流したことを伝える愛媛新聞(2025年9月21日付)

# 公益財団法人愛媛県スポーツ協会 定款

## 第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人愛媛県スポーツ協会と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を愛媛県松山市に置く。

## 第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、スポーツの振興に関する事業を行い、県民の体力向上とスポーツ精神の高揚に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 国民スポーツ大会に関すること
  - (2) スポーツ活動の顕彰に関すること
  - (3) スポーツ指導者の育成に関すること
  - (4) 青少年スポーツの育成に関すること
  - (5) 生涯スポーツの振興に関すること
  - (6) 無料職業紹介事業の実施に関すること
  - (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項の事業は、愛媛県において行うものとする。

## 第3章 資産及び会計

(事業年度)

第5条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第6条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の決議を経て、評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第7条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
  - (2) 事業報告の附属明細書
  - (3) 貸借対照表
  - (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
  - (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
  - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。
- 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
- (1) 監査報告
  - (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿

(3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第8条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする。

## 第4章 評議員

(評議員の定数)

第9条 この法人に評議員15名以上20名以内を置く。

2 評議員のうち、1名を評議員長とする。

(評議員の選任及び解任)

第10条 評議員の選任及び解任は、評議員選定委員会において行う。

2 評議員選定委員会は、評議員1名、監事1名、事務局員1名、次項の定めに基づいて選任された外部委員2名の合計5名で構成する。

3 評議員選定委員会の外部委員は、次のいずれにも該当しない者を理事会において選任する。

(1) この法人又は関連団体（主要な取引先及び重要な利害関係を有する団体を含む。以下同じ。）の業務を執行する者又は使用人

(2) 過去に前号に規定する者となったことがある者

(3) 第1号又は第2号に該当する者の配偶者、3親等内の親族、使用人（過去に使用人となった者も含む。）

4 評議員選定委員会に提出する評議員候補者は、理事会又は評議員会がそれぞれ推薦することができる。評議員選定委員会の運営についての細則は、理事会において定める。

5 評議員選定委員会に評議員候補者を推薦する場合には、次の事項のほか、当該候補者を評議員として適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。

(1) 当該候補者の経歴

(2) 当該候補者を候補者とした理由

(3) 当該候補者とこの法人及び役員等との関係

(4) 当該候補者の兼職状況

6 評議員選定委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の1名以上が出席し、かつ、外部委員の1名以上が賛成することを要する。

7 評議員選定委員会は、前条で定める評議員の定数を欠くこととなるときに備えて、補欠の評議員を選任することができる。

8 前項の場合には、評議員選定委員会は、次の事項も併せて決定しなければならない。

(1) 当該候補者が補欠の評議員である旨

(2) 当該候補者を1人又は2人以上の特定の評議員の補欠の評議員として選任するときは、その旨及び当該特定の評議員の氏名

(3) 同一の評議員（2人以上の評議員の補欠として選任した場合にあっては、当該2人以上の評議員）につき2人以上の補欠の評議員を選任するときは、当該補欠の評議員相互間の優先順位

9 第7項の補欠の評議員の選任に係る決議は、当該決議後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで、その効力を有する。

10 評議員長は、評議員会において選任する。

(評議員の任期)

第11条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第9条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第12条 評議員は、無報酬とする。

2 評議員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

3 前2項に関し必要な事項は、評議員会の決議により別に定める役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程による。

## 第5章 評議員会

(構成)

第13条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第14条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第15条 評議員会は、定時評議員会として毎年度1回、毎事業年度終了後3カ月以内に開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第16条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

2 評議員は、会長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(招集の通知)

第17条 会長は、評議員会の開催日の1週間前までに、評議員に対して、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面をもって、招集の通知を発しなければならない。

2 前項にかかわらず、評議員全員の同意があるときは、招集の手続きを経ることなく、評議員会を開催することができる。

(議長)

第18条 評議員会の議長は、評議員長がこれに当たる。

(決議)

第19条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。  
2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任

- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準

- (3) 定款の変更

- (4) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第23条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(決議の省略)

第20条 理事が、評議員会の目的である事項について提案した場合において、その提案について、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときには、その提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第21条 理事が評議員の全員に対し、評議員会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を評議員会に報告することを要しないことについて、評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときには、その事項の評議員会への報告があったものとみなす。

(議事録)

第22条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成しなければならない。

2 議事録には、議長及びその会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名以上がこれに署名押印しなければならない。

## 第6章 役員

(役員の設置)

第23条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 15名以上20名以内

- (2) 監事 3名以内

2 理事のうち1名を会長、2名以内を副会長とし、1名を専務理事、1名を常務理事として置くことができる。

3 前項の会長及び副会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、専務理事及び常務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員の選任)

第24条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 会長、副会長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第25条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。

3 副会長、専務理事及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

4 会長、副会長、専務理事及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第26条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めると

# 公益財団法人愛媛県スポーツ協会 定款

ころにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第27条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第23条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第28条 理事及び監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えられないとき。

(役員報酬等)

第29条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事及び監事に対しては、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会で別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(名誉会長及び顧問)

第30条 この法人に、任意の機関として名誉会長1名及び顧問を若干名置くことができる。

2 名誉会長及び顧問は、学識経験者の中から、理事会において任期を定め、たうえで選任する。

3 名誉会長及び顧問は、無報酬とする。ただし、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

(名誉会長及び顧問の職務)

第31条 名誉会長及び顧問は、会長の諮問に応え、会長に対し、意見を述べることができる。

## 第7章 理事会

(構成)

第32条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第33条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定及び解職

(招集)

第34条 理事会は、会長が招集する。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長が理事会を招集する。

3 会長及び副会長が欠けたとき又は会長及び副会長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)

第35条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長がこれに当たる。

(決議)

第36条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(決議の省略)

第37条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、当該提案につき、当該事項について議決に加わることのできる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなすものとする。ただし、監事が異議を述べたときは、その限りではない。

(報告の省略)

第38条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対し、理事会に報告すべき事項を通知したときは、その事項を理事会に報告することを要しない。

2 前項の規定は、第25条第4項の規定による報告には適用しない。

(議事録)

第39条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した代表理事及び監事は、前項の議事録に署名押印する。

## 第8章 委員会

(委員会)

第40条 この法人の事業を推進するために、理事会の決議を経て、各種委員会を設置することができる。

2 委員会は、第4条の事業に関して審議し、理事会に意見を具申するとともに、理事会の諮問に応じる。

3 委員会の委員は、理事及び学識経験者のうちから、理事会が選任し、会長が委嘱する。

4 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

## 第9章 事務局

(設置等)

第41条 この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

2 事務局には、所要の職員を置く。

3 重要な職員は、会長が理事会の承認を得て任免する。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

## 第10章 加盟団体

(加盟団体)

第42条 この法人は、次に掲げる各号の一に該当するものを加盟団体とする。

- (1) 県内におけるスポーツを各競技別に統括するスポーツ団体であって、本会に加盟したもの
- (2) 各地域におけるスポーツを総合的に統括する市町体育・スポーツ協会等であって、本会に加盟したもの
- (3) 各学校におけるスポーツを統括する学校体育団体であって、本会に加盟したもの
- (4) 前3号に定めるもののほか、スポーツに関する事業を行う団体であって、本会に加盟したもの

(加盟)

第43条 この法人の加盟団体になろうとする団体は、理事会の承認を経て加盟することができる。

(負担金)

第44条 加盟団体は、理事会において別に定める負担金を毎年納入しなければならない。

(脱退等)

第45条 第42条の加盟団体が脱退しようとするときは、その理由を付して脱退届を会長に提出しなければならない。

2 第42条の加盟団体が、第42条に掲げる資格を失ったと認められるとき、又は法人の加盟団体として不適当と認められるにいたったときは、理事会の同意を経て、これを脱退させることができる。

(必要事項)

第46条 第42条から前条までに規定するもののほか、加盟団体並びに加盟及び脱退について必要な事項は、理事会の決議を経て、評議員会の承認により別に定める。

2 加盟団体は、前項により定められた事項を守らなければならない。

## 第11章 損害賠償責任の一部免除

(理事等の損害賠償の一部免除)

第47条 理事又は監事に係る一般法人法第198条において準用する一般法人法第111条第1項に規定する損害を賠償する責任は、当該理事又は監事が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がない場合において、責任の原因となった事実の内容、当該職務の執行状況その他の事情を勘案して特に必要と認めるときは、一般法人法第198条において準用する一般法人法第113条第1項の規定により免除することができる額を限度として、理事会の決議により、免除することができる。

## 第12章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第48条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条及び第4条及び第10条についても適用する。

(解散)

第49条 この法人は、この法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第50条 この法人が、公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、評議員会の決議を経て、

公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第51条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

## 第13章 公告の方法

(公告の方法)

第52条 この法人の公告は、電子広告により行う。

## 第14章 補則

(委任)

第53条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

## 附則

1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第5条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

3 この法人の最初の理事及び監事は、次に掲げる者とする。

(理事)

大亀孝裕	篠原 実	森本三義	田窪 徹	中村 進
城尾公子	竹宮直孝	藤田恭二	倉田 茂	片上公典
田邊亮介	別府孝也	荒本 司	山本 巖	秋川秀美

(監事)

原田満範 客野久子 菊池 潤

4 この法人の最初の会長は、大亀孝裕とする。

5 この法人の最初の副会長は、篠原 実 森本三義とする。

6 この法人の最初の常務理事は、山本 巖とする。

7 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

重松達夫	兵頭龍哉	堀川映子	真鍋和人	濱中 勉
光田 督	松岡道代	塩出卓一	森川純行	本田隆彦
澤田 茂	藤原 誠	井上 力	西川広一	渡部敏夫
久保素子	一宮捷宏	桑原 昇	戒能潤之介	白石勝也

8 この定款は、平成24年12月11日から施行する。

9 この定款は、平成25年4月1日から施行する。

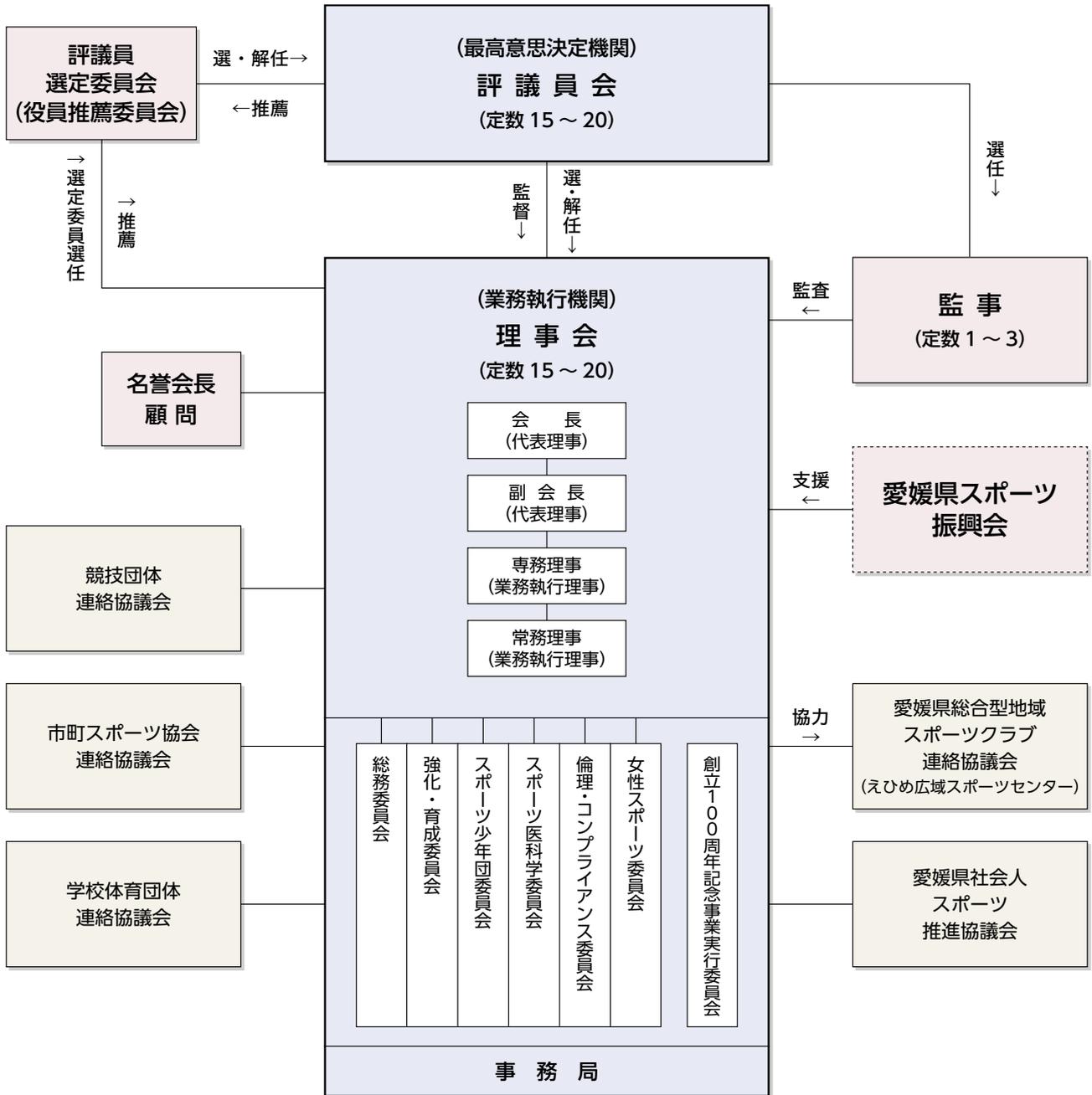
10 この定款は、平成30年4月1日から施行する。

11 この定款は、平成31年3月27日から施行する。

12 この定款は、平成31年4月1日から施行する。

13 この定款は、令和6年4月1日から施行する。

## 公益財団法人愛媛県スポーツ協会 組織図



## 公益財団法人愛媛県スポーツ協会 シンボルマーク(2012年制定)



制作者・小柴 雅樹さんより

愛媛県の頭文字「e」をモチーフに、濃い青が県民が体育に親しみ躍動している形を、又うす青は海をあらわし、スポーツで日本へ世界へはばたく願いをあらわすデザインとしました。

## 愛媛県スポーツ協会 役員一覧

## 理事・監事

職名	氏名	役職
会長	大塚 岩男	(株)伊予銀行特別顧問
副会長	戒能 潤之介	愛媛県議会スポーツ振興議員連盟会長
副会長	土居 英雄	(株)愛媛新聞社代表取締役会長
専務理事	馬越 祐希	愛媛県スポーツ協会参事・事務局長
常務理事	豊島 吉博	元愛媛FC社長 (一社)愛媛県サッカー協会名誉会長
理事	明比 昭治	愛媛県スポーツ少年団本部長 愛媛県議会スポーツ復興議員連盟会長
理事	池内 裕紀	愛媛県中学校体育連盟理事長
理事	岡田 温仁	(株)愛媛銀行公務ふるさと振興部長
理事	尾崎 幸朗	(公財)愛媛県スポーツ復興事業団 常務理事
理事	桐木 陽子	松山東雲女子大学・松山東雲短期 大学副学長
理事	神山 由香里	愛媛県なぎなた連盟常任理事
理事	佐伯 美香	愛媛県バレーボール協会運営理事
理事	白川 由貴	愛媛県ローイング協会理事
理事	辻岡 英幸	愛媛県観光スポーツ文化部 スポーツ局競技スポーツ課長
理事	土岐 知	愛媛県観光スポーツ文化部 スポーツ局地域スポーツ課長
理事	土佐 礼子	愛媛陸上競技協会理事 三井住友海上火災保険株式会社
理事	藤山 登代	松前町スポーツ協会 松前剣道会評議員
理事	久野 梧郎	(一社)愛媛県医師会顧問
理事	堀内 由美	愛媛県チアリーディング協会常任理事
理事	松下 久美子	愛媛県ソフトボール協会副会長
監事	上田 憲二	(株)フジ顧問
監事	仙波 純子	(公財)えひめ女性財団常務理事
監事	山邊 彰三	公認会計士

## 評議員

令和7年6月13日～

氏名	役職
相原 忠彦	愛媛県スポーツドクター協議会会長 元愛媛県医師会常任理事
遠藤 美武	(一社)愛媛県卓球協会副会長
尾崎 英雄	(株)フジ代表取締役会長
川崎 幸子	愛媛県ママさんバレーボール連盟会長
久保田 加寿美	NPO法人愛媛県レクリエーション協会副会長
黒田 敬	愛媛県観光スポーツ文化部スポーツ局長

井上 浩	愛媛県高等学校体育連盟会長
島原 茂	宇和島市スポーツ協会副会長
永井 克征	(公財)西条市スポーツ協会会長
関口 顕治	NHK松山放送局コンテンツセンターセンター長
俊野 徹人	(一社)愛媛県剣道連盟会長
中山 桂	(一財)愛媛陸上競技協会専務理事
福井 琴樹	愛媛県商工会議所専務理事
松尾 和久	愛媛県スポーツ振興議員連盟会員
三好 公子	(一社)愛媛県サッカー協会副会長
山口 真司	愛媛県障がい者スポーツ協会会長
山本 智啓	愛媛県小学校体育連盟会長
渡部 恵美	愛媛県ホッケー協会副理事長
渡邊 豊	愛媛県弓道連盟会長
和田 資篤	弁護士法人SOH

## 顧問

(五十音順)

氏名	役職
新井 英夫	松山大学理事長
井川 俊高	大王製紙株式会社特別顧問
清水 一郎	株式会社伊予鉄グループ代表取締役社長
篠原 実	元愛媛県議会スポーツ振興議員連盟理事
島原 傳喜	株式会社島原本舗代表取締役会長
高原 豪久	ユニ・チャーム株式会社代表取締役社長執行役員
八石 玉秀	愛媛信用金庫理事長
檜垣 幸人	今治造船株式会社代表取締役社長
本田 元広	株式会社愛媛銀行相談役

## 総務委員会

役職	氏名	所属
委員長	尾崎 幸朗	(公財)愛媛県スポーツ復興事業団 常務理事
副委員長	土岐 知	愛媛県観光スポーツ文化部 スポーツ局地域スポーツ課長
委員	豊島 吉博	元愛媛FC社長 (一社)愛媛県サッカー協会名誉会長
委員	久野 梧郎	(一社)愛媛県医師会顧問
委員	桐木 陽子	松山東雲女子大学・松山東雲短期 大学副学長
委員	岡田 温仁	(株)愛媛銀行公務ふるさと振興部長

# 愛媛県スポーツ協会 役員一覧

## 強化・育成委員会

役職	氏名	所属
委員長	豊島 吉博	元愛媛FC社長 (一社)愛媛県サッカー協会名誉会長
副委員長	佐伯 美香	愛媛県バレーボール協会運営理事
委員	池内 裕紀	愛媛県中学校体育連盟理事長
委員	瀬良 耕二	愛媛県高等学校体育連盟理事長
委員	辻岡 英幸	愛媛県観光スポーツ文化部 スポーツ局競技スポーツ課長
委員	神山 由香里	愛媛県なぎなた連盟常任理事
委員	白川 由貴	愛媛県ローイング協会理事

## スポーツ医科学委員会

役職	氏名	所属	専門領域
委員長	久野 梧郎	愛媛県スポーツ協会理事 愛媛県医師会顧問 久野内科	内科医
副委員長	今井 淳子	愛媛県スポーツドクター協議会監事 道後温泉病院	内科医
委員	西本 章	愛媛県スポーツドクター協議会副会長 愛媛県医師会常任理事 西本整形外科	整形外科医
委員	鶴久森 夏世	愛媛県スポーツドクター協議会会員 つばきウイメンズクリニック	産婦人科医
委員	大野 尚徳	スポーツドクター おおの整形外科内科医院	整形外科医
委員	相原 忠彦	愛媛県スポーツドクター協議会副会長 相原整形外科	整形外科医
委員	渡部 昌平	JCHO宇和島病院	整形外科医
委員	越智 龍彦	愛媛県歯科医師会	歯科医
委員	縄田 幸裕	愛媛県薬剤師会専務理事 株式会社アスティス	薬剤師
委員	藤本 智佳	愛媛県薬剤師会	薬剤師
委員	栗原 和也	愛媛県スポーツ栄養士協議会副会長 松山東雲短期大学	栄養士
委員	上田 真知子	愛媛県スポーツ栄養士協議会監事 砥部町保健センター	栄養士
委員	手嶋 麻美	アスレティックトレーナー	トレーナー
委員	林 泰光	アスレティックトレーナー	トレーナー
委員	山口 貴史	愛媛県相撲連盟理事長	競技団体

## 倫理・コンプライアンス委員会

役職	氏名	所属
委員長	上田 憲二	(株)フジ顧問(監事)
委員	和田 資篤	弁護士法人SOH(評議員)
委員	川原 學	愛媛県ソフトボール協会副会長 (元高等学校教員)
委員	森 美佐子	株式会社キャップ代表取締役

## 女性スポーツ委員会

役職	氏名	所属
委員長	桐木 陽子	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学副学長
副委員長	土佐 礼子	(一財)愛媛陸上競技協会理事
委員	松下 久美子	愛媛県ソフトボール協会副会長
委員	藤山 登代	松前町スポーツ協会松前剣道会評議員
委員	堀内 由美	愛媛県チアリーディング協会常任理事

## 創立100周年記念事業実行委員会

役職	氏名	所属
委員長	豊島 吉博	本会常務理事、強化・育成委員会委員長
委員	馬越 祐希	本会専務理事
委員	佐伯 登志男	元本会理事、元総務委員会委員長
委員	佐伯 美香	本会理事、強化・育成委員会副委員長
委員	桐木 陽子	本会理事、女性スポーツ委員会委員長
委員	上田 憲二	本会理事、 倫理・コンプライアンス委員会委員長

## スポーツ少年団常任委員会

役職	氏名	所属
本部長	明比 昭治	愛媛県スポーツ協会理事 西条市スポーツ少年団顧問(東予地区代表)
副本部長	田中 雅人	愛媛大学教育学部教授
副本部長	森岡 数美	砥部町スポーツ少年団本部長(中予地区代表)
副本部長	河野 賢嗣	東温市スポーツ少年団本部長
常任委員	河野 信	八幡浜市スポーツ少年団本部長(南予地区代表)
常任委員	越智 伸一郎	西条市スポーツ少年団本部長
常任委員	松本 広範	宇和島市スポーツ少年団本部長
常任委員	井川 方典	四国中央市スポーツ少年団事務担当者
常任委員	石田 泰忠	愛媛県小学生バレーボール連盟副会長
常任委員	松下 久美子	愛媛県ソフトボール協会副会長
常任委員	小笠原 幸男	愛媛県バスケットボール協会副会長
常任委員	飯尾 始	愛媛県サッカー協会理事、4種委員会
常任委員	近田 幸信	愛媛県剣道連盟
常任委員	日野 克博	愛媛大学教育学部教授
常任委員	久保田 加寿美	愛媛県レクリエーション協会副会長
常任委員	伊藤 千鶴	愛媛県看護協会
常任委員	中野 豪士	愛媛県小学校体育連盟副理事長
常任委員	徳丸 淳哉	愛媛県青少年育成協議会事務局長補佐
常任委員	秋山 裕右	愛媛県教育委員会保健体育課 教育指導グループ担当係長

## 愛媛県スポーツ協会 加盟団体

## 競技団体

(一財) 愛媛陸上競技協会  
 (一社) 愛媛県水泳連盟  
 愛媛県体操協会  
 愛媛県ローイング協会  
 愛媛県ボクシング連盟  
 (一社) 愛媛県サッカー協会  
 愛媛県テニス協会  
 (一社) 愛媛県バスケットボール協会  
 愛媛県バレーボール協会  
 愛媛県ハンドボール協会  
 愛媛県ウエイトリフティング協会  
 (一社) 愛媛県ラグビーフットボール協会  
 NPO 法人愛媛県セーリング連盟  
 (一財) 愛媛県柔道協会  
 (一社) 愛媛県卓球協会  
 愛媛県相撲連盟  
 愛媛県ソフトボール協会  
 愛媛県山岳・スポーツクライミング連盟  
 愛媛県バドミントン協会  
 (一社) 愛媛県剣道連盟  
 愛媛県弓道連盟  
 愛媛県馬術連盟  
 (一社) 愛媛県自転車競技連盟  
 (一社) 愛媛県軟式野球連盟  
 愛媛県ホッケー協会  
 愛媛県フェンシング協会  
 (一社) 愛媛県ソフトテニス連盟  
 愛媛県クレール射撃協会  
 愛媛県銃剣道連盟  
 愛媛県なぎなた連盟  
 愛媛県ライフル射撃協会  
 愛媛県空手道連盟  
 愛媛県アーチェリー協会  
 愛媛県ボウリング連盟  
 愛媛県レスリング協会  
 愛媛県カヌー協会  
 愛媛県ゴルフ協会  
 愛媛県トライアスロン協会  
 愛媛県スキー連盟  
 愛媛県スケート連盟  
 愛媛県アイスホッケー連盟  
 愛媛県高等学校野球連盟  
 愛媛県サイクリング協会  
 愛媛県ママさんバレーボール連盟  
 愛媛県少林寺拳法連盟  
 愛媛県ゲートボール連合  
 愛媛県綱引連盟  
 愛媛県ドッジボール協会  
 愛媛県ダンススポーツ連盟  
 愛媛県合気道連盟  
 愛媛県スポーツチャンバラ協会  
 愛媛県チアリーディング協会  
 愛媛県日本拳法連盟  
 愛媛県武術太極拳連盟  
 愛媛県エアロビック連盟  
 愛媛県バウンドテニス協会

## 学校教育団体

愛媛県高等学校体育連盟  
 愛媛県中学校体育連盟  
 愛媛県小学校体育連盟

## 市町スポーツ協会

(公財) 松山市文化・スポーツ振興財団  
 今治市スポーツ協会  
 宇和島市スポーツ協会  
 八幡浜市スポーツ協会  
 新居浜市スポーツ協会  
 (公財) 西条市スポーツ協会  
 大洲市スポーツ協会  
 伊予市スポーツ協会  
 (公財) 四国中央市スポーツ協会  
 西予市スポーツ協会  
 東温市スポーツ協会  
 上島町スポーツ協会  
 久万高原町体育協会  
 松前町スポーツ協会  
 砥部町スポーツ協会  
 内子町スポーツ協会  
 伊方町スポーツ協会  
 鬼北町スポーツ協会  
 松野町スポーツ協会  
 愛南町スポーツ協会

## スポーツ少年団

松山市スポーツ少年団  
 今治市スポーツ少年団  
 宇和島市スポーツ少年団  
 八幡浜市スポーツ少年団  
 新居浜市スポーツ少年団  
 西条市スポーツ少年団  
 大洲市スポーツ少年団  
 伊予市スポーツ少年団  
 四国中央市スポーツ少年団  
 西予市スポーツ少年団  
 東温市スポーツ少年団  
 久万高原町スポーツ少年団  
 松前町スポーツ少年団  
 砥部町スポーツ少年団  
 内子町スポーツ少年団  
 伊方町スポーツ少年団  
 鬼北町スポーツ少年団  
 松野町スポーツ少年団  
 愛南町スポーツ少年団  
 上島町スポーツ少年団

## 関係団体

愛媛県スポーツ振興会  
 愛媛県スポーツドクター協議会  
 愛媛県スポーツ栄養士協議会

# 令和6年度 事業報告



令和6年度は、本会創立100年目を迎え、記念式典及び記念事業などを開催するとともに、新たな100年に向けた記念宣言を行うなど関係者の協力により周年事業を無事に実施することができた。

また、2025年に本県にて初開催される「日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」及び併せて開催される「日韓スポーツ交流・成人交歓交流」に向けて、先催県である長崎県での視察や競技団体との協議など諸準備に取り組んだ。

さらに、公益法人としての公益性・透明性をより一層高めるため、加盟団体と連携してスポーツ・インテグリティ(誠実性、健全性、高潔性)の確保に努めるとともに、加盟団体に対してハラスメント防止研修会の開催を支援した。

## 重点目標に対する実施状況は、次のとおり

- 1 公益法人としての公益性・透明性をより一層高めるため、「スポーツ団体ガバナンスコード」を検証し、進捗状況などを公表するとともに、加盟団体等に対して法人格の取得を促すなど、スポーツ団体の適切な組織運営を支援した。
- 2 スポーツ庁が取り組んでいる中学校の部活動改革に対して、市町と連携した研修会や先進県の視察及び関係者を招聘した講習会を開催するなど、受け皿づくりに向けた環境整備に積極的な取り組みを行った。  
また、公認スポーツ指導者等を紹介するマッチングシステムの活用を促した。
- 3 本会創立100周年を記念して、「キッズかけっこ塾」及び「全国スポーツ少年団バレーボール交流大会愛媛大会」を開催するとともに、記念式典を開催し、記念宣言、記念表彰を行うなど多くの関係者と慶事を祝った。
- 4 女性のスポーツ活動への参加及び女性アスリート三主徴等を周知するため、加盟団体役員及びスポーツ指導者を対象に、専門家を招聘して「女性スポーツフォーラム」を開催し、意識の醸成を図った。
- 5 競技力の向上、スポーツの普及等を促進するため、スポーツ医科学の専門家で構成する「愛媛県スポーツ医科学センター」の更なる機能充実を図るとともに、選手にとって重要なスポーツ栄養の普及を図るため愛媛県スポーツ栄養士協議会を新たに設立し、スポーツ医科学の充実を図った。
- 6 加盟団体等の事務経費の削減及び事務効率化を図るため、web会議やオンライン会議の開催等を推進するとともに、ペーパーレス化を積極的に導入した。

# 令和6年度 決算報告



科目	予算額	決算額	増減	備考
<b>〈経常収益〉</b> (単位:円)				
特定資産運用益	11,900,000	14,533,206	2,633,206	特定資産の運用益
受取会費	4,050,000	3,950,000	△100,000	加盟団体会費
受取登録料	10,997,000	11,612,400	615,400	個人登録料
事業収益	1,839,000	2,928,823	1,089,823	各種事業に伴う収益
受取負担金	310,000	300,000	△10,000	各種事業に伴う負担金
受取補助金等	166,202,000	156,846,566	△9,355,434	各団体からの補助金等
受取寄附金	9,200,000	2,190,000	△7,010,000	団体・個人からの寄附金
雑収益	6,000	282,191	276,191	その他の収益
経常収益計	204,504,000	192,643,186	△11,860,814	
<b>〈経常費用〉</b>				
国民スポーツ大会派遣事業	88,668,000	89,109,637	441,637	国民スポーツ大会に関する事業費
スポーツ活動顕彰事業	1,955,000	2,340,576	385,576	表彰に関する事業費
スポーツ指導者育成事業	1,357,000	1,292,327	△64,673	指導者養成・育成に関する事業費
青少年スポーツ育成事業	51,560,000	39,432,895	△12,127,105	ジュニアスポーツに関する事業費
スポーツ普及促進事業	37,033,000	42,525,627	5,492,627	スポーツの普及振興・選手強化に関する事業費
共通	20,951,000	27,952,639	7,001,639	公益目的事業にかかる運営費の科目振替
管理費	2,753,000	3,570,115	817,115	協会運営に関する経費
経常費用計	204,277,000	206,223,816	1,946,816	
当期経常増減額	227,000	△13,580,630	△13,807,630	

# 令和7年度 事業計画



## 基本方針

本会は、令和6年度に創立100周年を迎え、『人生100年 スポーツ生』をスローガンにスポーツ文化王国愛媛の実現を目指し、次の100年に向けて『行動宣言・行動規範・ミッション』を実行するとともに、「愛媛県スポーツ協会スポーツ推進計画2021」に基づき、愛媛県及び加盟団体などの関係機関と連携協力して、諸事業の実施に取り組む。

また、本年度は日本スポーツマスターズ2025愛媛大会が本県で初開催されるため、大会成功に向けて日本スポーツ協会、愛媛県、関係団体と連携・協力して、安全、安心で円滑な大会運営に努める。

今後も、公益法人としての公益性・透明性をより一層高めるため、加盟団体等と連携して、スポーツ・インテグリティ(誠実性、健全性、高潔性)の確保に努める。

## 重点目標

- 1 日本スポーツマスターズ2025愛媛大会の成功に向け、関係機関と密に連携し、円滑な大会運営に努めるとともに、併せて開催される日韓スポーツ交流・成人交歓交流の着実な実施を図る。
- 2 学校運動部活動改革について、スポーツ庁による「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」の新たな提言に基づき、スポーツ少年団及び加盟団体と連携した取り組みを実施するとともに、行政、えひめ広域スポーツセンターに選手ファーストで、円滑に改革が進むよう働きかける。
- 3 女性アスリート特有の問題となっている三主(骨粗鬆症など)に対する理解を深めるため、選手・指導者等を対象に「女性スポーツフォーラム」を継続的に開催し、情報提供や啓発活動を実施するとともに、スポーツ指導者等の反倫理的行為を根絶するため、加盟団体においてハラスメント防止などの研修会の開催に対して積極的に支援する。
- 4 「愛媛県スポーツ医科学センター」の機能を活用して、各競技団体への専門家派遣を行い、競技力向上に努めるとともに、愛媛県医師会等の関係機関と連携して、更なるスポーツ医科学の充実を図る。
- 5 スポーツ庁が策定した「スポーツ団体ガバナンスコード」を遵守し、適切な組織運営を行うとともに、加盟団体やスポーツ少年団に対して、その周知を図り、ガバナンスの強化に努める。
- 6 web会議の積極的な活用、オンライン講習会の開催、ペーパーレス化を積極的に導入し、加盟団体の事務作業の削減及び効率化を図る。

# 令和7年度 収支予算



科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
(単位:円)				
<b>〈経常収益〉</b>				
特定資産運用益	14,530,000	11,900,000	2,630,000	基金の運用益
受取会費	3,950,000	4,050,000	△100,000	加盟団体会費
受取登録料	11,504,000	10,997,000	507,000	個人登録料
事業収益	1,794,000	1,839,000	△45,000	各種事業に伴う収益
受取負担金	410,000	310,000	100,000	各種事業に伴う負担金
受取補助金等	184,821,000	166,202,000	18,619,000	各団体からの補助金等
受取寄附金	10,490,000	9,200,000	1,290,000	関係団体からの寄付金
雑収益	10,000	6,000	4,000	
経常収益計	227,509,000	204,504,000	23,150,000	
<b>〈経常費用〉</b>				
国民スポーツ大会派遣事業	110,006,000	88,668,000	21,338,000	国民スポーツ大会に関する経費
スポーツ活動顕彰事業	2,169,000	1,955,000	214,000	顕彰事業に関する事業費
スポーツ指導者育成事業	982,000	1,357,000	△375,000	指導者育成事業に関する事業費
青少年スポーツ育成事業	5,157,000	51,560,000	△46,403,000	ジュニア育成事業に関する事業費
スポーツ普及促進事業	83,734,000	37,033,000	46,701,000	スポーツの普及・振興事業に関する事業費
公益共通	22,431,000	20,951,000	1,480,000	
管理費	2,940,000	2,753,000	187,000	運営に伴う管理費
経常費用計	227,419,000	204,277,000	23,142,000	
当期経常増減額	90,000	227,000	△137,000	

# 両大会競技 開催地マップ



えがお  
●愛顔つなぐえひめ国体  
 ■正式競技 ■特別競技 ■公開競技等  
 ■デモンストレーションスポーツ

えがお  
●愛顔つなぐえひめ大会  
 ■正式競技  
 ■オープン競技

身=身体障がい者が出場できる競技  
 知=知的障がい者が出場できる競技  
 精=精神障がい者が出場できる競技

バレーボール ■ ターゲット・バドミントン ■

ホッケー ■ バレーボール ■ バレーボール(ビーチバレーボール) ■ パワーリフティング ■ バレーボール(身) ■

ホッケー ■ ボクシング ■ ライフル射撃(CP) ■  
 卓球(身・知)及びサウンドテーブルテニス(身) ■

バレーボール ■  
 ソフトボール ■  
 カローリング ■  
 バレーボール(精) ■

ソフトテニス ■ ソフトボール ■ カヌー(スプリント) ■ カヌー(ツーリング) ■ バスケッボール(知) ■

相撲 ■ ソフトボール ■ ルディック・ウォーク ■

サッカー ■ レスリング ■ バスケッボール ■  
 卓球 ■ 高校野球(軟式) ■  
 ダブルダッチ ■

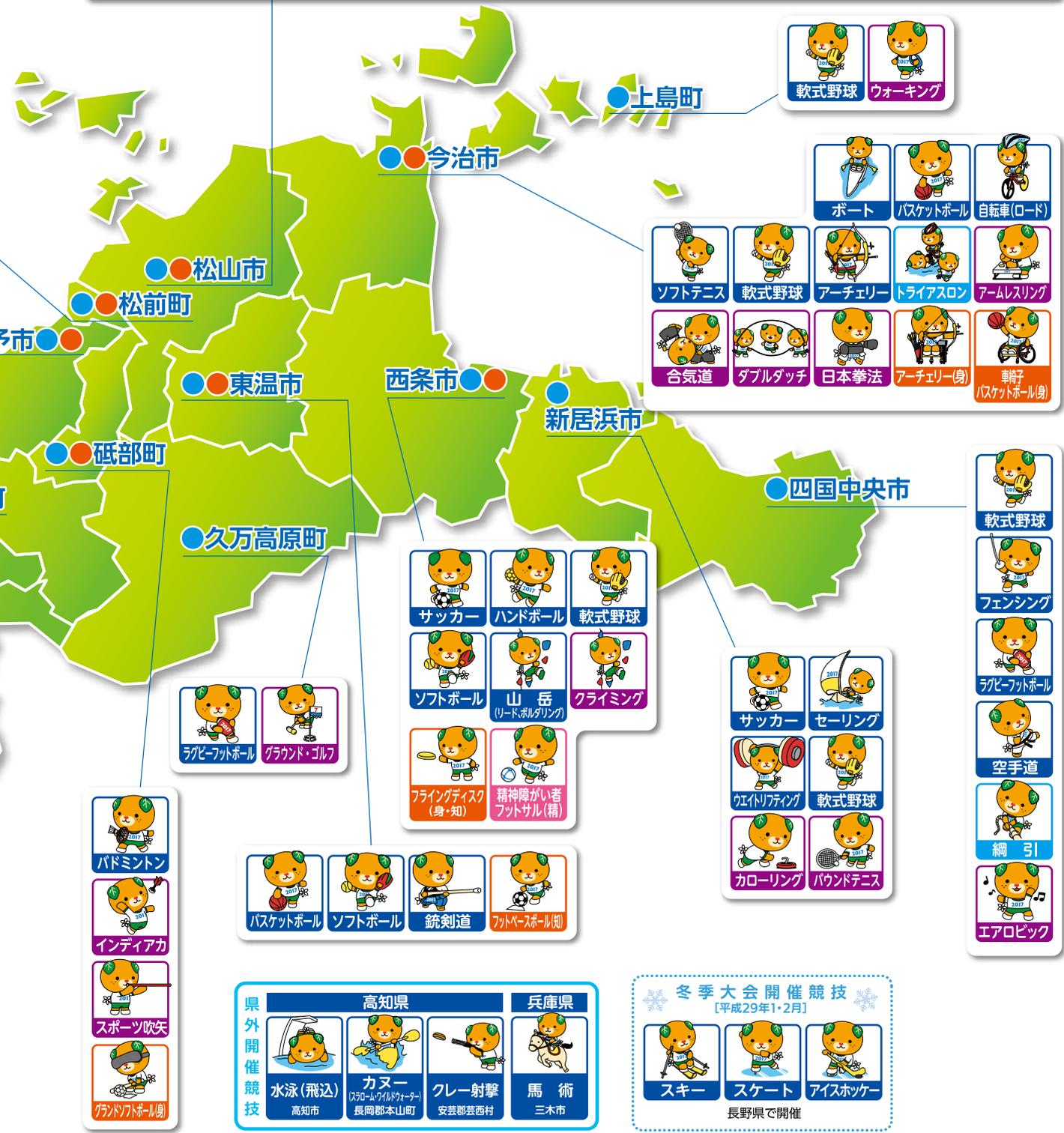
鬼北町で開催

サッカー ■ マリンスポーツ ■

近代3種 ■ ゲートボール ■

バレーボール ■ ■  
 バスケッボール ■ ■  
 トランポリン ■ ■  
 ゴルフ ■ ■  
 ライフル射撃(CP以外) ■ ■  
 パラグライディング ■ ■







競技名	種別	市町村	競技会場	競技日程									
				9月									
				30 土	1 日	2 月	3 火	4 水	5 木	6 金			
バドミントン	全種別	砥部町	砥部町陶街道ゆとり公園体育館							●	●	●	●
ライフル射撃	CP	成年男子	松前町	愛媛県警察学校愛媛県警察射撃場		●	●	●					
	CP 以外 SB・AR・AP BR・BP	全種別	内子町	内子町城の台公園特設ライフル射撃場 内子町城の台公園体育館		●	●	●					
剣道	全種別	松山市	愛媛県武道館		●	●	●						
ラグビーフットボール	成年男子	久万高原町	久万高原町ラグビー場			●	●						
	女子						●	●					
	少年男子	四国中央市	スカイフィールド富郷		●	●		●	●				
山岳	リード ボルダリング	全種別	西条市	石鎚クライミングパークSAIJO		●	●	●					
	スプリント			西条市西条西部体育館		●	●	●					
カヌー	スプリント	全種別	大洲市	鹿野川湖特設カヌー競技場		●	●	●	●				
アーチェリー	全種別	今治市	今治市宮窪石文化運動公園			●	●	●					
空手道	全種別	四国中央市	伊予三島運動公園体育館								●	●	●
銃剣道	全種別	東温市	ツインドーム重信								●	●	●
クレー射撃	全種別	高知県芸西村	ミクロ高知射撃場		●	●	●						
なぎなた	全種別	松山市	松山市総合コミュニティセンター体育館		●	●	●						
ボウリング	全種別	松山市	キスケボウル		●	●	●	●	●				
ゴルフ	成年男子	内子町	愛媛ゴルフ倶楽部					●	●	●			
	女子	松山市	エリエールゴルフクラブ松山					●	●	●			
	少年男子		サンセットヒルズカントリークラブ					●	●	●			

## (2) 正式競技【会期前実施競技】

競技名	種別	市町村	競技会場	競技日程										
				9月										
				9 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日		
水泳	競泳	全種別	松山市	アクアパレットまつやま特設プール								●	●	●
	水球	少年男子					●	●	●					
	シンクロナイズドスイミング	少年女子				●								
	飛込	全種別	高知県高知市	高知県立春野総合運動公園水泳場								●	●	●
オープンウォータースイミング	全種別	松山市	松山市北条長浜海水浴場					●						
パレーボール	ビーチパレーボール	全種別	伊予市	五色姫海浜公園								●	●	●
弓道	近的	全種別	松山市	愛媛県総合運動公園弓道場	●	●	●	●						
	遠的			愛媛県総合運動公園特設遠的弓道場	●	●	●							
カヌー	スラローム	全種別	高知県本山町	寺家カヌー競技場	●	●								
	ワイルドウォーター							●	●					

## (3) 特別競技

競技名	種別	市町村	競技会場	競技日程			
				10月			
				6 金	7 土	8 日	9 月祝
高等学校野球	硬式	松山市	坊っちゃんスタジアム	●	●	●	●
	軟式	宇和島市	丸山公園野球場	●	●	●	●

## (4) 公開競技等

競技名	市町村	競技会場	競技日程	
公開競技	綱引	四国中央市	土居総合体育館(アリーナ土居)	9/9(土)~9/10(日)
	ゲートボール	松山市	北条スポーツセンター球技場	9/2(土)~9/3(日)
	パワーリフティング	伊予市	ウェルピア伊予体育館	9/9(土)~9/10(日)
	グラウンド・ゴルフ	松山市	城山公園やすらぎ広場	9/16(土)~9/17(日)
イベント事業	今治市	今治市伯方島	7/23(日)	

# 国民体育（スポーツ）大会

## 国民体育(スポーツ)大会開催状況一覧表

国民体育大会					国民体育(スポーツ)大会				
回数	年度	開催県	天皇杯順位	皇后杯順位	回数	年度	開催県	天皇杯順位	皇后杯順位
1	21	京都他4県	—	—	41	61	山梨	46	35
2	22	石川	—	—	42	62	沖縄	36	34
3	23	福岡	39	40	43	63	京都	33	21
4	24	東京他4県	34	43	44	1	北海道	31	22
5	25	愛知	27	31	45	2	福岡	36	28
6	26	広島	26	28	46	3	石川	44	37
7	27	東北3県	16	25	47	4	山形	36	29
8	28	四国4県	9	8	48	5	徳島・香川	43	40
9	29	北海道	12	12	49	6	愛知	42	32
10	30	神奈川	17	16	50	7	福島	46	34
11	31	兵庫	20	16	51	8	広島	34	35
12	32	静岡	16	11	52	9	大阪	41	41
13	33	富山	7	5	53	10	神奈川	37	32
14	34	東京	20	9	54	11	熊本	36	21
15	35	熊本	27	19	55	12	富山	26	26
16	36	秋田	20	11	56	13	宮城	36	28
17	37	岡山	19	14	57	14	高知	26	17
18	38	山口	33	23	58	15	静岡	31	25
19	39	新潟	16	10	59	16	埼玉	30	23
20	40	岐阜	27	25	60	17	岡山	35	29
21	41	大分	18	19	61	18	兵庫	38	37
22	42	埼玉	24	33	62	19	秋田	42	34
23	43	福井	26	30	63	20	大分	42	37
24	44	長崎	24	15	64	21	新潟	36	33
25	45	岩手	28	26	65	22	千葉	38	30
26	46	和歌山	20	27	66	23	山口	25	17
27	47	鹿児島	31	21	67	24	岐阜	34	31
28	48	千葉	36	30	68	25	東京	26	15
29	49	茨城	25	17	69	26	長崎	21	12
30	50	三重	30	32	70	27	和歌山	13	10
31	51	佐賀	37	40	71	28	岩手	7	5
32	52	青森	38	35	72	29	愛媛	2	2
33	53	長野	33	37	73	30	福井	12	10
34	54	宮崎	38	40	74	1	茨城	21	13
35	55	栃木	24	29	75	2	鹿児島	中止	中止
36	56	滋賀	45	41	76	3	三重	中止	中止
37	57	島根	40	27	77	4	栃木	23	22
38	58	群馬	44	33	特別	5	鹿児島	24	30
39	59	奈良	39	38	78	6	佐賀	16	12
40	60	鳥取	40	38	79	7	滋賀	17	20

## スポーツ功労賞受賞者名簿一覧

No.	氏名	住所	所属	受賞年度	受賞時年齢
1	久松 定武	故人	県体育協会名誉会長	昭39	65
2	遊津 孟	故人	県体育協会名誉会長顧問	39	56
3	井部 栄治	故人	県体育協会名誉会長顧問	39	55
4	阿部 公政	故人	ラグビーフットボール	39	66
5	相原 正一郎	故人	体操	39	72
6	梶原 勘一	故人	柔道	39	54
7	金井 滋雄	故人	バスケットボール	39	66
8	菅 章	故人	サッカー	39	55
9	五島 伝	故人	相撲	39	58
10	佐藤 正	松山市	ホッケー	39	45
11	松長 晴利	故人	山岳	39	55
12	山本 信隆	故人	漕艇	39	64
13	田井能 重雄	松山市	松山市	39	56
14	成松 峰則	故人	ボクシング	39	42
15	藤田 照明	故人	今治市	39	54
16	松沢 隆	故人	軟式庭球	39	67
17	友近 豊	故人	相撲	39	53
18	中原 喜一	故人	剣道	39	63
19	向井 敏夫	故人	サッカー	39	47
20	伊賀上 同	故人	弓道	39	47
21	越智 武	松山市	ハンドボール	39	44
22	栗田 善明	故人	ソフトボール	39	55
23	酒井 隆	松山市	剣道	39	51
24	芝 宏	故人	軟式庭球	39	66
25	十亀 太郎	故人	山岳	39	55
26	長曾我部 静	故人	柔道	39	61
27	星加 勇	故人	バレーボール	39	55
28	白石 四郎	今治市	今治市	39	64
29	清水 宗吉	三瓶町	三瓶町	39	48
30	高須賀 光憲	故人	松山市	39	58
31	福島 伝吾	故人	水泳	39	47
32	村上 恒夫	故人	水泳	39	53
33	松岡 輝三	故人	卓球	39	
34	財団法人豫山会	松山市		39	
35	二神 伝三郎	故人	高体連	40	64
36	近藤 勲	故人	新居浜市	40	62
37	野村 馬	故人	軟式庭球	40	59
38	平田 陽一郎	故人	松山市	40	57
39	野本 清一	故人	陸上競技	40	53
40	仲川 幸男	松山市	松山市	40	48
41	田辺 義治	松山市	陸上競技	41	55

No.	氏名	住所	所属	受賞年度	受賞時年齢
42	鶴田 義行	故人	水泳	41	62
43	小村 依包	故人	軟式庭球	41	70
44	高松 阪市	松山市	柔道	42	62
45	村岡 則章	松山市	バドミントン	42	62
46	川久保 静夫	故人	軟式庭球	42	56
47	横田 正清	宇和島市	水泳	42	53
48	宇都宮 清治	八幡浜市	八幡浜市	43	62
49	泉 俊一	故人	中体連	43	58
50	奥島 団四郎	松山市	スキー	43	45
51	橘 並三郎	今治市	今治市	44	65
52	野本 広一	故人	クレー射撃	44	57
53	黒川 晋	故人	新居浜市	44	49
54	石川 恭策	故人	高体連	45	58
55	寺田 茂	宇和島市	宇和島市	45	58
56	相原 勲	故人	軟式庭球	45	58
57	作道 圭二	故人	剣道	45	64
58	白石 真一郎	故人	新居武揚会	45	65
59	久松 春枝	故人	なぎなた	45	62
60	山中 義貞	故人	前体育協会会長	46	74
61	横内 穂	香川県	中体連	46	59
62	秋月 安吉	故人	柔道	47	64
63	仙波 光	故人	卓球	47	60
64	池内 幸夫	松山市	陸上競技	47	53
65	亀山 政一	故人	柔道	48	64
66	山本 キワヨ	松山市	なぎなた	48	63
67	桑原 慶人	松山市	ホッケー	49	61
68	梶浦 章一	故人	ハンドボール	49	59
69	中川 武	松山市	バスケット・高体連	49	58
70	米田 正弼	故人	バレーボール	50	72
71	浜田 良文	故人	サッカー	50	65
72	窪田 幸二郎	故人	庭球	50	63
73	高橋 富一	故人	柔道	51	84
74	兵頭 茂	故人	相撲	51	62
75	野村 幸子	松山市	なぎなた	51	62
76	伊藤 主税	松山市	柔道	52	68
77	中井 祐一	故人	体操	52	66
78	安達 鶴一郎	大洲市	大洲市	52	65
79	高橋 士	故人	前体育協会会長	53	67
80	源本 音松	故人	剣道	53	82
81	奥村 一雄	故人	庭球	53	59
82	西村 誠次郎	八幡浜市	八幡浜市	53	58

# スポーツ功労賞受賞者名簿一覧

No.	氏名	住所	所属	受賞年度	受賞時年齢
83	田中 定一	新居浜市	柔道	54	78
84	藁田 一郎	故人	弓道	54	67
85	井伊 信博	松山市	軟式庭球	54	64
86	丸善石油株式会社松山製油所	松山市		54	
87	福家 薫	内子町	柔道	55	70
88	星加 一	西条市	西条市	55	68
89	成川 正	松山市	庭球	55	62
90	帝人株式会社松山工場	松山市		55	
91	三好 格	宇和町	剣道	56	67
92	門屋 賢一	故人	自転車	56	66
93	二宮 基保	故人	ラグビーフットボール	56	65
94	菊池 勲	松山市	松山市	56	62
95	小川 清	故人	ソフトボール	56	61
96	依岡 誠	松山市	中体連	56	60
97	青野 徹	今治市	今治市	57	74
98	片上 進	新居浜市	新居浜市	57	68
99	田中 隆次	松山市	松山市	57	65
100	西原 基之	松山市	柔道	57	64
101	大澤 鹿一	今治市	銃剣道	58	79
102	法野 武夫	宇和島市	剣道	58	75
103	山本 寅雄	松山市	テニス	58	71
104	光峰 久博	松山市	陸上競技	58	62
105	客 玉照	広見町	剣道	59	75
106	濱口 善一	松山市	松山市	59	64
107	土居 通弘	松山市	ラグビーフットボール	59	63
108	矢野 勝明	宮窪町	剣道	60	79
109	二宮 正己	松山市	軟式庭球	60	70
110	八塚 信雄	今治市	漕艇	60	64
111	佐々木 善亮	西条市	陸上	60	62
112	高橋 本	土居町	柔道	61	73
113	川口 与吾郎	松山市	アマチュアボクシング	61	68
114	足立 健三	故人	ラグビーフットボール	61	68
115	関 宏成	松山市	愛媛県体育協会	62	66
116	木村 正信	松山市	銃剣道	62	77
117	石口 繁男	津島町	津島町	62	68
118	兵頭 正綱	三瓶町	三瓶町	62	67
119	村田 光	重信町	水泳	62	64
120	村田 道春	故人	アマチュアボクシング	62	
121	藤田 吉道	新居浜市	剣道	63	82
122	青木 一	西条市	軟式野球	63	67
123	中村 章	大洲市	サッカー	63	66

No.	氏名	住所	所属	受賞年度	受賞時年齢
124	村前 貞則	松山市	軟式庭球	63	65
125	河本 武夫	松山市	ハンドボール	63	64
126	平山 展之	松山市	銃剣道	平成元	79
127	大西 五郎	松前町	ラグビーフットボール	平成元	71
128	忽那 信道	中島町	陸上競技	平成元	68
129	村上 滋則	長浜町	長浜町	平成元	67
130	高橋 庸治	故人	弓道	平成元	62
131	愛媛県弓道連盟	松山市	弓道	平成元	
132	竹長 正夫	宇和島市	剣道	2	74
133	渡邊 隆弥	今治市	漕艇	2	74
134	高橋 満年	故人	新居浜市	2	62
135	池内 まさ	松山市	家庭婦人バレーボール	2	65
136	蔵原 一郎	松山市	ホッケー	2	61
137	渡辺 好明	宇和町	宇和町	2	60
138	阿部 傳	今治市	今治市	3	76
139	石丸 啓郎	松山市	陸上競技	3	71
140	佐々木 眞市	東予市	東予市	3	69
141	渡部 一美	北条市	卓球	3	68
142	清水 和	宇和島市	クレイ射撃	3	67
143	永木 昭三	松山市	ラグビーフットボール	3	64
144	濱本 義明	今治市	柔道	4	74
145	塩崎 春雄	西条市	西条市	4	71
146	野本 清	松山市	ソフトテニス	4	71
147	若江 実	松山市	漕艇	4	69
148	井手上 旭	砥部町	サッカー	4	67
149	森 稔	故人	ラグビーフットボール	4	65
150	笹岡 宮蔵	重信町	剣道	5	79
151	清水 宗章	八幡浜市	柔道	5	78
152	岡本 正規	大洲市	大洲市	5	71
153	池内 純衛	松山市	バレーボール	5	70
154	国分 三郎	松山市	ライフル射撃	5	69
155	岸上 政太郎	松山市	ゲートボール	6	84
156	目崎 直一	松山市	松山市	6	83
157	藪 福雄	松山市	ラグビーフットボール	6	66
158	浜中 誠	松山市	バドミントン	6	65
159	宇都宮 二郎	伊予市	テニス	6	63
160	久保田 公夫	松山市	中体連	6	61
161	月原 朗	松山市	弓道	7	74
162	渡部 忠	松山市	卓球	7	73
163	松本 道正	松山市	山岳	7	72
164	松本 博伸	今治市	剣道	7	68

No.	氏名	住所	所属	受賞 年度	受賞時 年齢
165	清原 忠	宇和島市	陸上	7	67
166	村上 庄次郎	松山市	小体連	7	61
167	細田 虔	松山市	ラグビーフットボール	8	75
168	伊東 慶祐	新居浜市	軟式野球	8	69
169	村上 保	松山市	バレーボール	8	68
170	八木 安生	今治市	漕艇	8	67
171	石黒 福雄	松山市	柔道	8	65
172	魏野呂光一	松山市	ラグビーフットボール	8	
173	三木 軍次	川之江市	柔道	9	93
174	中矢 力	松山市	ソフトテニス	9	71
175	村上 周利	今治市	卓球	9	68
176	伊賀上 文男	松山市	ラグビーフットボール	9	67
177	池田 末夫	松山市	銃剣道	10	84
178	杉村 忠夫	松山市	自転車	10	72
179	榎田 憲蔵	松山市	剣道	10	72
180	黒星 敦子	松山市	なぎなた	10	71
181	橋 兼良	重信町	陸上	10	71
182	鎌田 孝久	城辺町	軟式野球	10	67
183	片上 一雄	松山市	ソフトボール	10	65
184	小川 洋一	松山市	ボート	10	64
185	滝沢 新三郎	松山市	山岳	11	93
186	塩出 一	新居浜市	新居浜市体協	11	81
187	渡部 忠志	東予市	卓球	11	73
188	光田 緑	松山市	なぎなた	11	70
189	原 誠志	新居浜市	クレー	11	68
190	松岡 武文	故人	弓道	11	66
191	細田 新	砥部町	ラグビーフットボール	12	75
192	片岡 美光	伊予市	剣道	12	71
193	白方 隆全	松山市	弓道	12	68
194	野本 錬	松山市	ゲートボール	12	72
195	仙波 義則	松山市	松山市体協	12	84
196	榎田 三郎	松山市	テニス	13	78
197	塩崎 伊勢松	松山市	陸上	13	76
198	田中 幸子	西条市	家庭婦人バレーボール	13	69
199	森 恒雄	今治市	サイクリング	13	64
200	門脇 貞夫	今治市	水泳	13	63
201	澤近 駿一	城辺町	剣道	14	79
202	吉本 昭子	東予市	なぎなた	14	74
203	近藤 ナミエ	松山市	松山市体協	14	71
204	本多 善造	松前町	アイスホッケー	14	70
205	濱石 喜代一	伊予市	空手道	14	65

No.	氏名	住所	所属	受賞 年度	受賞時 年齢
206	二神 一	松山市	ラグビーフットボール	15	67
207	島田 省吾	重信町	セーリング	15	74
208	徳永 和功	松山市	ボクシング	15	67
209	野村 正彬	今治市	剣道	15	76
210	合田 清一	新居浜市	少林寺拳法	15	73
211	武市 徹	松山市	中体連	15	65
212	佐伯 正俊	久万高原町	剣道	16	77
213	大堀 紀美	松山市	弓道	16	76
214	兵頭 寛	松山市	松山市体協	16	72
215	加藤 嘉重	新居浜市	ウエイト	16	69
216	八倉 重貴	松山市	ソフトテニス	16	67
217	水野 春男	松山市	剣道	17	93
218	都築 清	新居浜市	ウエイト	17	76
219	窪田 康夫	松前町	空手道	17	71
220	横山 闌	西条市	ラグビーフットボール	17	67
221	五島 昌明	松山市	柔道	17	65
222	稲生 晴	松山市	テニス	18	81
223	青木 正樹	松山市	山岳	18	72
224	平田 淳	松山市	レスリング	18	69
225	渡部 晴行	松山市	バレーボール	20	71
226	田中 純二	松山市	サッカー	21	77
227	小村 健三	松山市	ソフトテニス	22	73
228	二神 薫明	松山市	サッカー	23	75
229	須之内 淳二	松山市	空手道	26	82
230	光田 督	松山市	スキー	27	79
231	一宮 捷宏	新居浜市	愛媛県体育協会	28	72
232	島原 傳喜	宇和島市	愛媛県体育協会	28	78
233	金子 公子	松山市	スケート	29	77
234	松廣 義忠	松山市	相撲	30	73
235	西田 昭二	松山市	セーリング	30	74
236	荒木 正美	松山市	ボート	2019	71
237	松岡 道代	松山市	ママさんバレーボール	2019	81
238	関谷 勝嗣	松山市	陸上競技	令2	82
239	今井 捷行	松山市	卓球	2	82
240	福澤 敏夫	西条市	ラグビーフットボール	3	73
241	豊島 吉博	砥部町	サッカー	4	71
242	八束 正	松前町	ボクシング	5	67
243	久保 素子	松山市	なぎなた	5	76
244	黒川 洋介	新居浜市	ウエイトリフティング	6	72

※平成19・24・25年度該当なし

## 愛媛県スポーツ協会 年表 1924-2025

年	愛媛県のスポーツ関係	県内一般	国内外全般
1924 大正13	伊予鉄道電気(株)の道後総合グラウンドが完成 愛媛体育協会の創設(事務所を道後総合グラウンドに置く) 愛媛体育協会の初代会長に由比質が就任	県知事(官選)に佐竹義文が就任	第1回シャモニー・モンブラン 冬季オリンピック
1925 大正14	第2回全国中等学校選抜野球大会で松山商が優勝 明治神宮競技大会・漕艇競技(ボート)で宇和島新田青年団が優勝	県知事(官選)に香坂昌康が就任	普通選挙法公布
1926 昭和元		県連合青年団結成	
1927 昭和2	愛媛体育協会の会長に加藤彰廉が就任	松山で全国産業博覧会の開催 県知事(官選)に尾崎勇次郎が就任	大日本体育協会が財団法人化 日本初の地下鉄(上野～浅草)開業
1928 昭和3	アムステルダムオリンピック・200m平泳ぎで 鶴田義行が金メダル	県知事(官選)に市村慶三が就任 川之石町(旧保内町)に民間の水上市飛行場開設	
1929 昭和4		愛媛県庁舎(現本館)が落成 県知事(官選)に木下信が就任	金融大恐慌
1930 昭和5		県知事(官選)に笹井幸一郎が就任 国勢調査(県人口114万2122人)	国勢調査 (内地人口6445万5人)
1931 昭和6		県知事(官選)に久米成夫が就任	満州事変
1932 昭和7	ロサンゼルスオリンピック・200m平泳ぎで鶴田義行が オリンピック連覇の金メダル 第9回全国中等学校選抜野球大会で松山商が優勝	県知事(官選)に一戸二郎が就任 日本銀行松山支店開店	五・一五事件
1933 昭和8	愛媛体育協会が愛媛県体育協会に改称 愛媛県体育協会の会長に一戸二郎が就任	松山城小天守・櫓等放火で 焼失	日本が国際連盟から脱退
1934 昭和9		室戸台風が襲来 瀬戸内海が国立公園に指定 県立松山中学校全焼	
1935 昭和10	愛媛県体育協会の会長に大場鑑次郎が就任 第22回全国中等学校優勝野球大会で松山商が優勝	県知事(官選)に大場鑑次郎が就任 松山城天守閣が国宝に指定	芥川賞・直木賞設置
1936 昭和11	第1回愛媛ラグビー選手権大会の開催	浄土寺・空也上人像が、 国宝指定	二・二六事件
1937 昭和12	愛媛県体育協会の会長に古川静夫が就任	県知事(官選)に古川静夫が就任	日中戦争(盧溝橋事件)突入
1938 昭和13			国家総動員法公布
1939 昭和14	愛媛県体育協会の会長に持永義夫が就任	県知事(官選)に持永義夫が就任	
1940 昭和15	愛媛県体育協会の会長に中村敬之進が就任	県知事(官選)に中村敬之進が就任	大政翼賛会発足
1941 昭和16	愛媛県体育協会の会長に畠田昌福が就任	NHK松山放送局が開局 県知事(官選)に畠田昌福が就任	太平洋戦争開戦
1942 昭和17	愛媛県体育協会の会長に福本柳一が就任	県知事(官選)に福本柳一が就任	戦時体制下、大日本体育協会が 政府の外郭団体として大日本体育会に改変
1943 昭和18	愛媛県体育協会の会長に相川勝六が就任	県知事(官選)に相川勝六が就任 吉田浜飛行場竣工	神宮外苑で出陣学徒壮行会
1944 昭和19	愛媛県体育協会の会長に雪沢千代治が就任	丸善石油松山製油所 操業開始	東京初空襲
1945 昭和20	愛媛県体育協会の会長に土肥米之が就任 大日本体育会愛媛支部が発足 愛媛県体育協会の会長に豊島章太郎が就任	県知事(官選)に土肥米之が就任 八幡浜～卯之町の開業(予讃線全通) 県知事(官選)に豊島章太郎が就任	広島・長崎に原爆 太平洋戦争終戦国際連合が発足

年	愛媛県のスポーツ関係	県内一般	国内外全般
1946 昭和21	第1回愛媛オリンピック大会の開催 第1回国民体育大会(近畿)に本県から陸上競技他5競技が出場 (準優勝1、3位1、5位入賞2)	県知事(官選)に青木重臣が就任 南海大地震。道後温泉の温泉湧出止まる。	大日本体育会が組織変更(民間団体化) 第1回国民体育大会(近畿)
1947 昭和22	愛媛県体育協会、新しく体制を整え再出発。 10競技団体と7地域団体及び県学徒体育会で構成、 愛媛県体育協会の会長に青木重臣が就任	県知事(官選)に松下一が就任 初の知事公選で、青木重臣が県知事に就任	日本国憲法公布
1948 昭和23		県議会議事堂落成	大日本体育会が 日本体育協会に名称変更
1949 昭和24		愛媛大学開学式 松山商科大学(現松山大学)開校式	湯川秀樹ノーベル賞
1950 昭和25	第32回全国高等学校野球選手権大会で松山東が優勝	昭和天皇県内ご巡幸	朝鮮戦争
1951 昭和26	第1回愛媛駅伝の開催 愛媛県体育協会の会長に久松定武が就任 愛媛県高等学校体育連盟発足	県知事に久松定武が就任	第1回アジア競技大会(ニューデリー) NHKラジオ第1回紅白歌合戦
1952 昭和27		松山城址、国の史跡に	サンフランシスコ平和条約 発効(日本が主権回復)
1953 昭和28	第8回国体が愛媛県を主会場に四国4県で開催(本県成績天皇杯9位、皇后杯8位) 第35回全国高等学校野球選手権大会で松山商が優勝 県立道後動物園オープン	南海放送開局	日本テレビ本放送開始 (民放初)
1954 昭和29		ディーゼル化で、 伊予鉄道坊っちゃん列車姿消す	
1955 昭和30		松山城登山ロープウェイ完成	
1956 昭和31	メルボルンオリンピック、 200m平泳ぎの吉村昌弘、体操団体の河野昭が銀メダル	松山空港～大阪の 民間航空便が就航	日本が国際連合に加盟
1957 昭和32		NHK松山放送局が テレビ放送を開始	南極に昭和基地設営
1958 昭和33	第13回国民体育大会・富山大会で 愛媛県が天皇杯5位、皇后杯7位の好成績	県立博物館開館	
1959 昭和34	第30回都市対抗野球大会で丸善石油松山が優勝 第41回全国高等学校野球選手権大会で西条が優勝	南海放送が テレビ放送を開始	東京タワー完成
1960 昭和35	愛媛県体育協会の会長に井部栄治が就任		日米安保調印 カラーテレビ放送開始
1961 昭和36	愛媛県体育協会の会長に山中義貞が就任		
1962 昭和37	オリンピック愛媛スポーツ振興会が発足		
1963 昭和38	第1回愛媛マラソンの開催		黒四ダム完成
1964 昭和39	東京オリンピックに県人7人が出場し、体操の山下治広が 団体・跳馬で優勝 愛媛県スポーツ少年団が発足	県内でカラーテレビ放送が開始 東予地方が新産業都市指定	東京オリンピック 日本人の海外観光渡航自由化 東海道新幹線の開業
1965 昭和40	愛媛県スポーツ振興会が発足	二ホンカワソウ、 国の天然記念物に指定	
1966 昭和41		天皇皇后陛下迎え植樹祭 松山沖で全日空YS11墜落、50人全員死亡	
1967 昭和42			EC、ASEAN結成

# 愛媛県スポーツ協会 年表 1924-2025

年	愛媛県のスポーツ関係	県内一般	国内外全般
1968 昭和43	第1回愛媛県民体育祭の開催 石鎚登山ロープウェイ完成		札幌医大で、初の心臓移植
1969 昭和44	松山市道後姫塚に愛媛県武道館が開館 第51回全国高等学校野球選手権で松山商が優勝 (三沢高との決勝、延長18回・再試合)	テレビ愛媛テレビ放送開始	
1970 昭和45	愛媛県体育協会が財団法人化	石鎚スカイライン開通	日本万国博覧会(大阪)
1971 昭和46	愛媛県体育協会の会長に高橋士が就任	県知事に白石春樹が就任 四国初のターミナルパート「いよてつぞう」開店	
1972 昭和47	ミュンヘンオリンピックの男子平泳ぎ100mで 田口信教が金メダル	松山空港に2000m滑走路完成、 四国初のジェット機就航	札幌冬季オリンピック 日中国交正常化 沖縄県復帰
1973 昭和48	北条市青少年スポーツセンターが完成 (日本体育協会による全国4番目の複合スポーツ施設)	別子銅山閉山 愛媛大学医学部初の入学式	為替レートが変動相場制に移行 第一次オイルショック
1974 昭和49		皇太子ご夫妻、ご来県	
1975 昭和50		伊方原発で 1号原子炉容器搬入	
1976 昭和51		愛媛大学医学部附属病院開設	ロッキード事件
1977 昭和52	愛媛県体育協会の会長に関宏成が就任	伊方原発稼働	巨人・王貞治が、 世界一756号ホームラン
1978 昭和53			成田空港開港
1979 昭和54	世界卓球選手権大会の男子シングルスで小野誠治が優勝		国公立大学で、 初の共通一次試験
1980 昭和55	愛媛県総合運動公園が開園 昭和55年度全国高等学校総合体育大会(55総体)が本県を主 会場に四国4県で開催		モスクワオリンピック (日本は不参加)
1981 昭和56		松山市立子規記念博物館 オープン	
1982 昭和57	第1回愛媛県民スポーツ大会開催	FM愛媛開局	東北・上越新幹線開業
1983 昭和58	第21回全国スポーツ少年大会 (北条青少年スポーツセンター)の開催		
1984 昭和59	ロサンゼルスオリンピックの重量挙げ52キロ級で 真鍋和人が銅メダル		NHKが衛星放送開始
1985 昭和60		四国初の高速道路 (川之江IC~土居IC)開通 予讃線の山回り新線が開通	筑波万博開幕 日本航空機墜落
1986 昭和61		愛媛県民文化会館 オープン	チェルノブイリ原発爆発 オープン
1987 昭和62	愛媛県体育協会の会長に伊賀貞雪が就任	県知事に伊賀貞雪が就任 南予用水事業の完成(通水式)	JR発足
1988 昭和63	剣道世界選手権の個人戦で大城戸功が優勝 第60回選抜高等学校野球大会で宇和島東が優勝	県立とべ動物園オープン	瀬戸大橋・青函トンネル 開通
1989 平成元	第2回全国スポーツ・レクリエーション祭・愛媛大会の開催 全国高等学校総合体育大会が四国4県で開催	愛媛相互銀行が愛媛銀行に	昭和天皇崩御 消費税法施行 ベルリンの壁崩壊

年	愛媛県のスポーツ関係	県内一般	国内外全般
1990 平成2	第68回全国高等学校サッカー選手権大会で南宇和が優勝	愛媛初の女性代議士誕生	大学入試センター試験導入
1991 平成3	愛媛県体育協会の会長に奥島団四郎が就任	松山空港が新装オープン (滑走路が2500mに延長)	湾岸戦争勃発
1992 平成4		あいテレビ放送開始 松山-東京間にスーパージャンボ機就航	学校週5日制スタート (毎月第二土曜休み)
1993 平成5	県運動公園で、仮設ナイターで四国初のJリーグ公式戦		欧州連合(EU)発足 サッカーJリーグ開幕
1994 平成6		平成の大渇水 ノーベル文学賞を大江健三郎が受賞	関西国際空港開港
1995 平成7		愛媛朝日テレビ放送開始	阪神大震災 地下鉄サリン事件
1996 平成8	第78回全国高等学校野球選手権で松山商が5回目の優勝 (熊本工との決勝、奇跡のバックホーム)		病原性大腸菌O157、 全国で猛威
1997 平成9		最高裁、愛媛玉串料訴訟で 違憲判決	消費税5%
1998 平成10		県美術館、 えひめこどもの城完成	長野冬季オリンピック サッカーW杯に日本初出場
1999 平成11	加戸守行知事が「スポーツ立県」を表明 愛媛県体育協会の会長に大亀孝裕が就任	県知事に加戸守行が就任 西瀬戸自動車道(しまなみ海道)全線開通	
2000 平成12	坊っちゃんスタジアム(松山中央公園野球場)が完成		シドニーオリンピック (高橋尚子=女子マラソンが、陸上女子初の金メダル)
2001 平成13		宇和島水産高校実習船愛媛丸が、ハワイ沖で米原潜に 衝突され沈没、9人死亡	中央省庁再編(1府12省) アメリカ同時多発テロ事件 スポーツ振興くじ(toto)販売開始
2002 平成14	愛媛県社会人スポーツ推進協議会が発足 正岡子規の野球殿堂入り	砥部町で町長リコール。 出直し選挙で新人町長誕生	2002FIFAワールドカップ (日韓共催)
2003 平成15	第23回世界柔道選手権大会(大阪)で100kg超級で棟田康幸が優勝 松山中央公園内に愛媛県武道館が完成		個人情報関連法成立
2004 平成16	第72回国民体育大会の愛媛県単独開催が年内定 第76回選抜高等学校野球大会で済美が優勝 アテネオリンピックに過去最多9人の県人が出場	温州ミカン生産量、和歌山に 抜かれ2位。34年間の日本一転落	
2005 平成17	えひめ国体競技力育成支援募金が活動開始 野球・四国アイランドリーグが設立され、 愛媛マングリンパイレーツが参入	平成の大合併 (県内20市町となる)	愛知万博開催
2006 平成18	サッカーJリーグに愛媛FCが昇格	しまなみ海道全線開通	民放全局地上デジタルテレビ 放送開始
2007 平成19			全国学力テスト43年ぶり実施
2008 平成20			リーマンショック
2009 平成21			裁判员制度スタート
2010 平成22		県知事に中村時広が就任	羽田空港新国際線ターミナル 供用開始
2011 平成23	愛媛県体育協会が財団法人から公益財団法人に改組		東日本大震災 日本体育協会が公益財団法人へ移行 スポーツ基本法の制定

# 愛媛県スポーツ協会 年表 1924-2025

年	愛媛県のスポーツ関係	県内一般	国内外全般
2012 平成24	第72回国民体育大会の愛媛県開催が正式に内定 愛媛県スポーツ協会新シンボルマークの制定		復興庁発足
2013 平成25			富士山が世界遺産に指定
2014 平成26	第92回ボート競技全日本選手権大会・男子シングルスカルで 武田大作が14回目の優勝	ノーベル物理学賞を 中村修二が受賞	消費税8%に引き上げ
2015 平成27			スポーツ庁の発足 マイナンバー制度運用開始
2016 平成28	バスケットボールBリーグに 愛媛オレンジバイキングスとして参入		北海道新幹線開業
2017 平成29	第72回国民体育大会「愛顔(えがお)つなぐえひめ国体」の開催 (天皇杯・皇后杯とも過去最高の2位)	道後温泉別館・飛鳥乃湯泉 オープン	
2018 平成30	愛媛県体育協会から「愛媛県スポーツ協会」に名称変更 愛媛県スポーツ協会の会長に中村時広が就任	西日本豪雨災害	日本体育協会が 日本スポーツ協会に名称変更
2019 令和元	大亀スポーツ振興財団と合併		皇太子徳仁親王が第126代天皇 に即位、元号を「令和」に改元
2020 令和2		新型コロナウイルスの 感染拡大(~2023)	新型コロナウイルスの 感染拡大(~2023)
2021 令和3	マスターズ・ゴルフトーナメントで松山英樹が優勝 愛媛県スポーツ協会の会長に大塚岩男が就任	ノーベル物理学賞を 真鍋淑郎が受賞	第32回東京オリンピック
2022 令和4	全国高等学校総合体育大会(四国4県)の開催 第70回全日本剣道選手権で村上哲彦が優勝		
2023 令和5	全国健康福祉祭えひめ大会(ねんりんピック)の開催		
2024 令和6	愛媛県スポーツ協会創立100周年	道後温泉本館保存修理工事 完了	第78回国民スポーツ大会・佐賀大会 (国民体育大会が国民スポーツ大会に名称変更)
2025 令和7	愛媛県スポーツ協会創立100周年記念式典(2月26日) 日本スポーツマスターズ・愛媛大会の開催		大阪・関西万博

## あとがき

(公財)愛媛県スポーツ協会では、2024年10月に創立100周年を迎えるにあたり、2023年1月に特別委員会として創立100周年記念事業実行委員会を設置し、種々の記念事業を企画実施することになりました。その一つが、100年のあゆみを辿る「100年史」発刊でした。

これまで、本協会には、過去の歴史を語る物がほとんど残されてなく、かつ関係者の多くが亡くなっていたり、不明資料も多く編纂は難航しました。ただ資料を調べていくほど、それぞれの厳しい時代の中を、懸命にかけ抜いてきた偉大な先人たちの足跡は大きく、感動的であることを改めて知りました。

「温故知新」の言葉どおり、形あるものとして残し、後世に繋いでいくことが、私たちの使命だと、実行委員は奮闘しました。十分とは言えませんが、「100年のあゆみ」を感じ取っていただけるものになったのではないかと思います。

ただ、紙面の都合で、掲載できなかった写真や写真が残っていない行事も数多くあります。この100年史を見ていただいた皆様には、ぜひ、昔談議に花を咲かせていただくとともに、昔の資料が残っていましたらご提供いただくと幸いです。

スポーツに関わる者として、本会の100年の歴史を振り返る貴重な体験をさせていただいたことに幸せを感じ、この機会をいただいたことに感謝申し上げます。また、編纂に当たり、資料のご提供など多くの方にご協力いただき発刊できますことを委員一同感謝しております。

本会は、次の100年に向けて、すでにスタートしています。「人生100年、スポーツ一生」のスローガンのもと、皆様のお力になれるようたゆまず努力いたしますので、お力添えをよろしく願います。

(公財)愛媛県スポーツ協会 創立100周年記念事業実行委員会委員長  
豊島 吉博

## 愛媛県スポーツ協会 100 年史

---

2026 年2月25日 発行

発 行 公益財団法人 愛媛県スポーツ協会  
〒790-0843  
愛媛県松山市道後町2丁目9番14号  
愛媛県民文化会館別館内  
TEL 089-911-1199 FAX 089-911-0234  
URL <https://ehimesports.jp/>

編集協力 愛媛プレスウイン(愛媛新聞グループ)

資料提供 愛媛新聞社 共同通信社

印 刷 岡田印刷株式会社

---

\*許可なく転載、複写、複製を禁じます



Ehime Prefecture  
Sports Association